

アンケート結果 (参考)

<概要>

○8月下旬から9月上旬にかけて9電力会社管内で、大口需要家、小口需要家、家庭それぞれに対して、節電に関するアンケートを実施。

○それぞれの回答数については下記のとおり。

○このうち、2016年度夏季の需給見通しが厳しかった東北・中部電力を例に、以下に概要を示す。
(9電力会社全ての集計結果は別添1、アンケート質問項目は別添2を参照)

【回答数】

※端数処理の関係で合計が100%にならない場合がある。

	大口需要家	小口需要家	家庭
北海道電力	343件	336件	1,000件
東北電力	401件	348件	1,400件
東京電力	512件	323件	1,879件
中部電力	408件	300件	1,000件
関西電力	502件	389件	1,071件
北陸電力	336件	300件	1,000件
中国電力	416件	420件	1,030件
四国電力	300件	320件	1,041件
九州電力	366件	360件	1,000件

(1) 大口需要家

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無……47
2. 節電を実施した理由……48
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響……49
4. 実施した節電の内容……50
5. 節電による企業活動への影響……51
6. 2016年度夏季の節電の継続……52
7. 2016年度夏季に節電を継続する場合における、
2016年度夏季と同様の節電取組可能性……53
8. 無理がないと思われる節電目標……54
9. 節電を継続する理由……55
10. 2015年度冬季の節電の実施の有無 ……56
11. 2016年度冬季の節電継続……57
12. 2016年度冬季も節電を行う場合における、
2015年度冬季と同様の節電取組可能性……58
13. 全国的な電力需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響……59

(2) 小口需要家

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無……62
2. 節電を実施した理由……63
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響……64
4. 実施した節電の内容……65
5. 節電による企業活動への影響……66
6. 2016年度夏季の節電の継続……67
7. 2016年度夏季に節電を継続する場合における、
2016年度夏季と同様の節電取組可能性……68
8. 無理がないと思われる節電目標……69
9. 節電を継続する理由……70
10. 2015年度冬季の節電の実施の有無 ……71
11. 2016年度冬季の節電継続……72
12. 2016年度冬季も節電を行う場合における、
2015年度冬季と同様の節電取組可能性……73
13. 全国的な電力需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響……74

(3) 家庭

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無……77
2. 節電を実施した理由……78
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響……79
4. 実施した節電内容……80
5. 特に家庭の節電が必要と思う時間帯……81
6. 特に寒さが厳しい日の朝、夕方ピーク時間帯における
エアコン等の節電……82
7. 2016年度夏季の節電の継続……83
8. 2016年度夏季も節電を継続する場合における、
2016年度夏季と同様の節電取組可能性……84
9. 無理がないと思われる節電幅……85
10. 節電を継続する理由……86
11. でんき予報の活用……87
12. 2015年度冬季の節電の実施の有無……88
13. 2016年度冬季の節電の継続……89
14. 2016年度冬季に節電を継続する場合における、
2015年度冬季と同様の節電取組可能性……90

頁番号修正要

大口需要家のご協力

大口需要家(契約電力500kW以上)の概要

<2016年度夏季の節電に関するヒアリング・アンケート調査概要>

- ① **約9割以上**の大口需要家が「2016年度夏季に節電を実施した」と回答。
・節電の内容は、照明と空調に関するものが最も多い。
- ② **約9割以上**の大口需要家は、「2017年度夏季も節電を継続する」と回答。
・他方、2016年度夏季同様の節電は困難との声が**約4%**みられる。
- ③ 「無理がないと思われる節電目標」は10%未満が大多数。
・**約7割**が「無理がないと思われる節電目標」として5%未満(このうち、0%は2割程度)と回答。
- ④ 2017年度夏季も節電を継続する理由として「コスト削減につながるから」との回答が最も多く、節電意識の高まりが見られる一方で、「電力不安があり協力したいと考えたから」との回答も1割程度見られた。
- ⑤ 2016年度夏季の節電については、**約8割**の企業が、節電の実施による影響がなかったと回答。
・他方で、従業員からのクレーム、顧客サービスの低下、生産販売への影響、自家発電稼働によるコスト増などの声も少なからずあった。

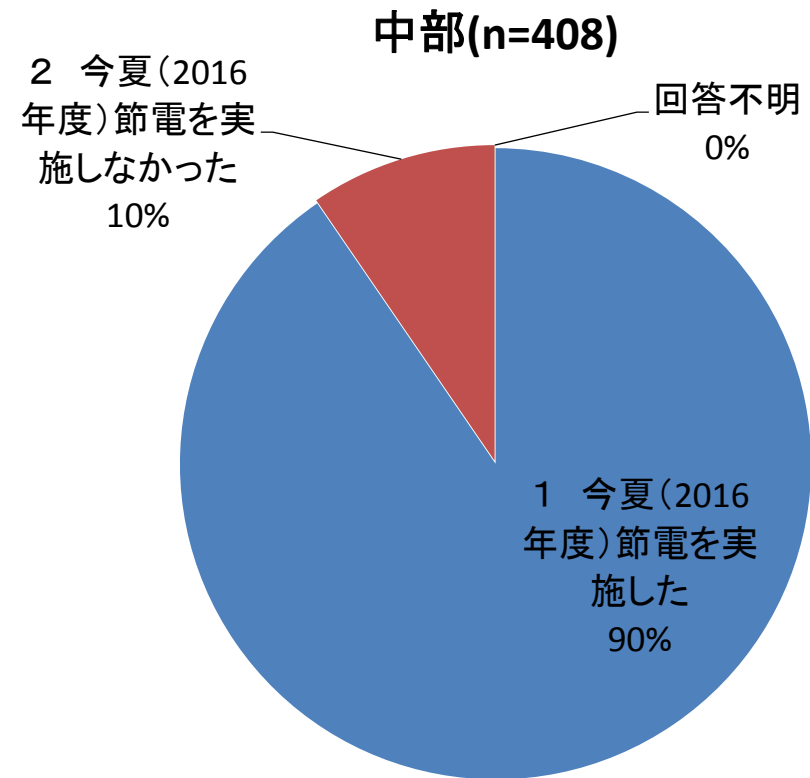
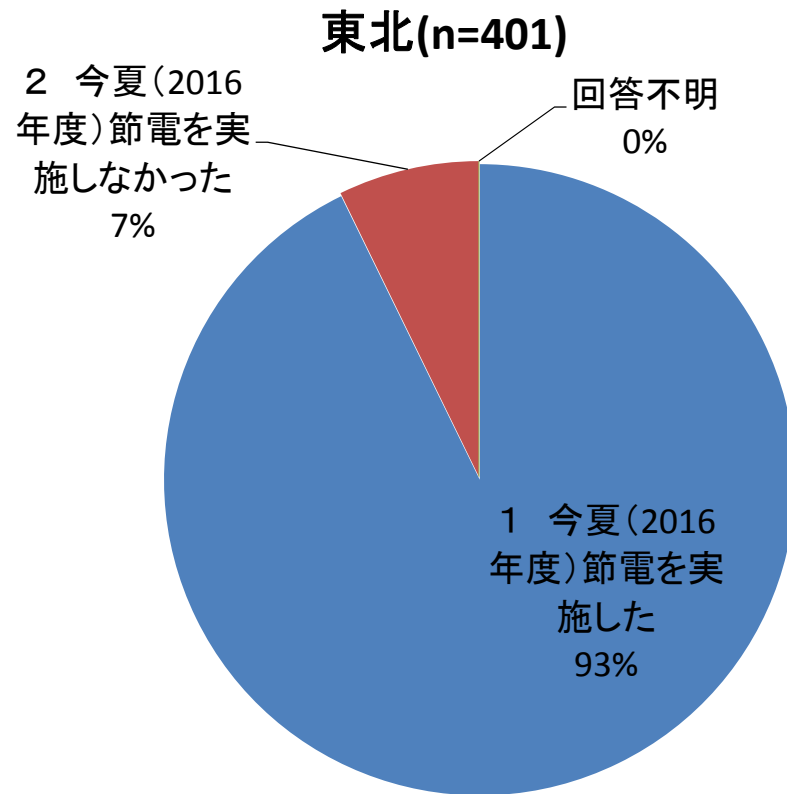
<参考:2016年度夏季の大口需要家の需要減少>

単位(万kW)

	東北電力	中部電力
数値目標	なし	なし
節電効果 ()内の単位: 万kW	▲13% (▲58)	▲4% (▲48)

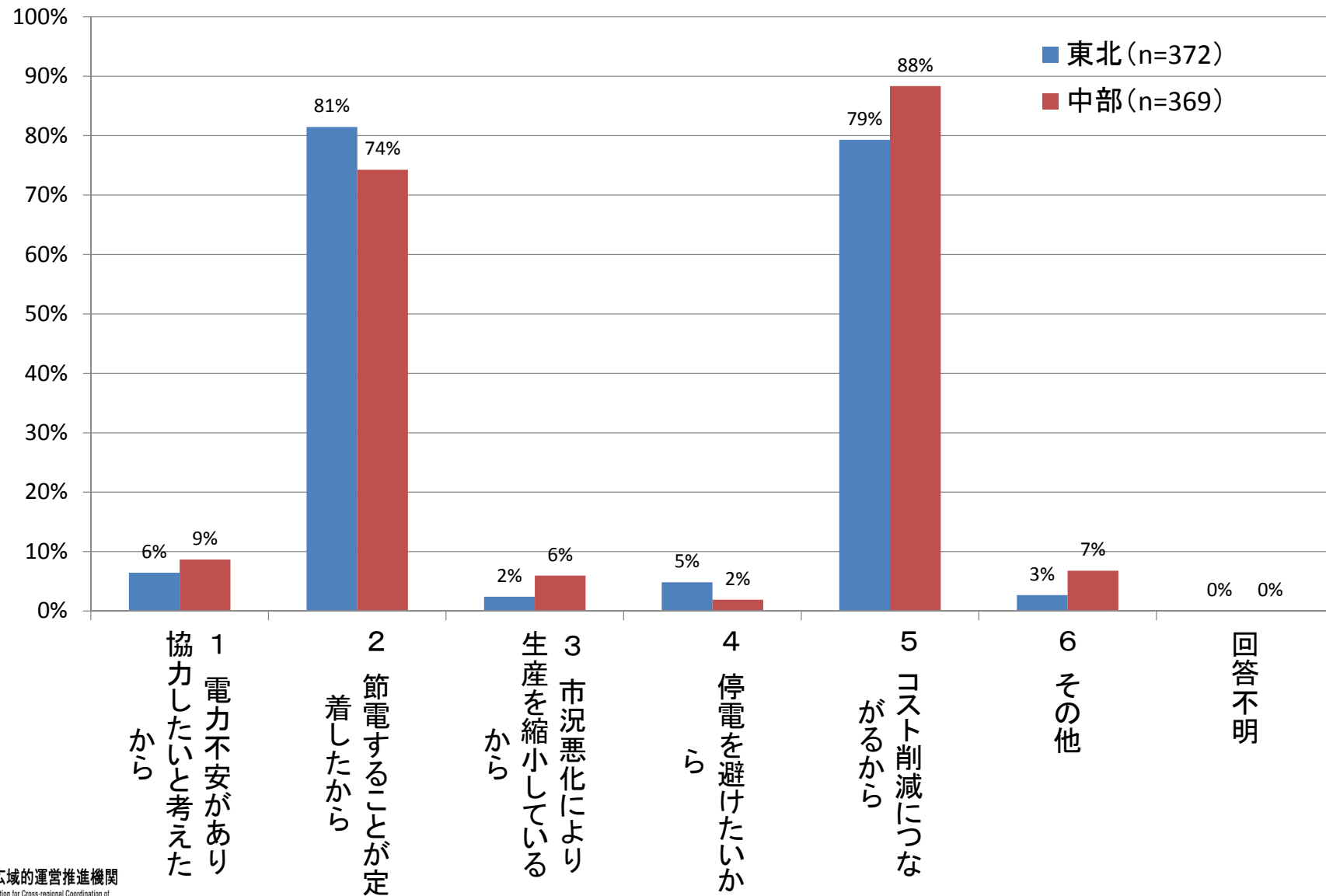
※7月1日(金)から8月31日(水)時点まで(土日祝日、その他異常値を除く)の期間について2010年度夏季の需要の気温感応度を基に今夏の各日の需要値(理論値)を算出し、これと今夏の各日の需要実績との差を比較・平均等したもの。内訳はサンプルデータや契約電力等から推計。

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無



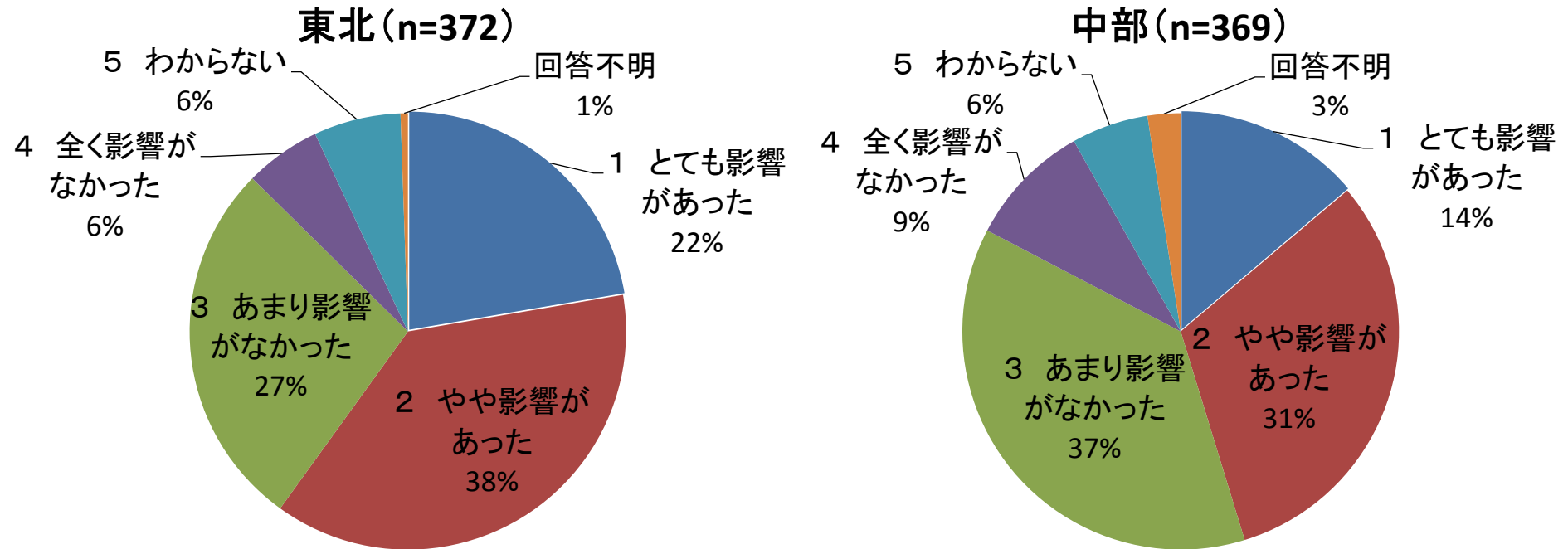
2. 節電を実施した理由(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



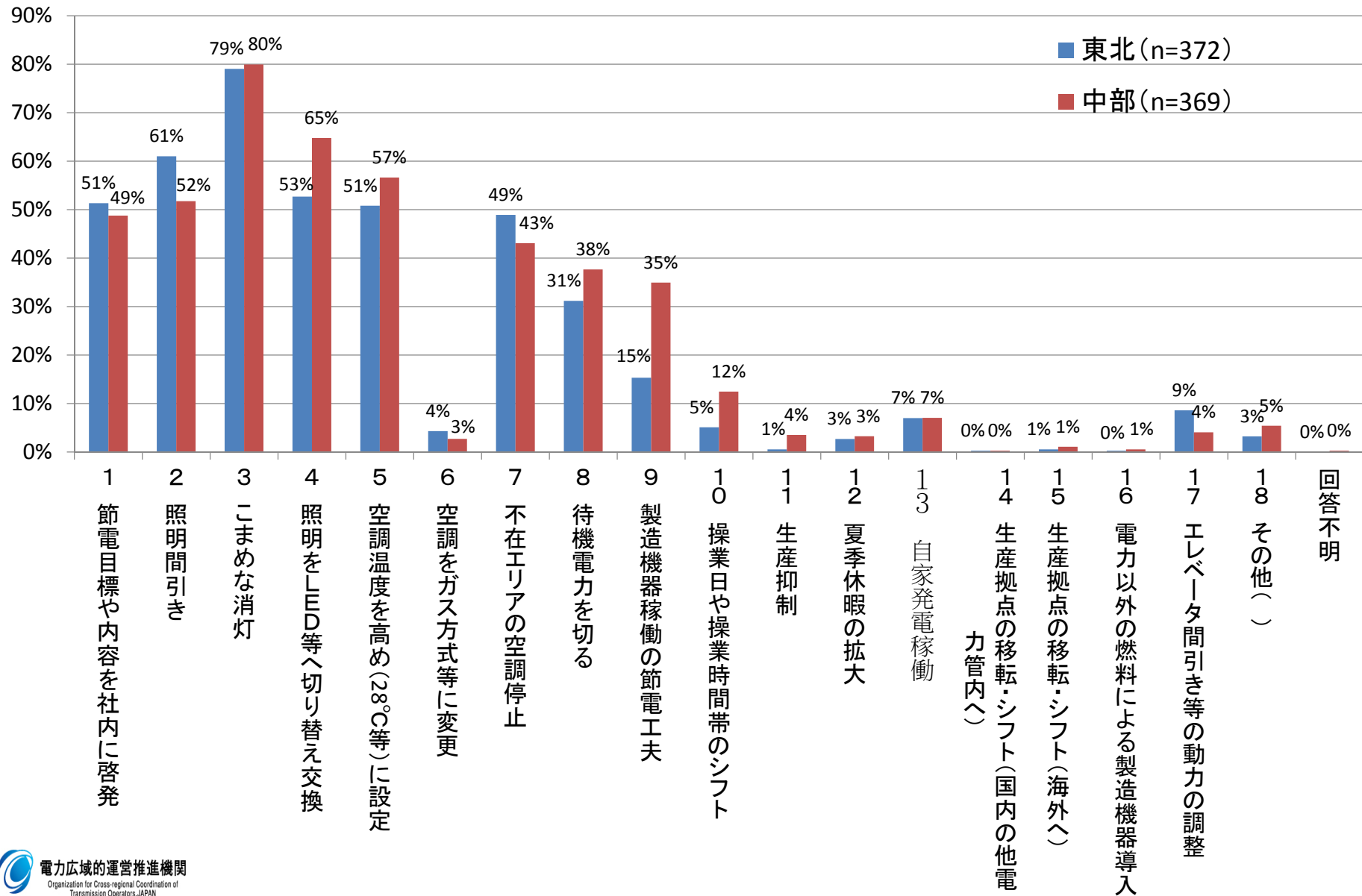
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



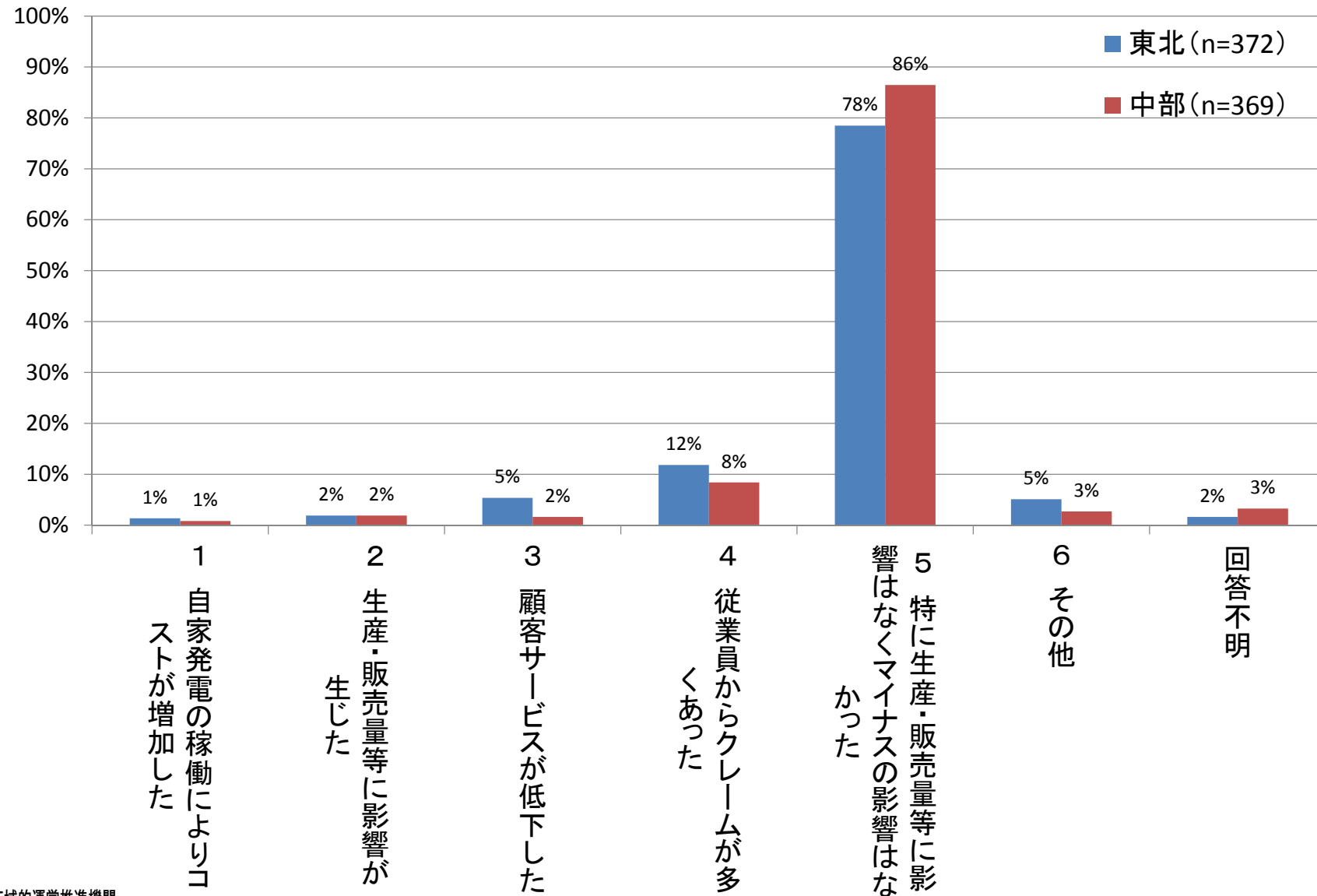
4. 実施した節電の内容(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



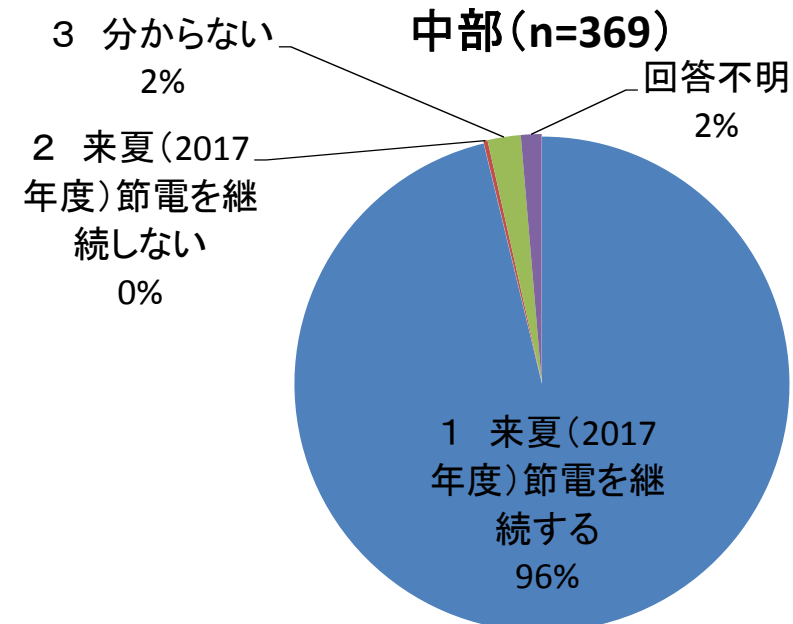
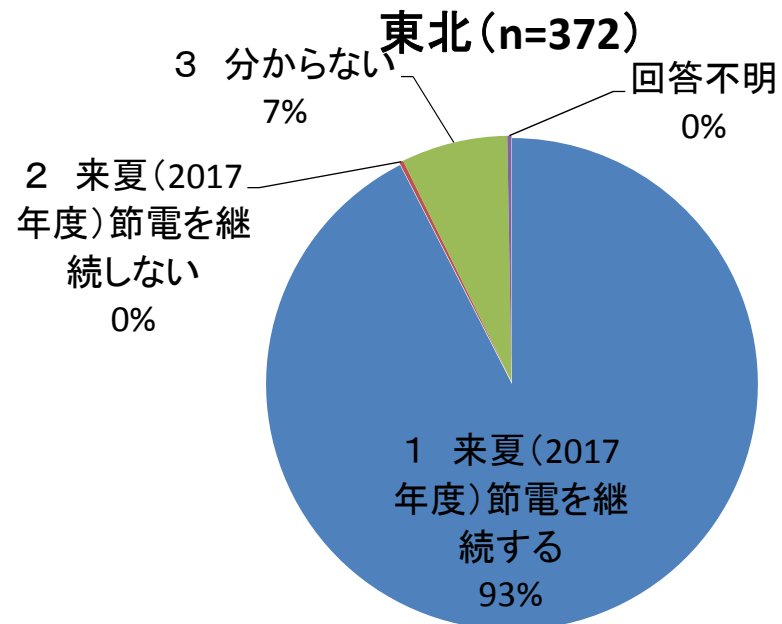
5. 節電による企業活動への影響(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



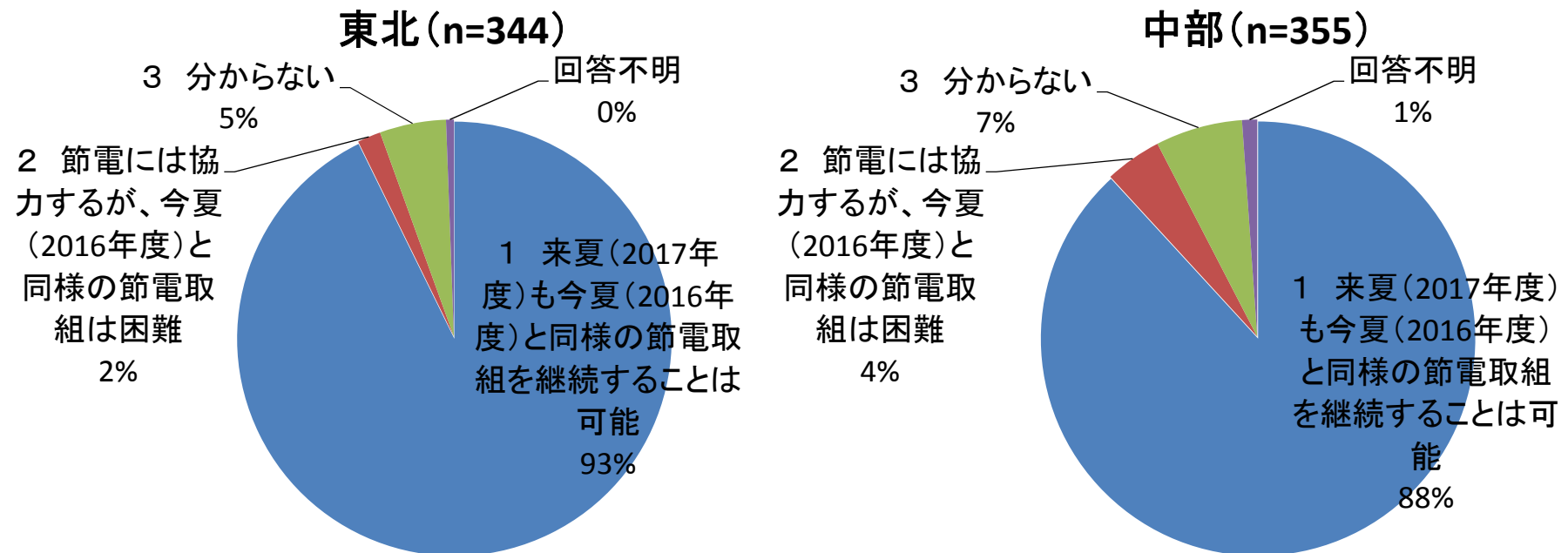
6. 2017年度夏季の節電継続

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ

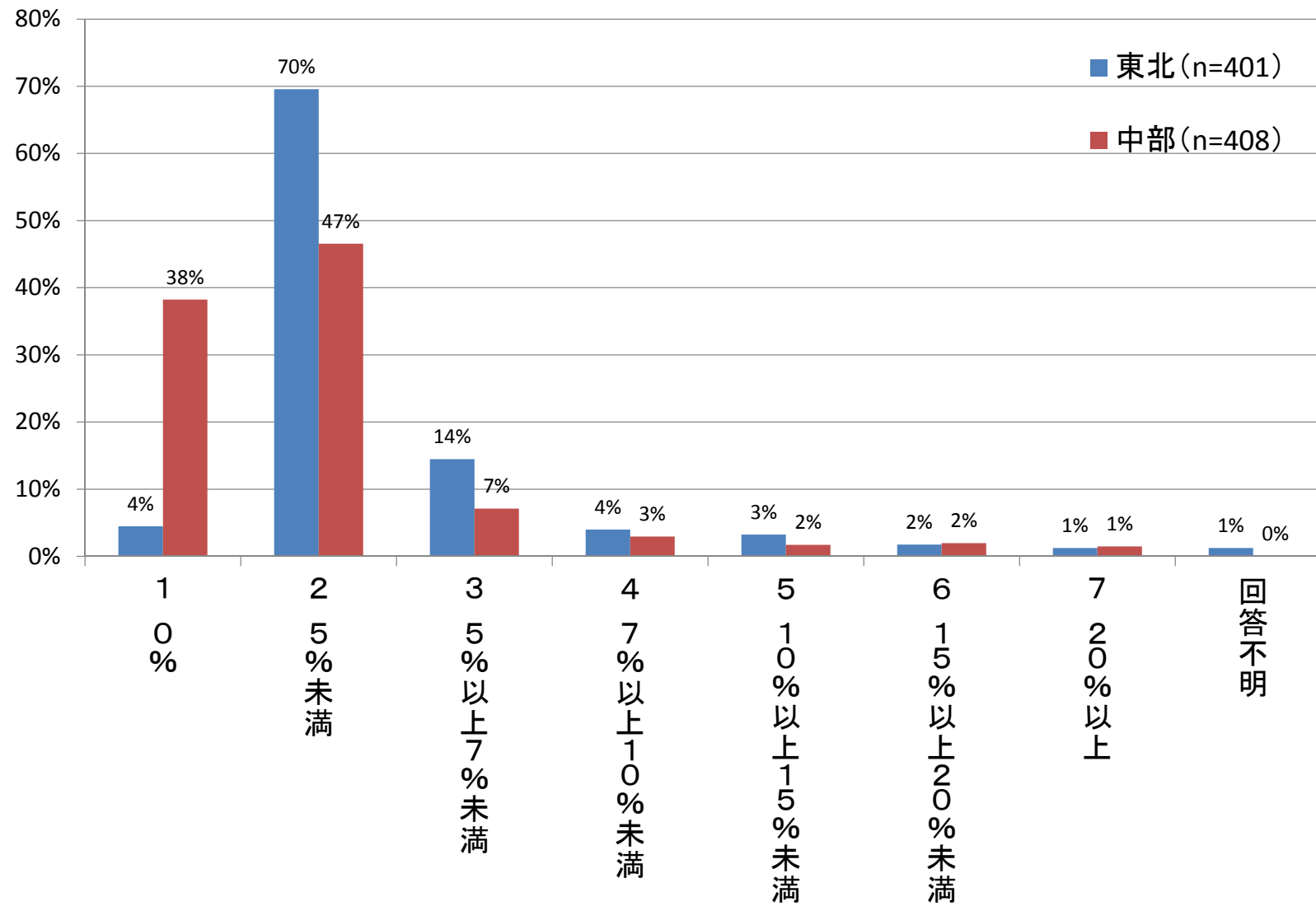


7. 2017年度夏季も節電を行う場合における、2016年度夏季と同様の節電取組可能性

※6. で「節電を継続する」と回答した企業のみ

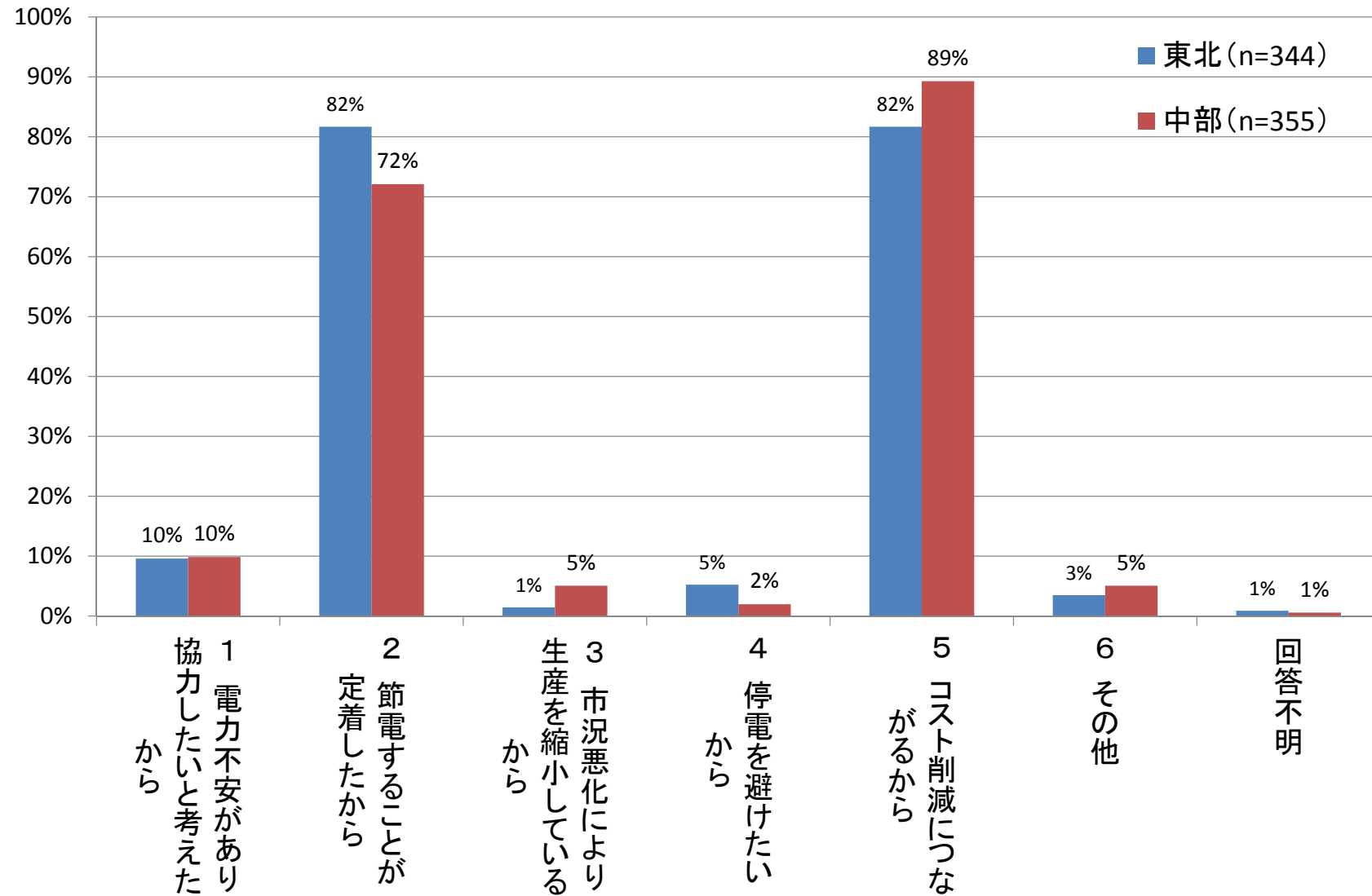


8. 無理がないと思われる節電目標(対2010年度(震災前)比)

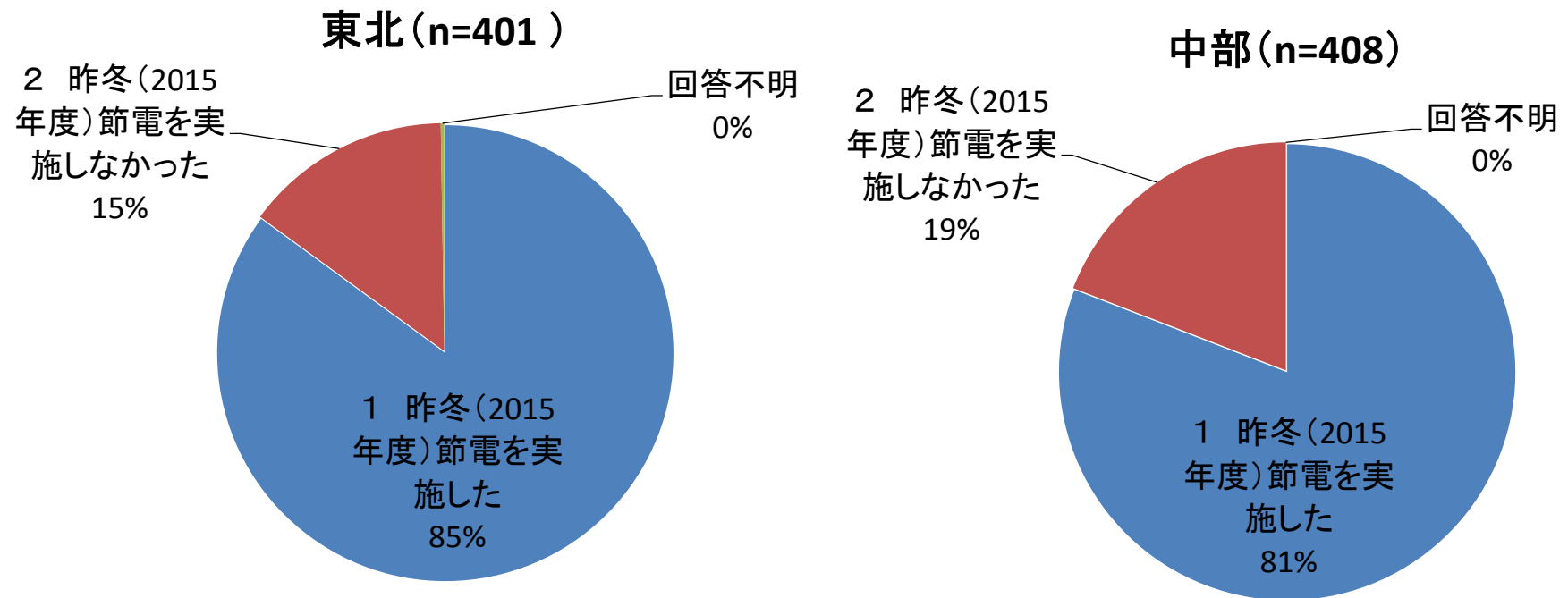


9. 節電を継続する理由(複数回答可)

※6. で「節電を継続する」と回答した企業のみ

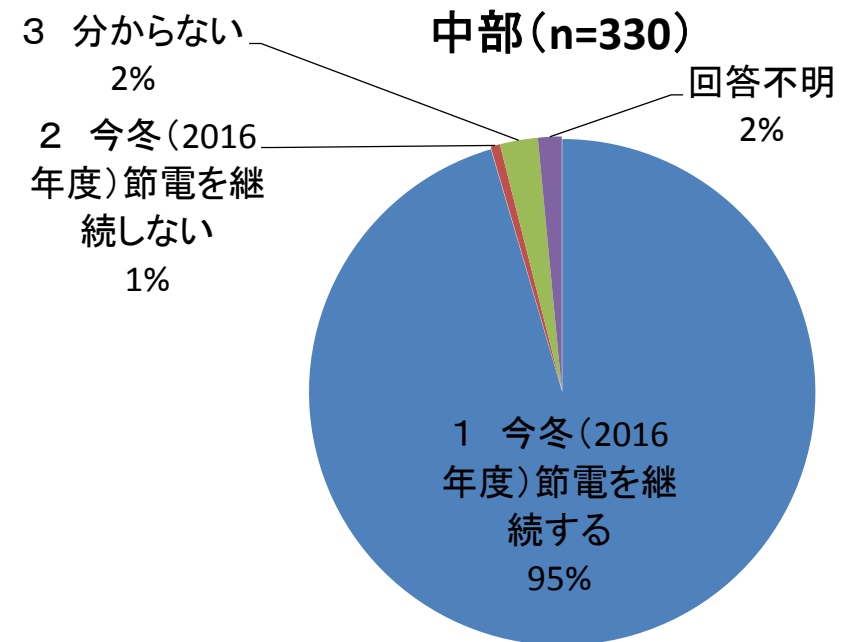
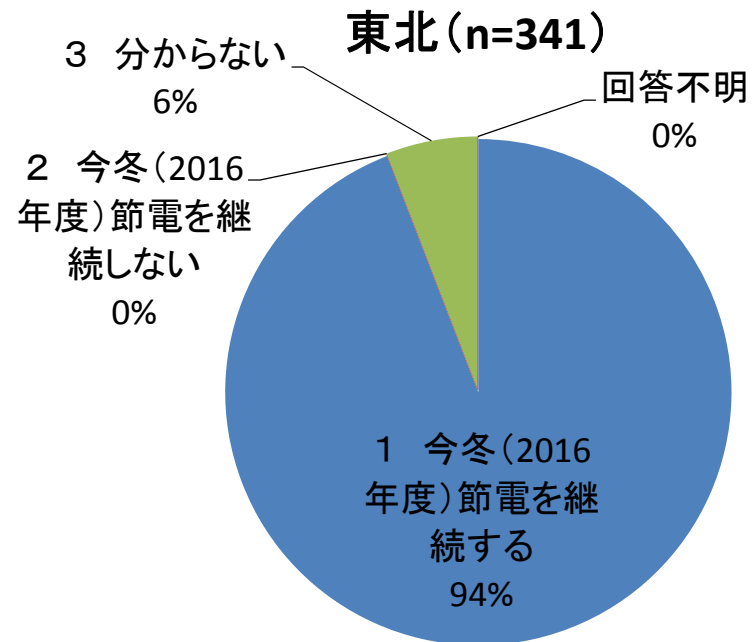


10. 2015年度冬季の節電の実施の有無



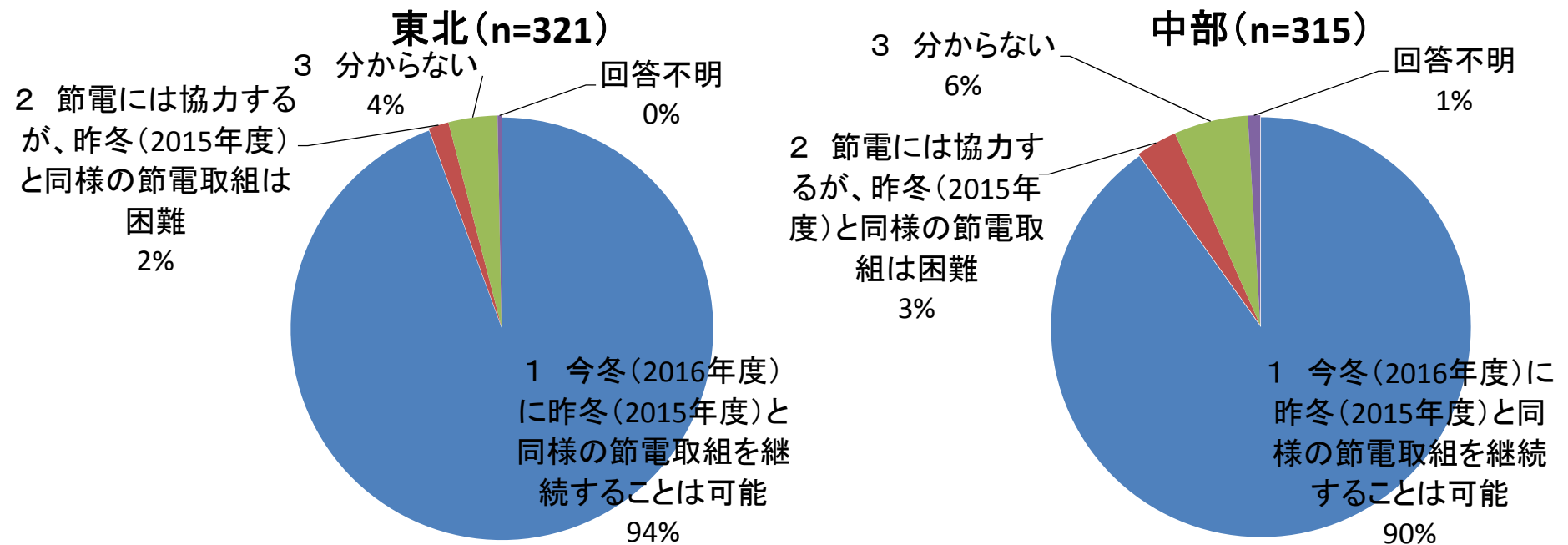
11. 2016年度冬季の節電の継続

※10. で「節電を実施した」と回答した企業のみ

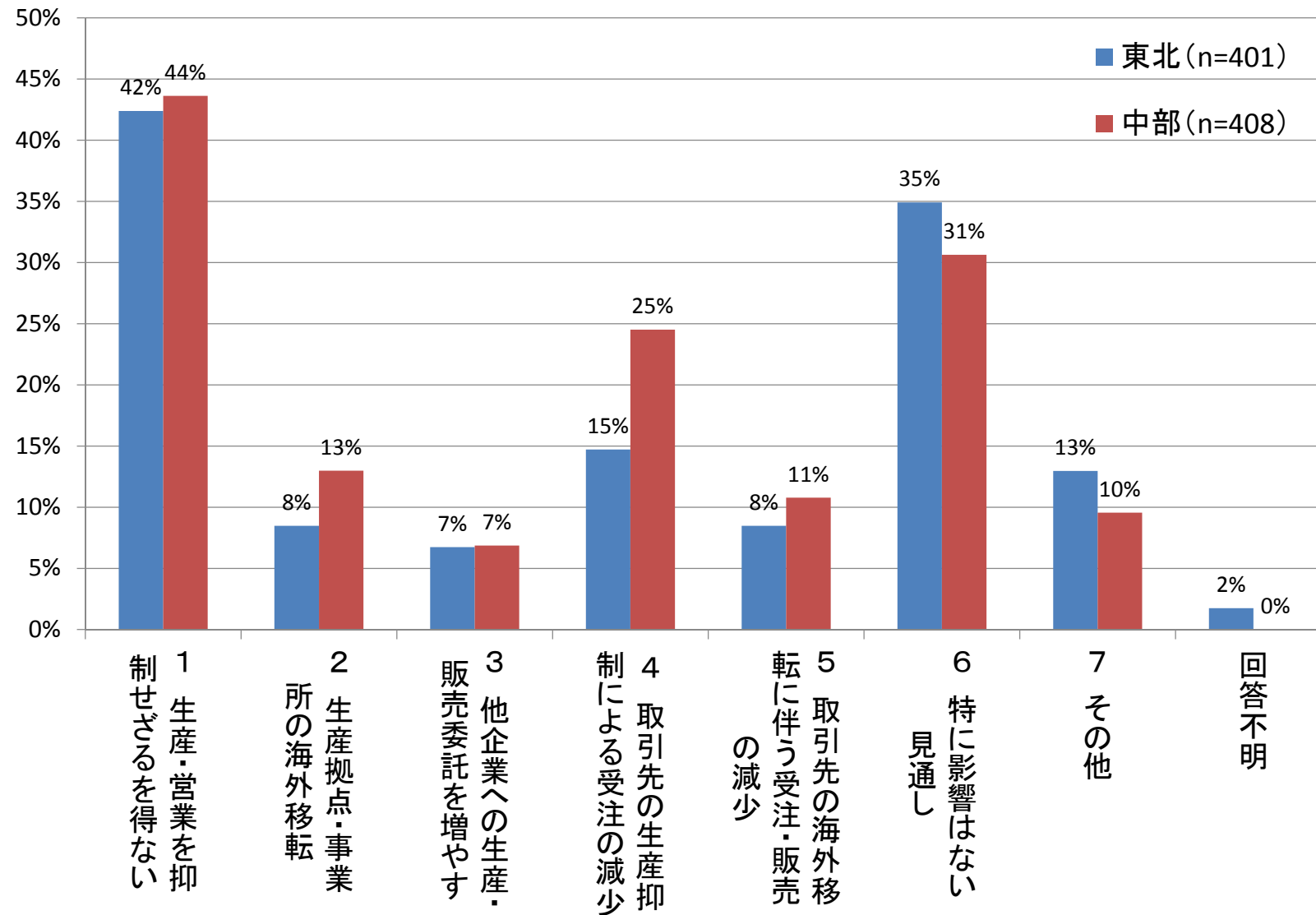


12. 2016年度冬季に節電を継続する場合における2015年度冬季と同様の節電取組可能性

※11. で「節電を継続する」と回答した企業のみ



13. 全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響(複数回答可)



小口需要家のご協力

小口需要家(契約電力500kW未満)の概要

<2016年度夏季の節電に関するヒアリング・アンケート調査概要>

- ①約8割以上の小口需要家が「2016年度夏季に節電を実施した」と回答。
・節電の内容は、照明と空調に関するものが最も多い。
- ②約9割以上の小口需要家は、「2017年度夏季も節電を継続する」と回答。
・他方、2016年度夏季同様の節電は困難との声が約2%みられる。
- ③「無理がないと思われる節電目標」は10%未満が大多数。
・約6割が「無理がないと思われる冬季の節電目標」として5%未満(このうち、0%は1割程度)と回答。
- ④2016年度夏季も節電を継続する理由として「コスト削減につながるから」との回答が最も多く、節電意識の高まりが見られる一方で、「節電することが定着しているから」との回答も多く見られた。
- ⑤2016年度夏季の節電については、約8割の企業が、節電の実施による影響がなかったと回答。
・他方で、従業員からのクレーム、顧客サービスの低下、生産販売への影響によるコスト増などの声も少なからずあった。

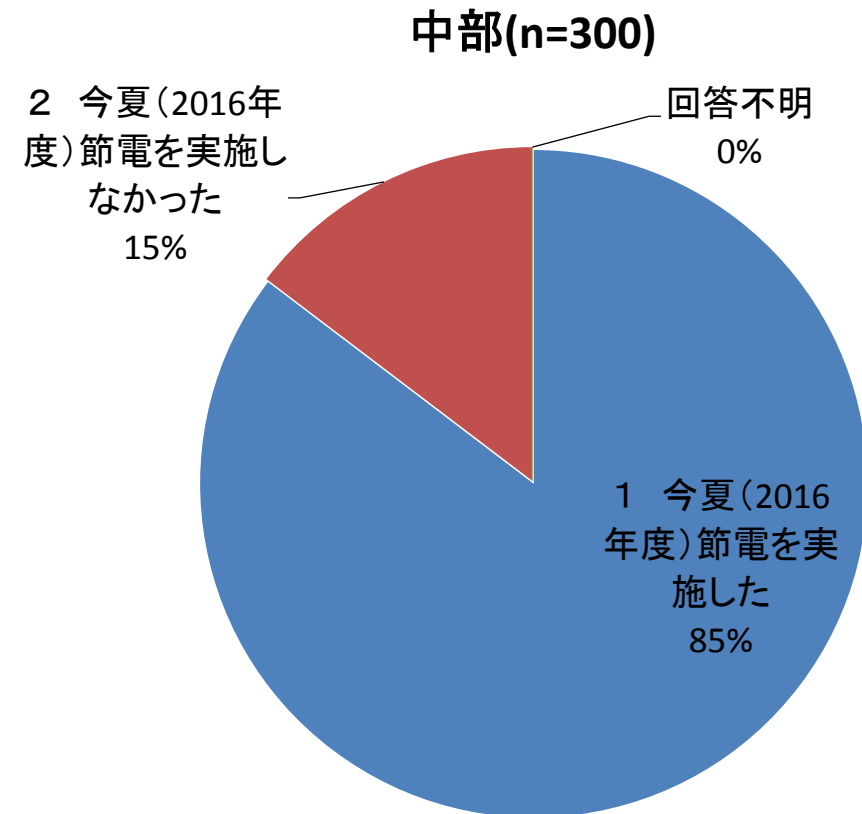
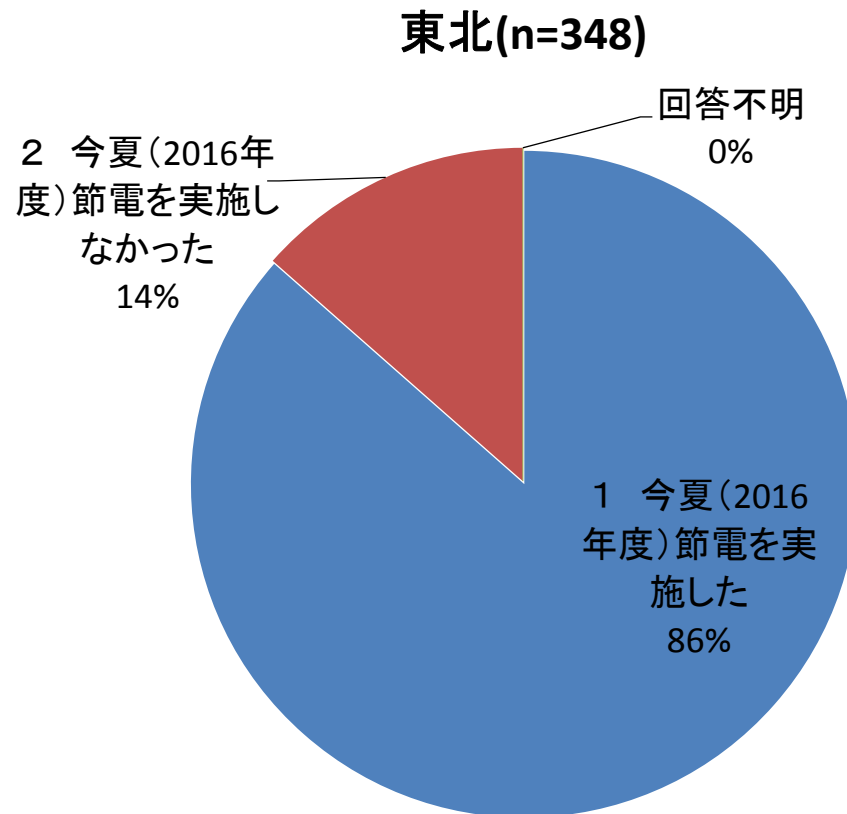
<参考:2016年度夏季の小口需要家の需要減少>

単位(万kW)

	東北電力	中部電力
数値目標	なし	なし
節電効果 ()内の単位: 万kW	▲20% (▲101)	▲10% (▲89)

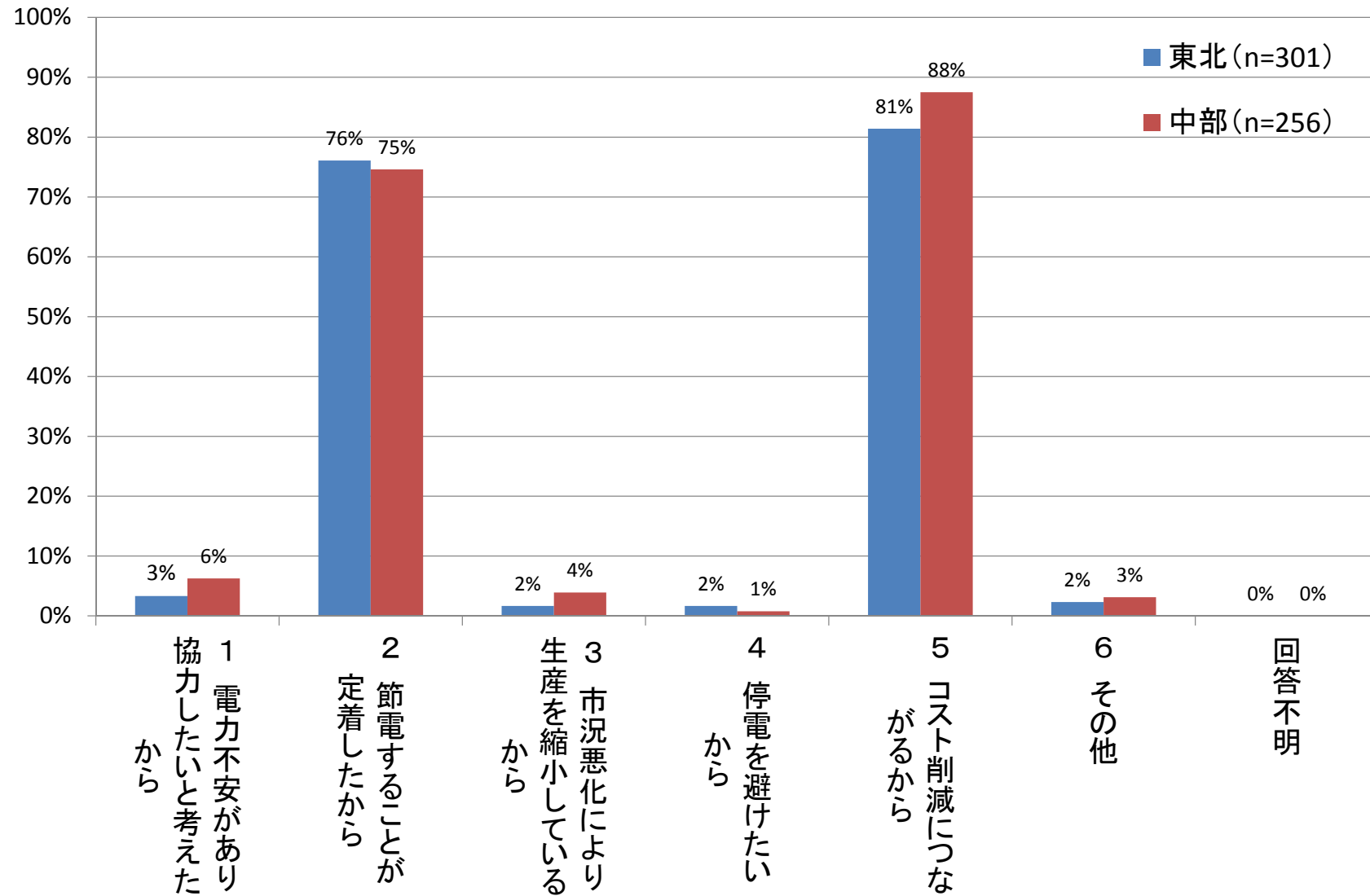
※節電要請期間であった7月1日(金)から8月31日(水)時点まで(土日祝日、その他異常値を除く)の期間について2010年度夏季の需要の気温感応度を基に今夏の各日の需要値(理論値)を算出し、これと今夏の各日の需要実績との差を比較・平均等したもの。内訳はサンプルデータや契約電力等から推計。

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無



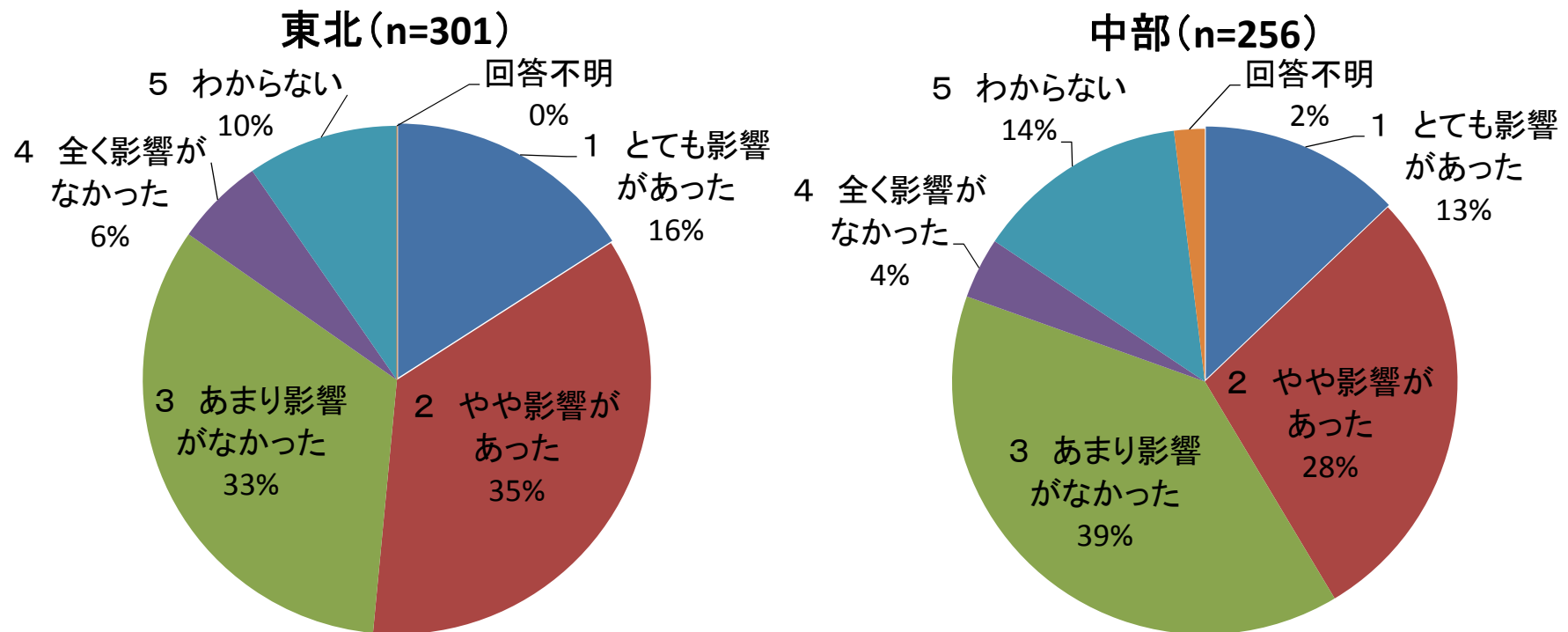
2. 節電を実施した理由(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



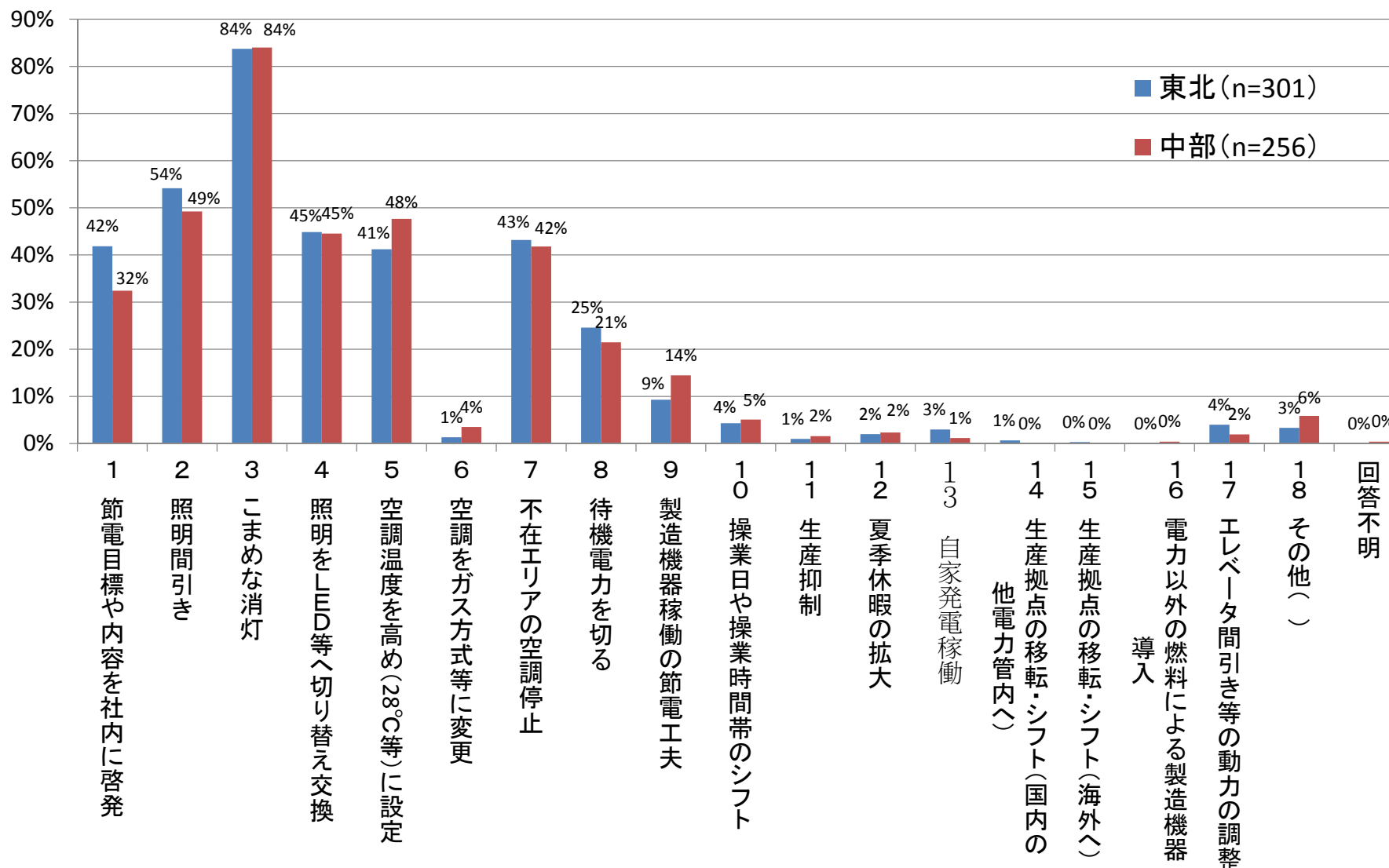
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



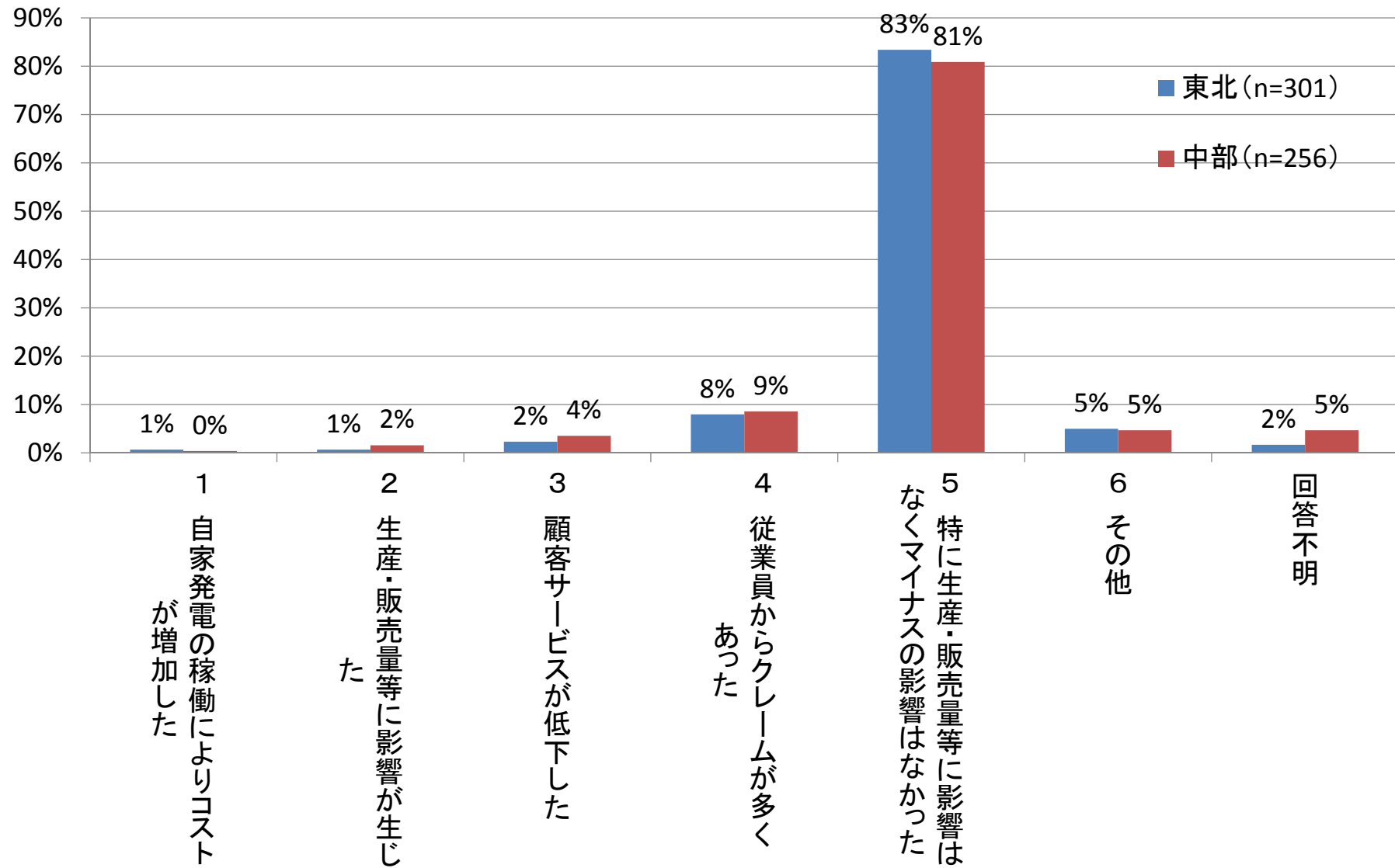
4. 実施した節電の内容(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



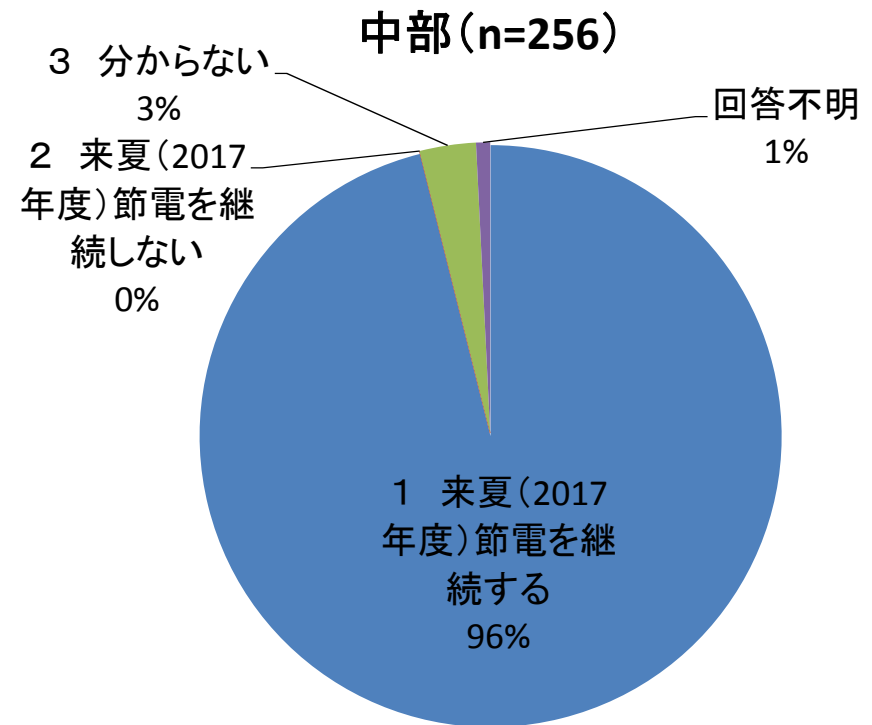
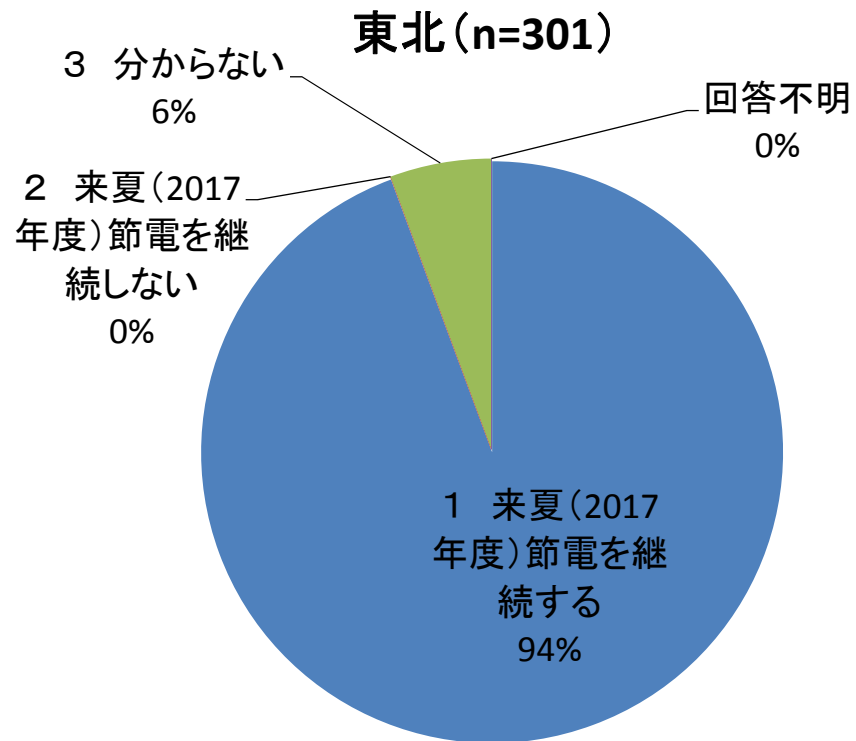
5. 節電による企業活動への影響(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ



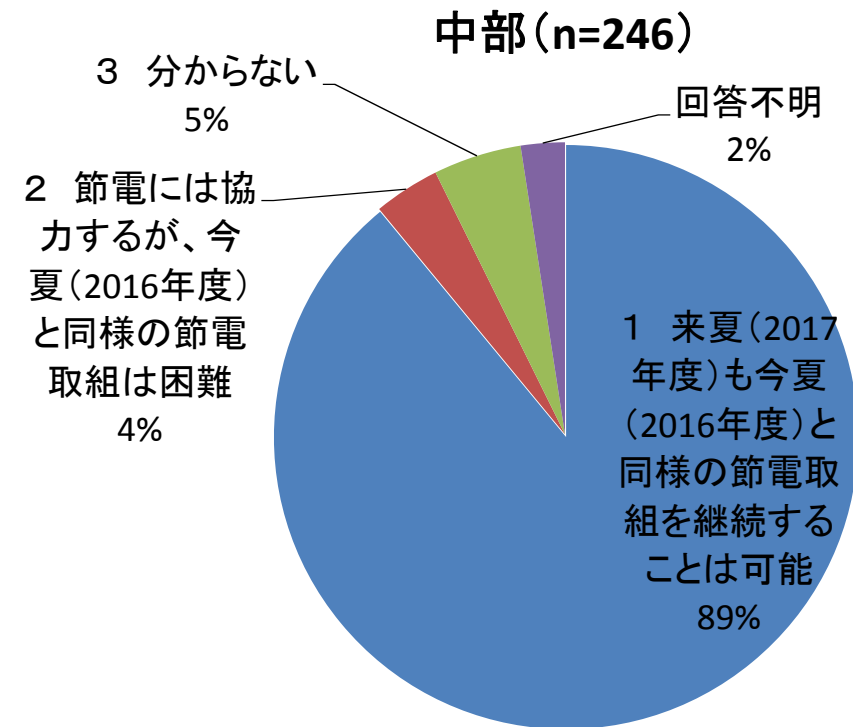
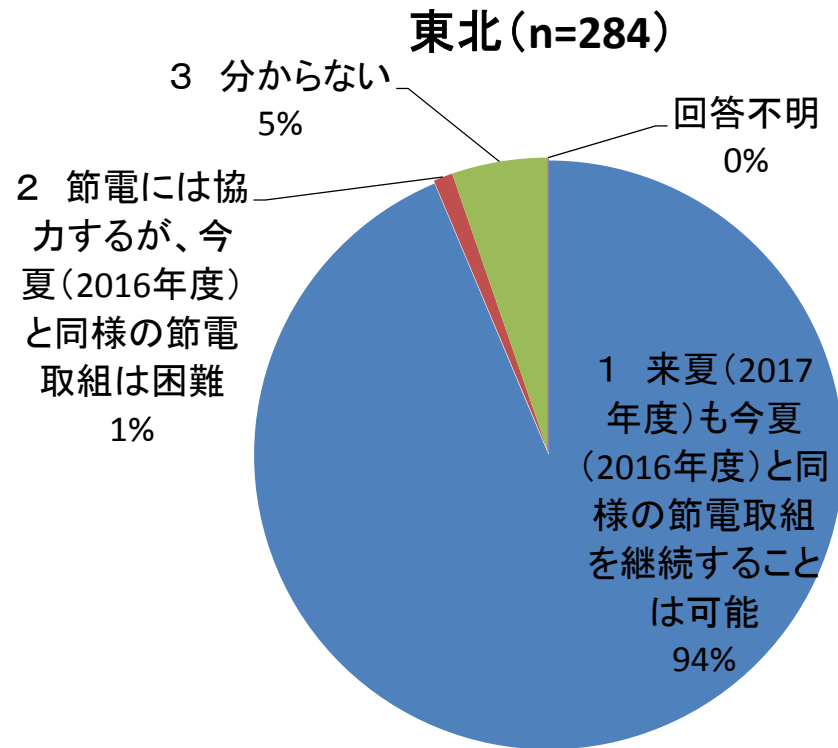
6. 2017年度夏季の節電継続

※1. で「節電を実施した」と回答した企業のみ

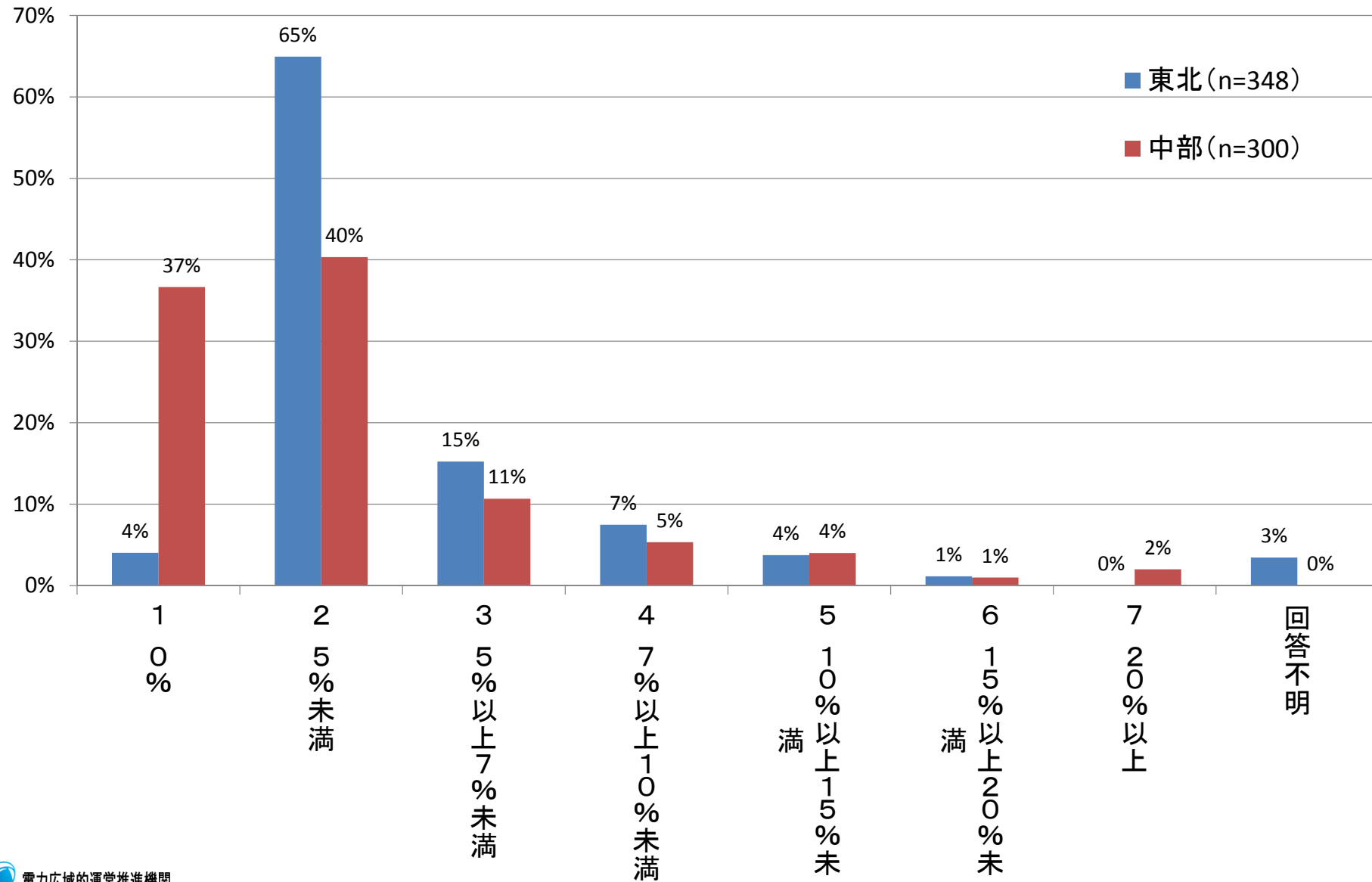


7. 2017年度夏季も節電を行う場合における、2016年度夏季と同様の節電取組可能性

※6. で「節電を継続する」と回答した企業のみ

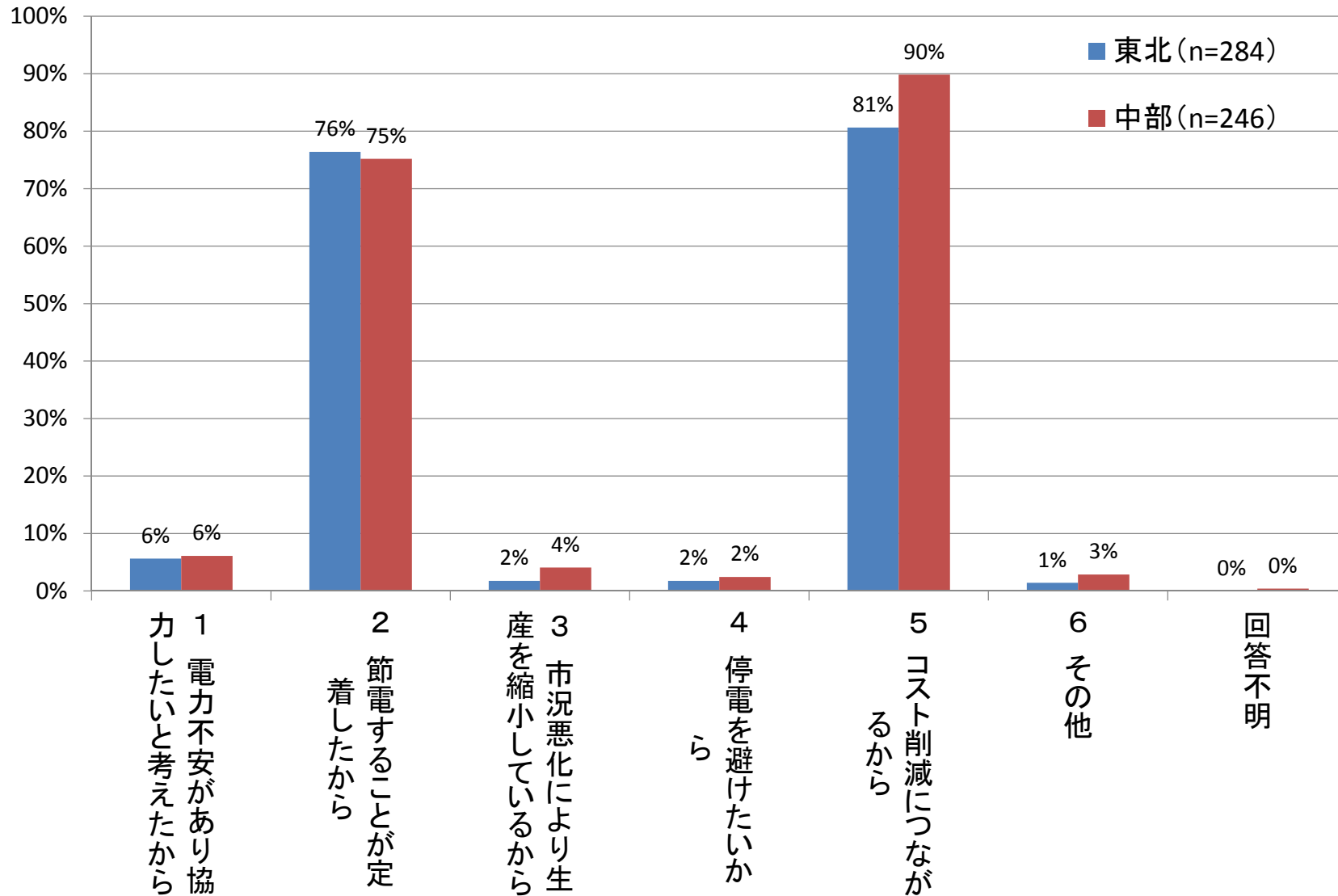


8. 無理がないと思われる節電目標(対2010年度(震災前)比)

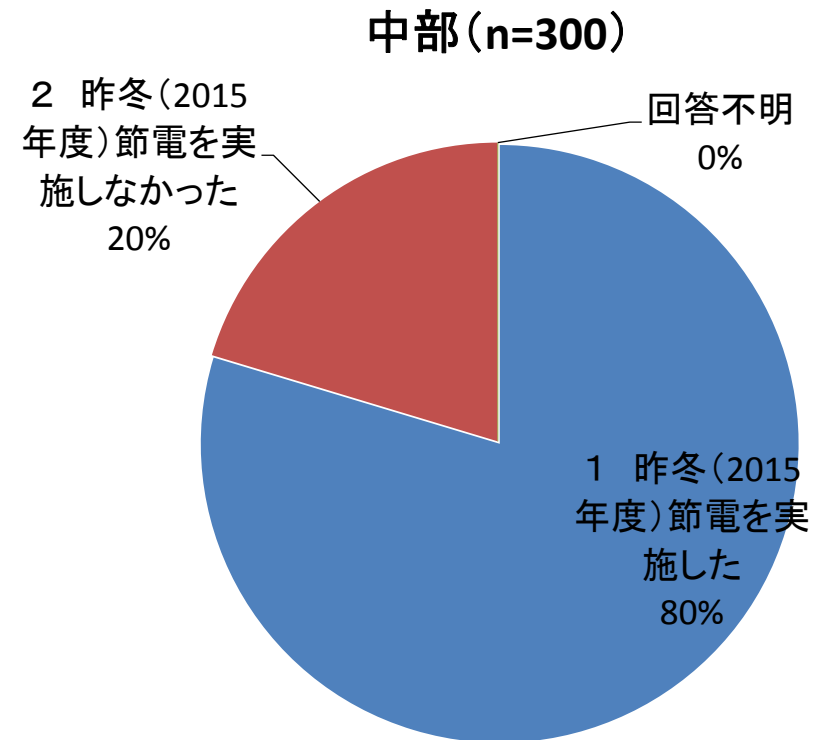
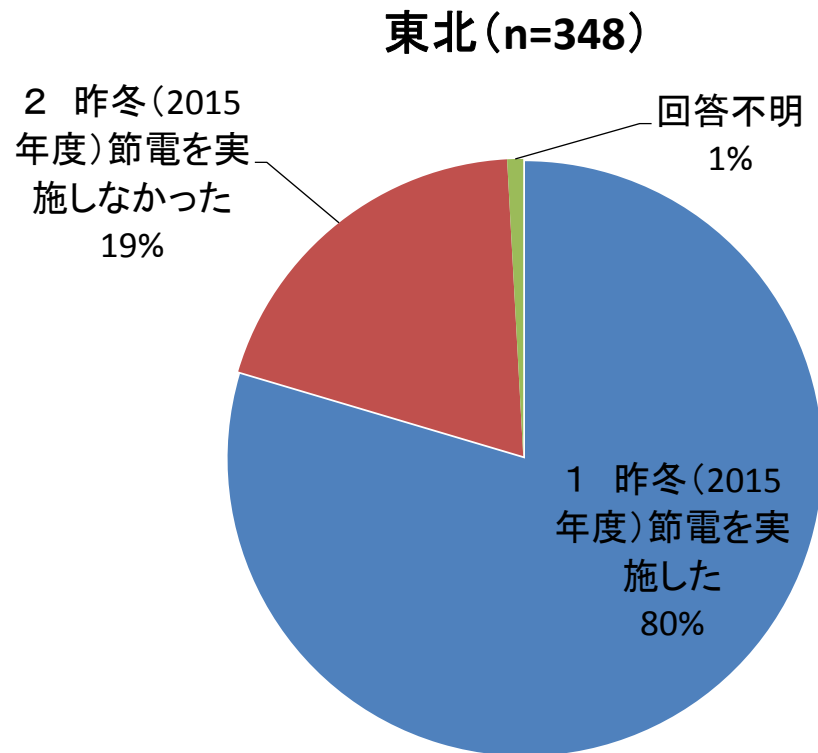


9. 節電を継続する理由(複数回答可)

※6. で「節電を継続する」と回答した企業のみ

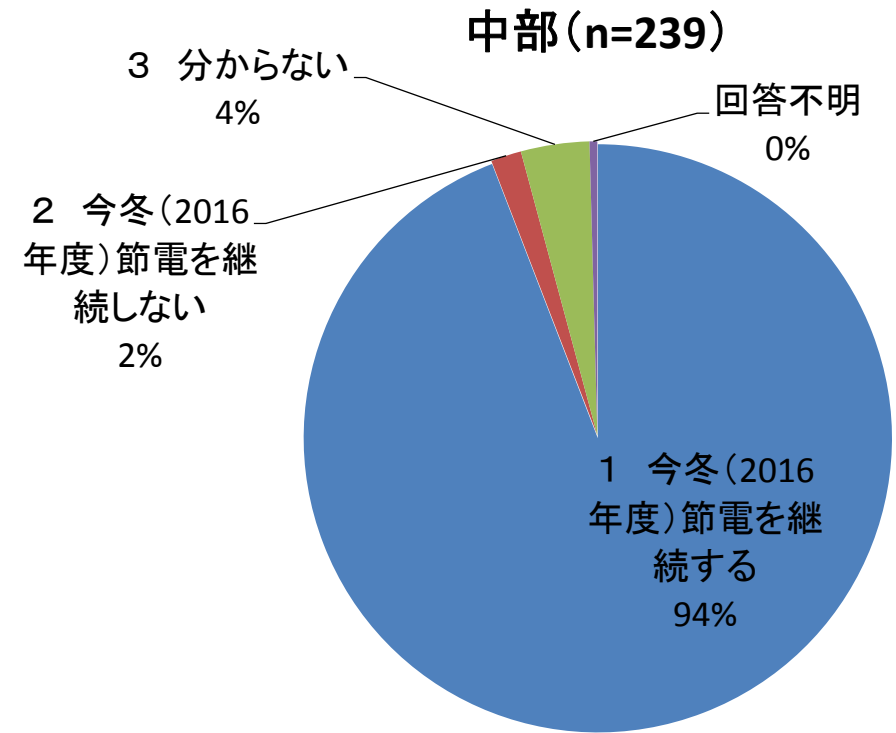
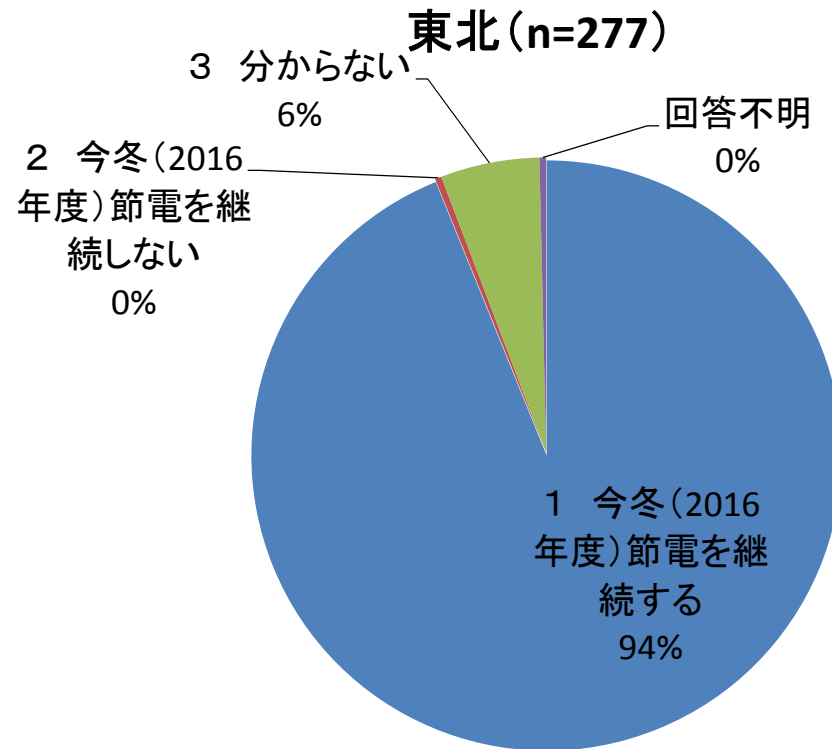


10. 2015年度冬季の節電の実施の有無



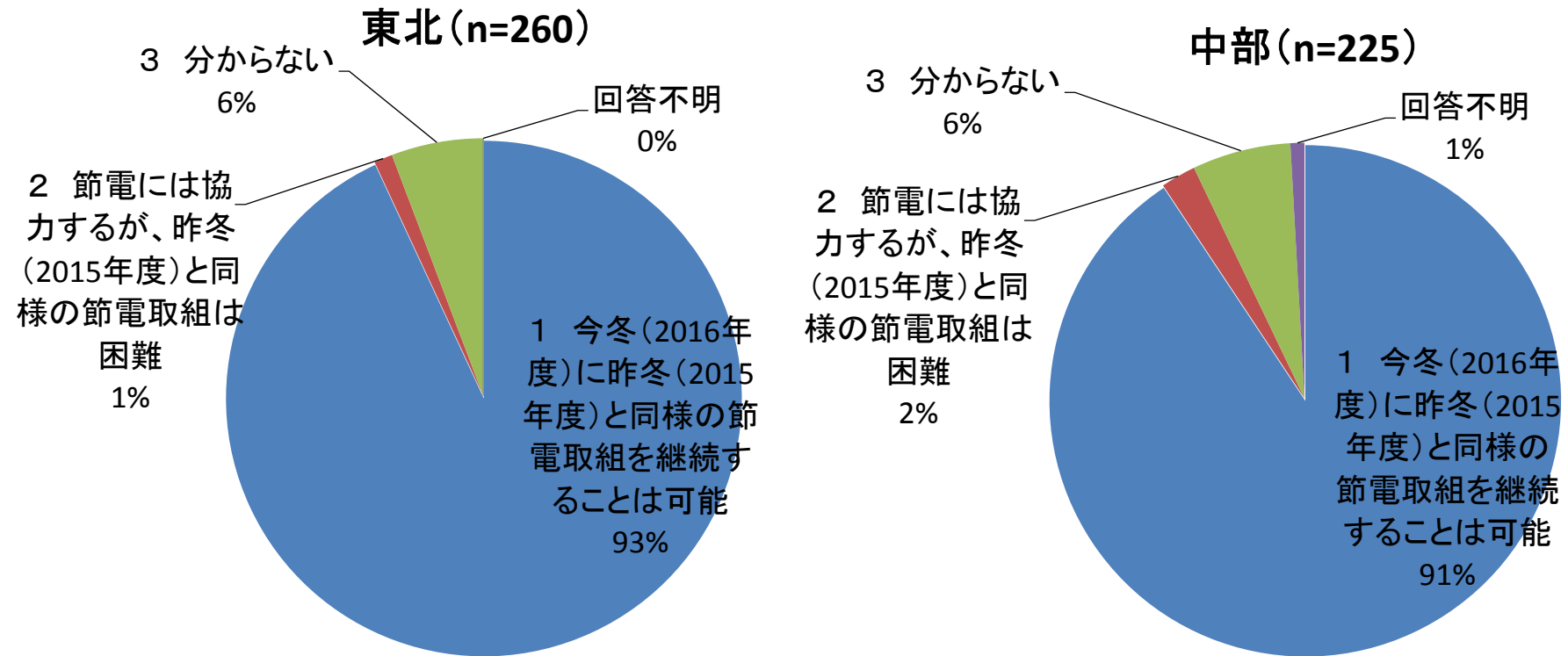
11. 2016年度冬季の節電の継続

※10. で「節電を実施した」と回答した企業のみ

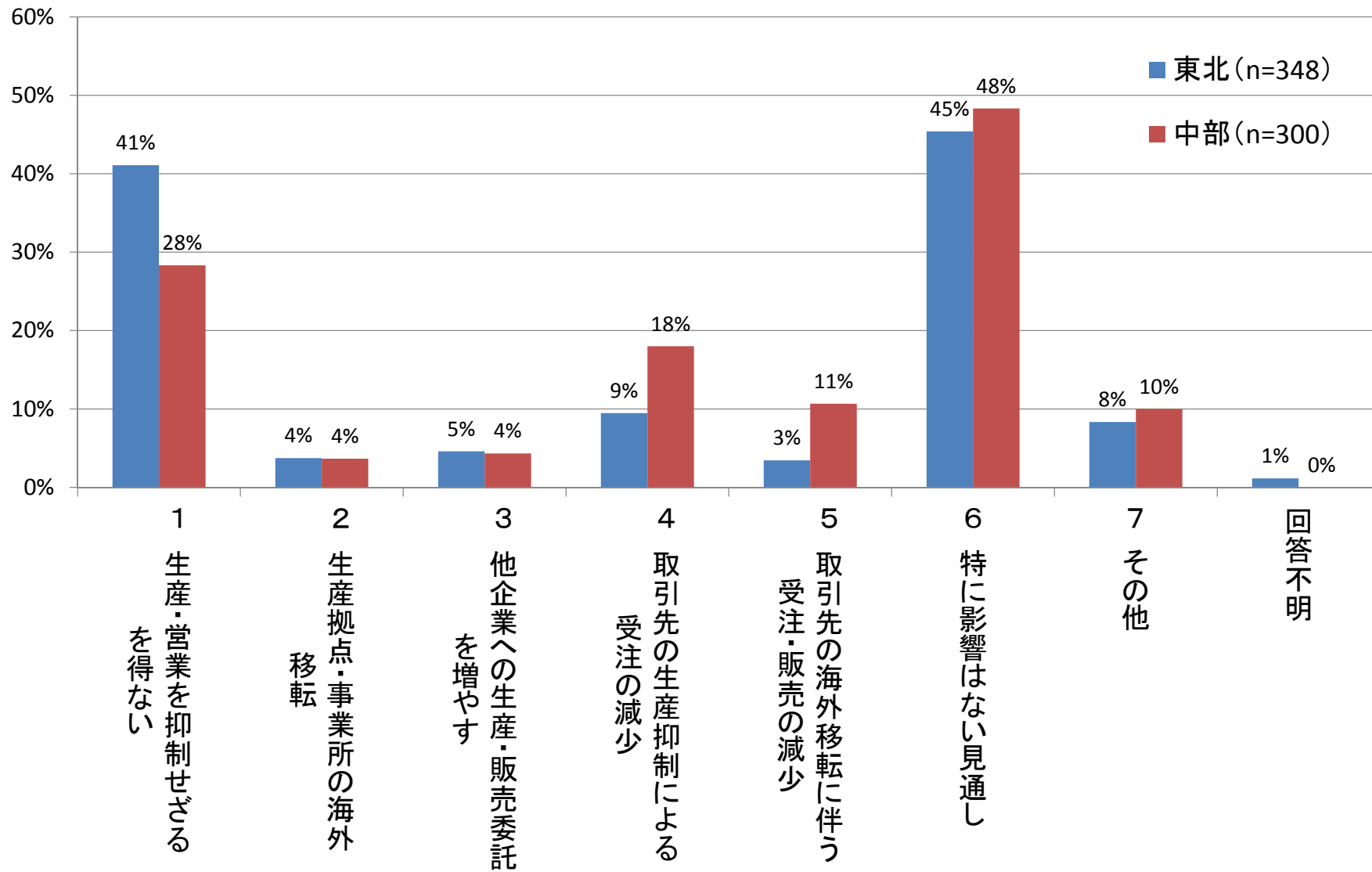


12. 2016年度冬季に節電を継続する場合における2015年度冬季と同様の節電取組可能性

※11. で「節電を継続する」と回答した企業のみ



13. 全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響(複数回答可)



家庭のご協力

<2016年度夏季の節電に関するヒアリング・アンケート調査概要>

- ①約5割の家庭需要家が「2016年度夏季に節電を実施した」と回答。
 - ・大口（約9割実施）、小口（約8割実施）に比べ実績が低い傾向。
 - ・節電の内容は、エアコンや照明、テレビに関するものが最も多い。
- ②約9割以上の家庭需要家は、「2017年度夏季も節電を継続する」と回答。
 - ・他方、2016年度夏季同様の節電は困難との声が約2%みられる。
- ③「無理がないと思われる節電目標」は15%未満が大多数。
 - ・約4割が「無理がないと思われる節電目標」として5%未満（このうち、0%は1割程度）と回答。
- ④2017年度夏季も節電を継続する理由として「節電をすれば電気代の節約になったから」との回答が最も多く、節電意識の高まりが見られる一方で、「政府・電力会社の広報や新聞・ニュースを見て、「家庭の協力が必要」と思ったから」との回答も少なからず見られた。

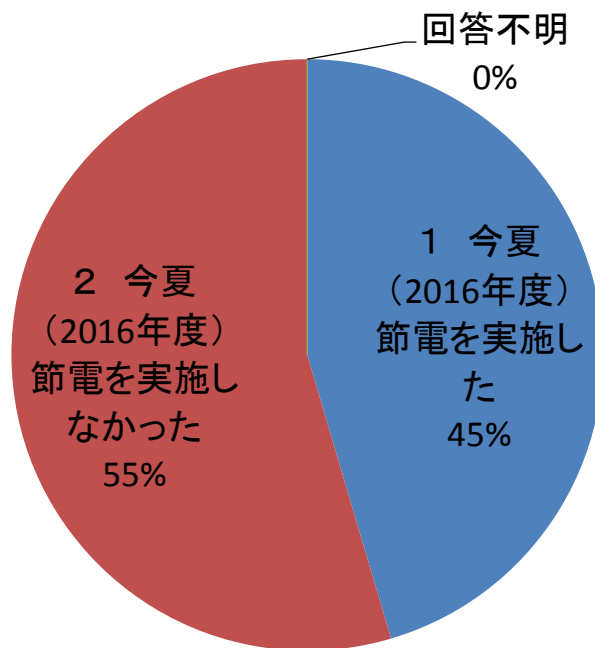
<参考：2016年度夏季の家庭の需要減少>

	単位(万kW)	
	東北電力	中部電力
数値目標	なし	なし
節電効果 ()内の単位: 万kW	▲17% (▲60)	▲12% (▲88)

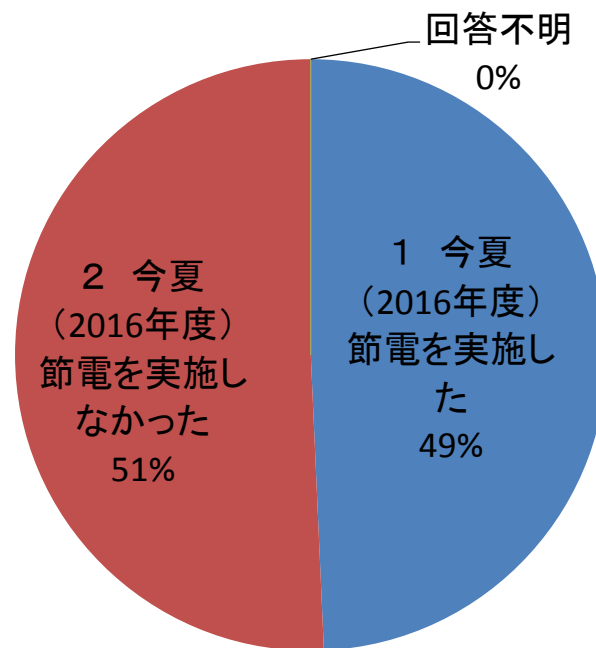
※節電要請期間であった7月1日(金)から8月31日(水)時点まで(土日祝日、その他異常値を除く)の期間について2010年度夏季の需要の気温感応度を基に今夏の各日の需要値(理論値)を算出し、これと今夏の各日の需要実績との差を比較・平均等したもの。内訳はサンプルデータや契約電力等から推計。

1. 2016年度夏季の節電の実施の有無

東北(n=1400)

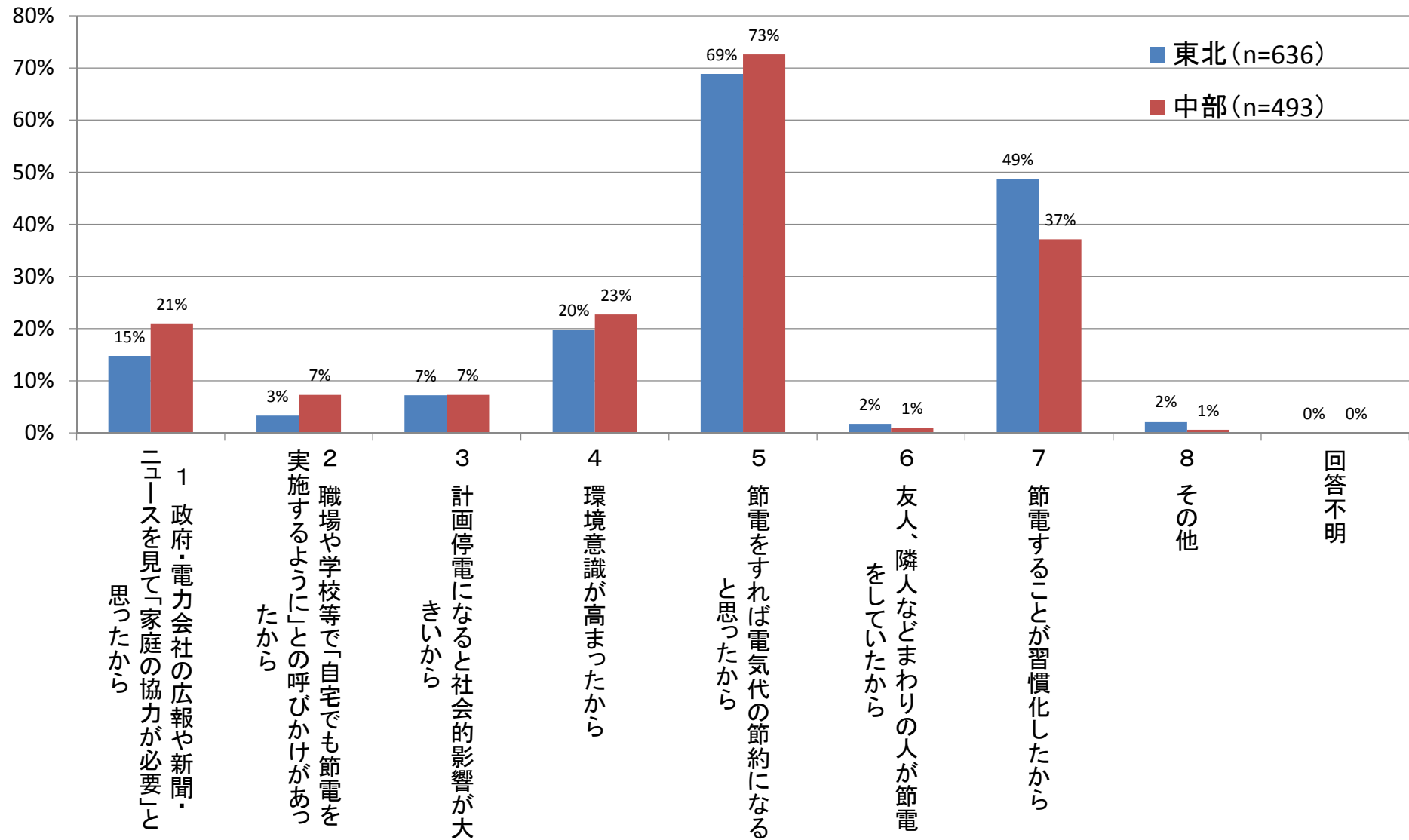


中部(n=1000)



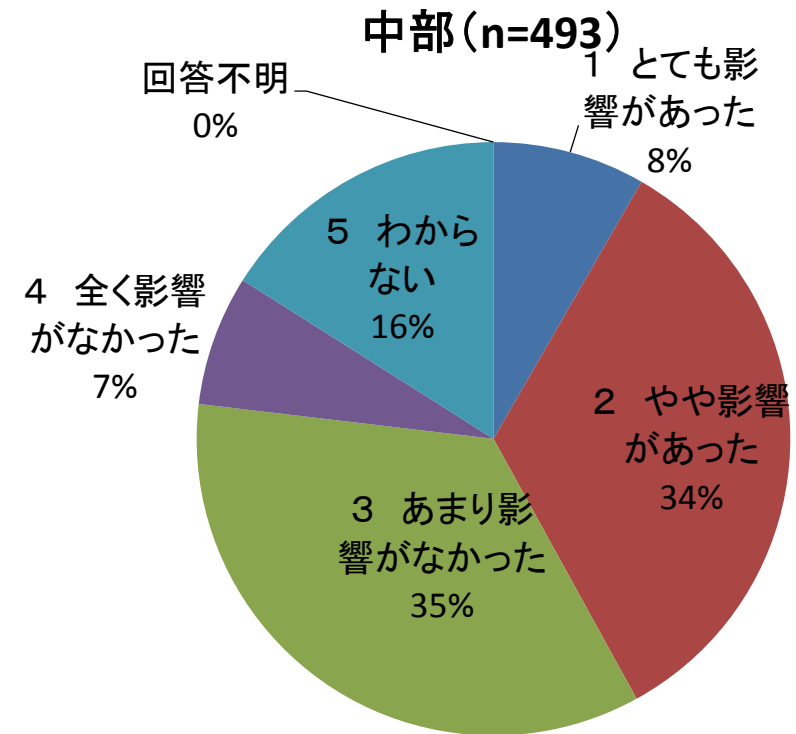
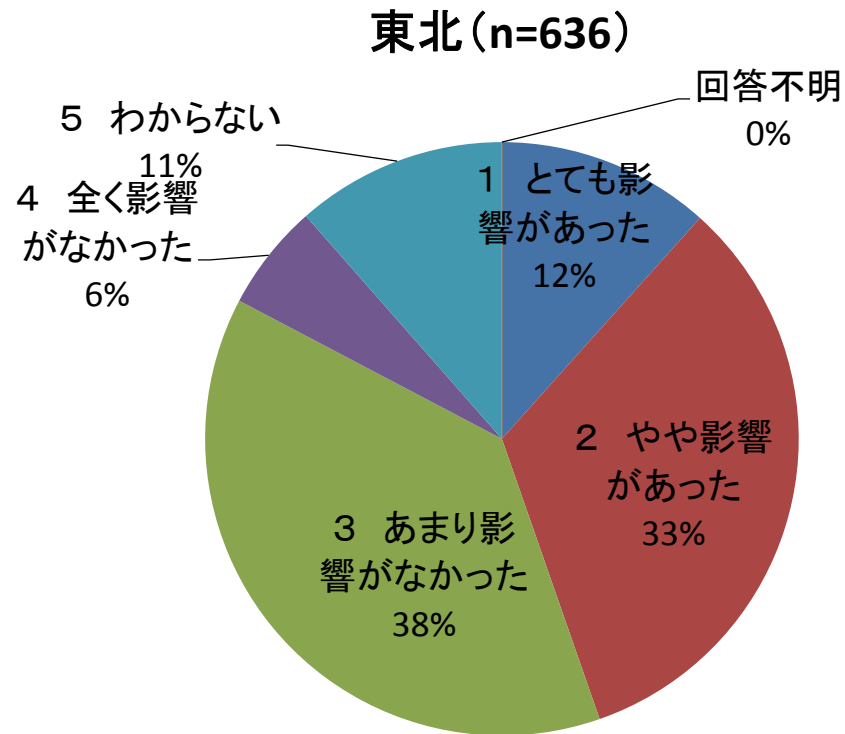
2. 節電を実施した理由(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した者のみ



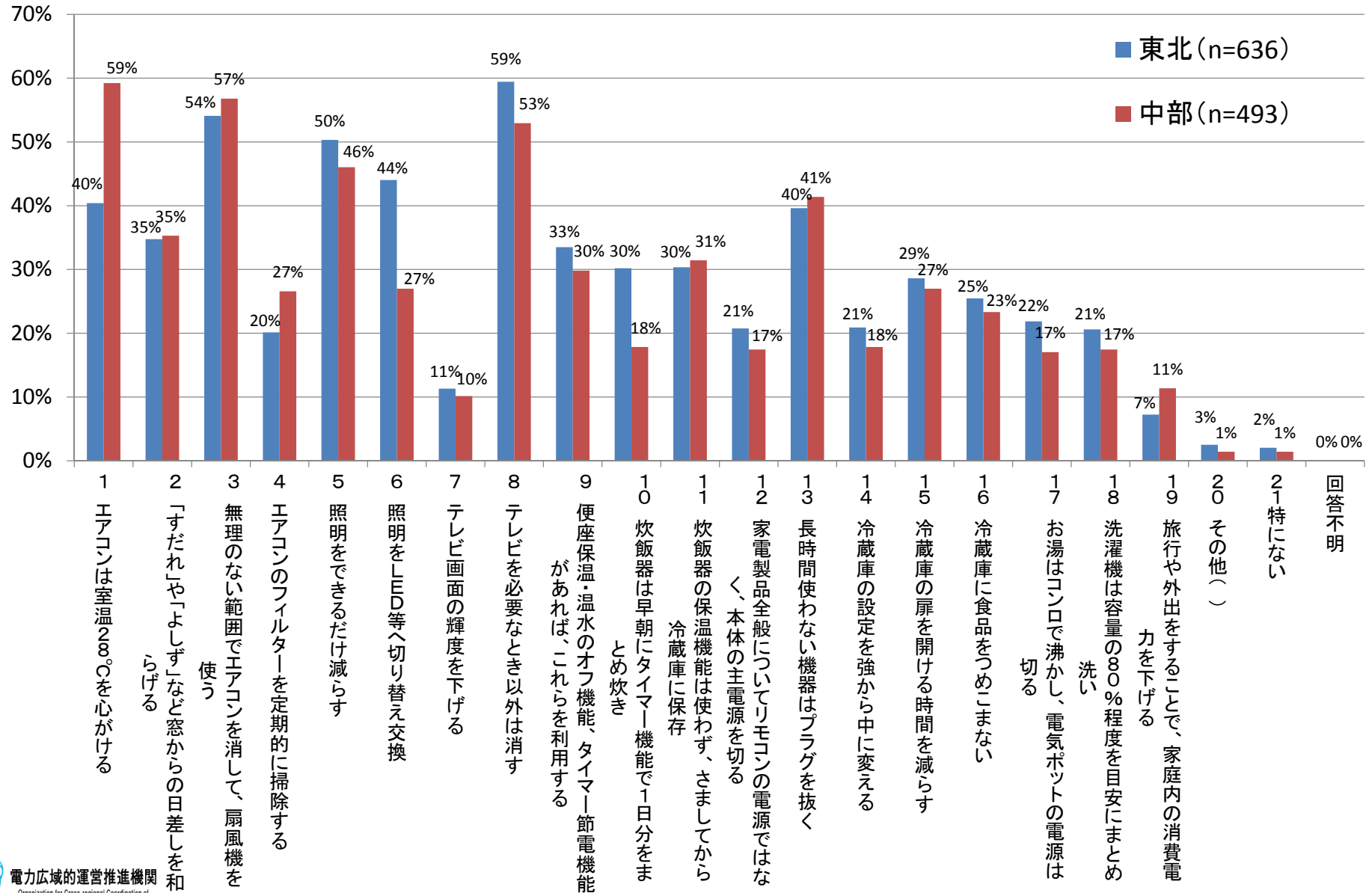
3. 電気料金価格の変化による節電取組への影響

※1. で「節電を実施した」と回答した者のみ

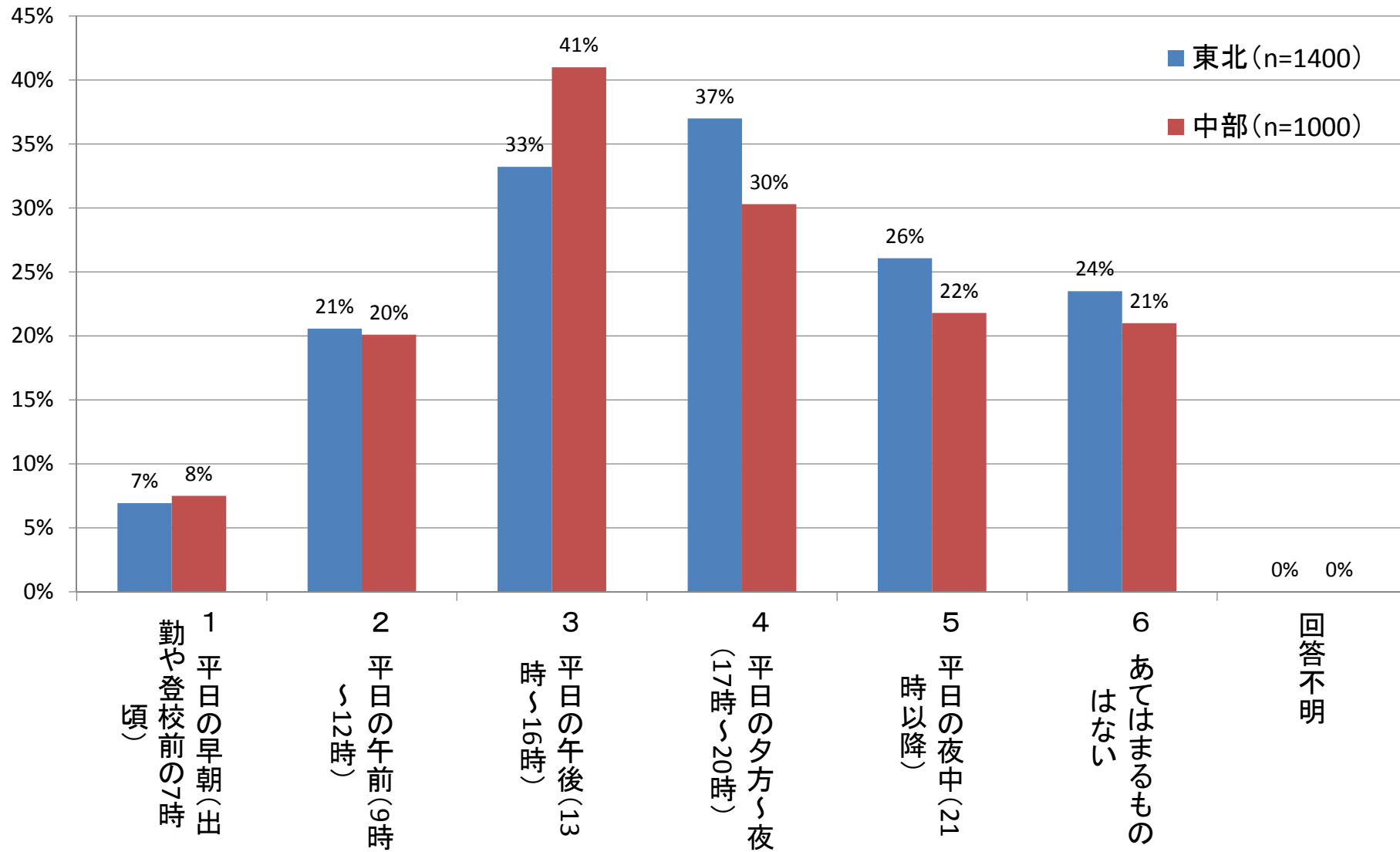


4. 実施した節電内容(複数回答可)

※1. で「節電を実施した」と回答した者のみ

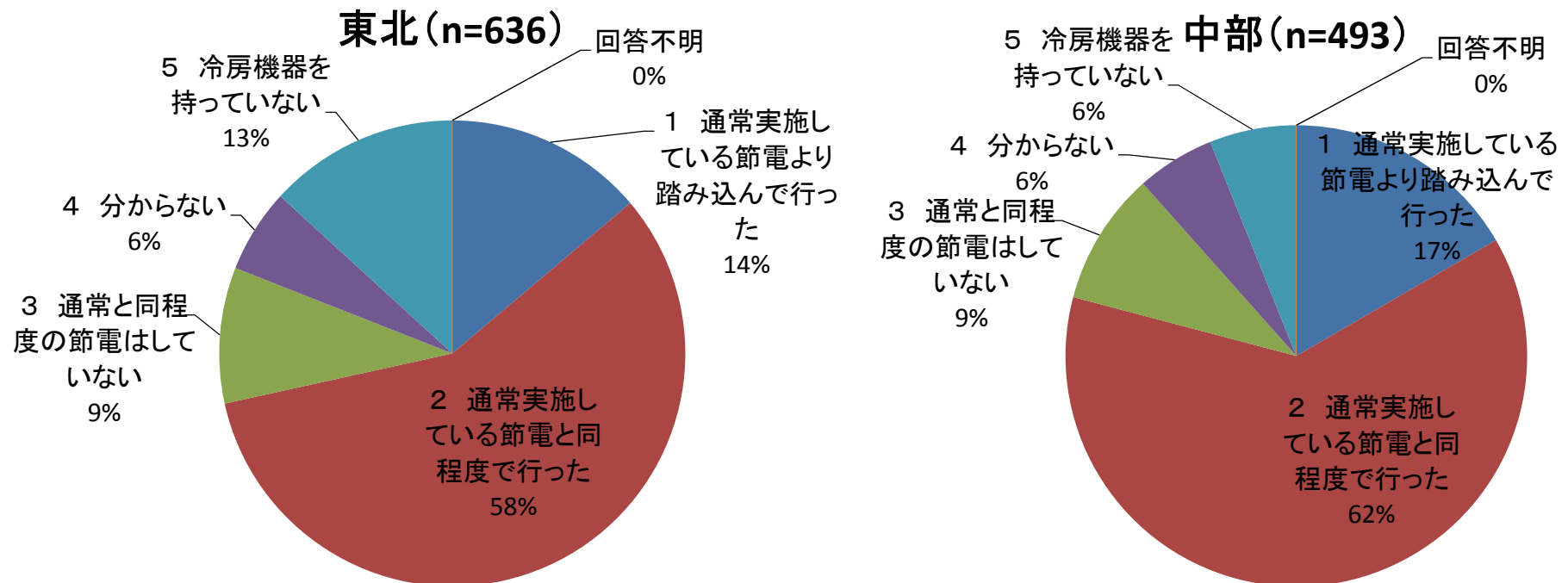


5. 特に家庭の節電が必要と思う時間帯(複数回答可)



6. 特に暑さが厳しい日の日中における、エアコン等の節電

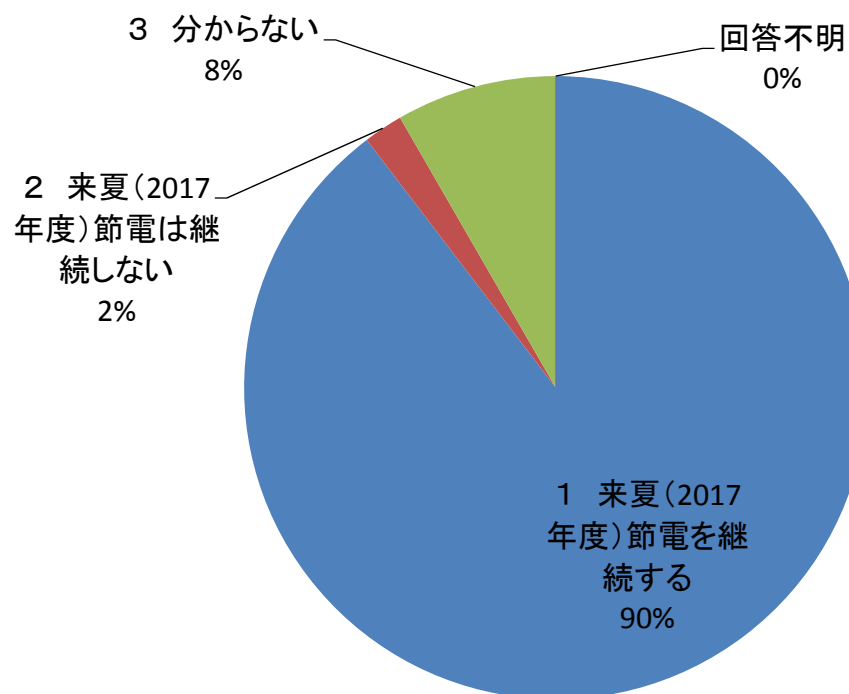
※1. で「節電を実施した」と回答した者のみ



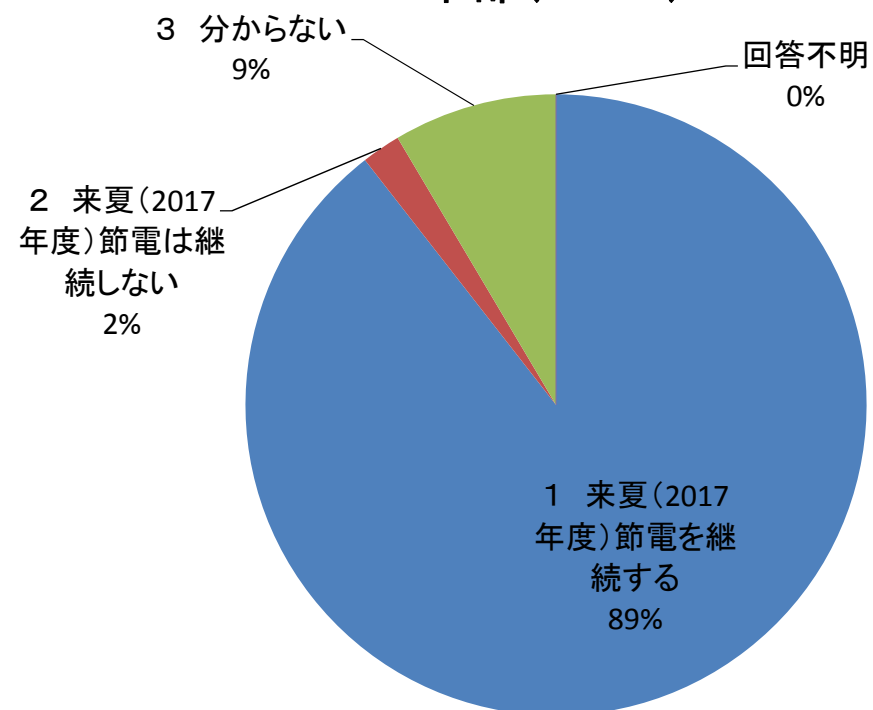
7. 2017年度夏季の節電の継続

※1. で「節電を実施した」と回答した者のみ

東北(n=636)

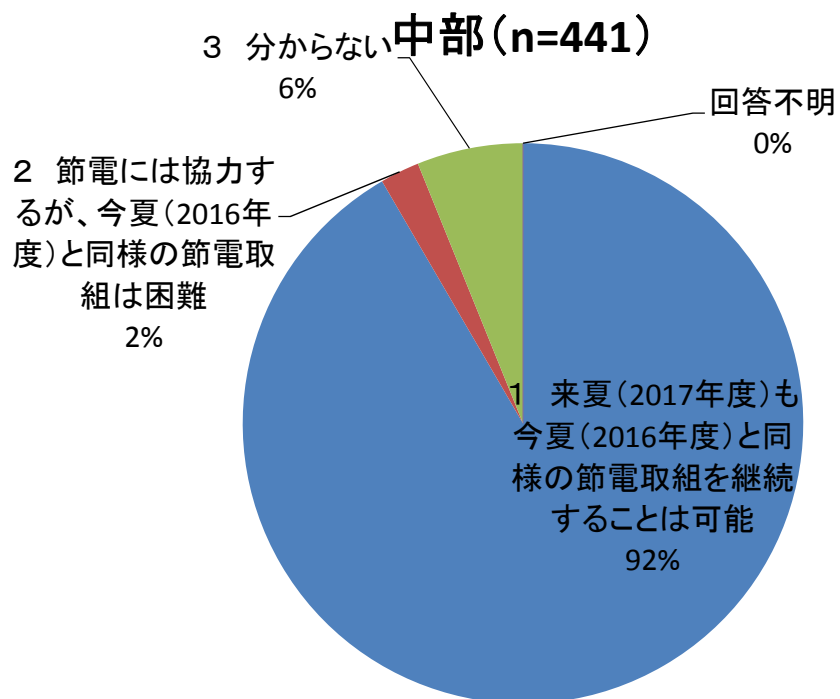
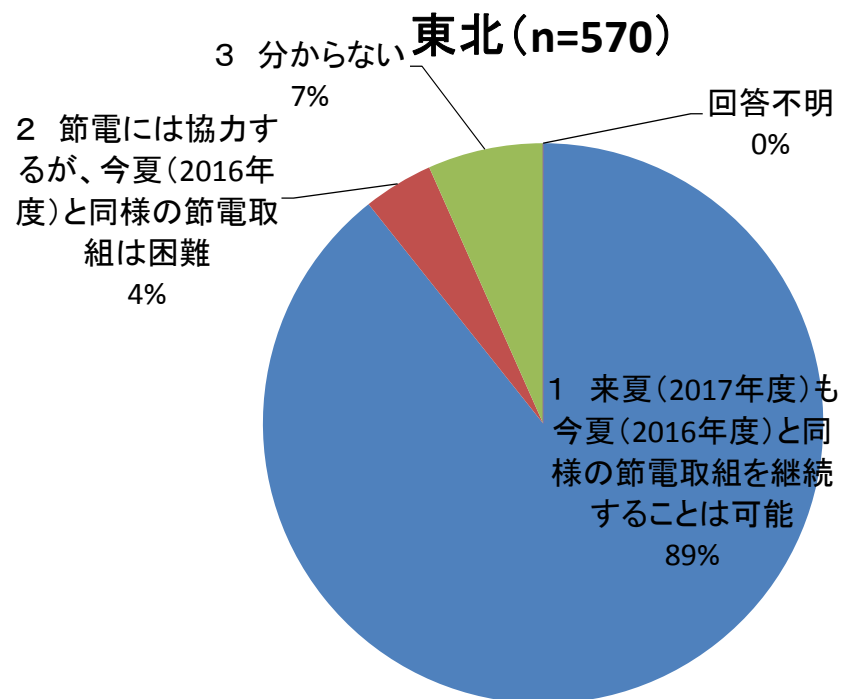


中部(n=493)

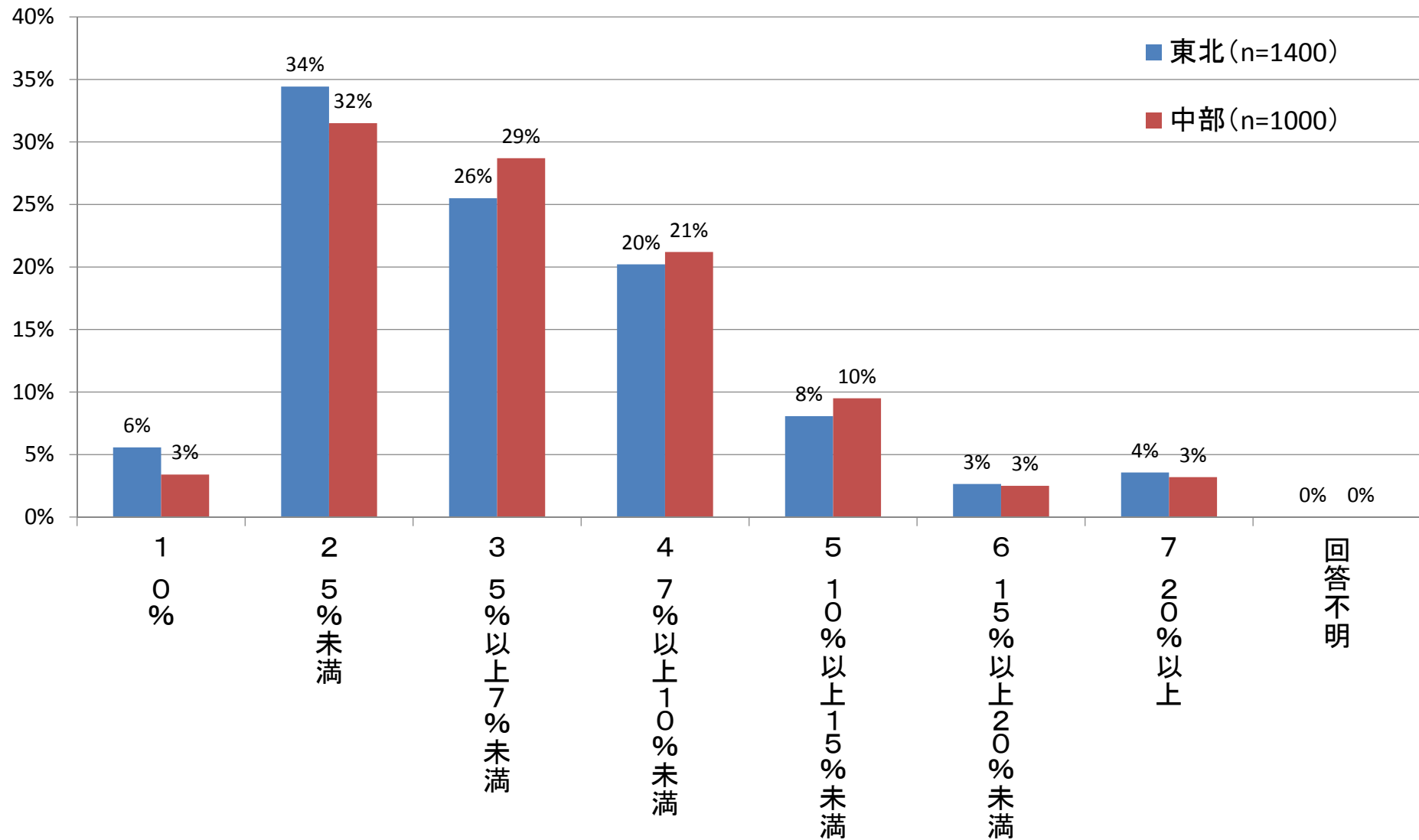


8. 2017年度夏季も節電を行う場合における、2016年度夏季と同様の節電取組可能性

※7. で「節電を継続する」と回答した者のみ

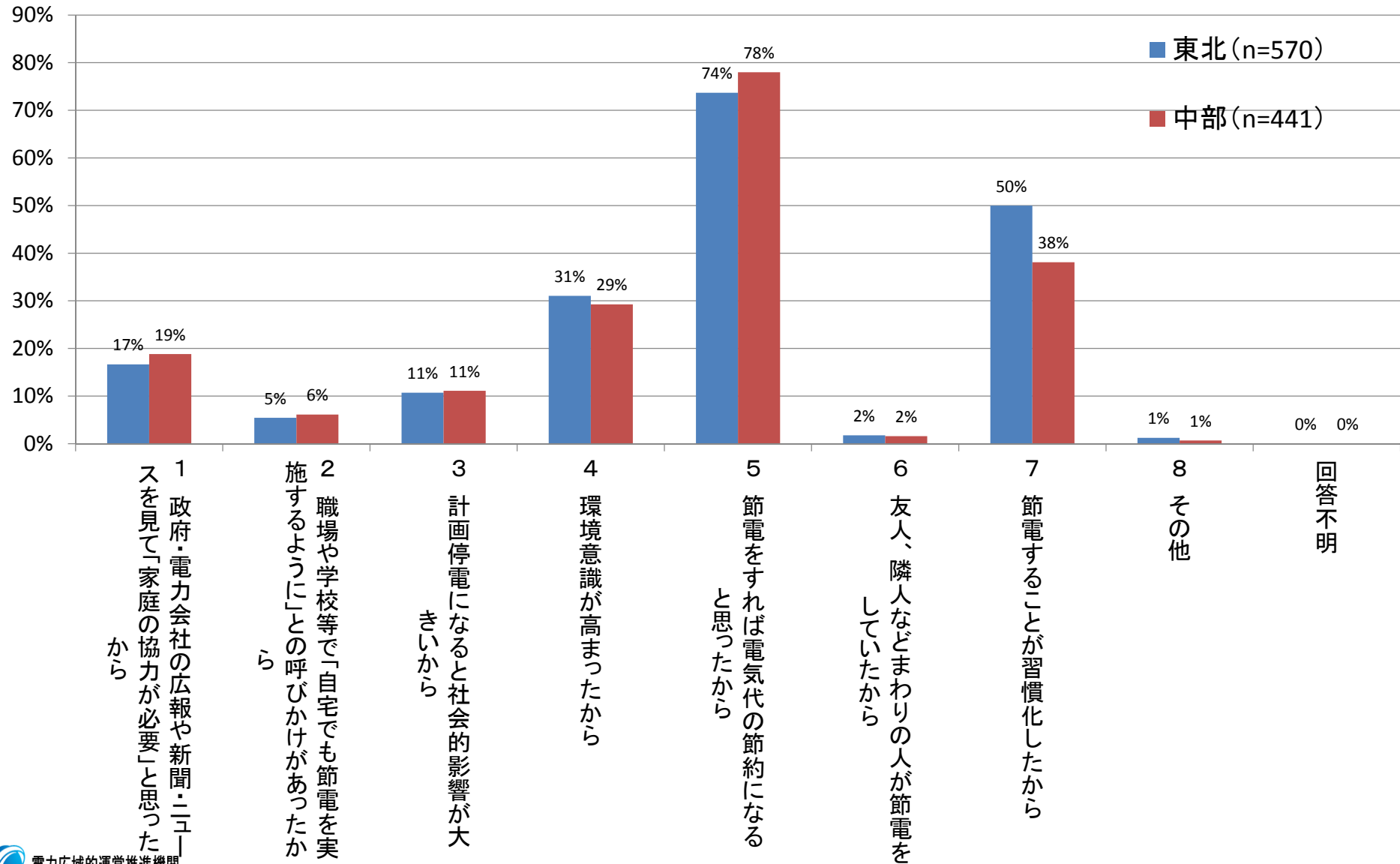


9. 無理がないと思われる節電幅(対2010年度(震災前)比)

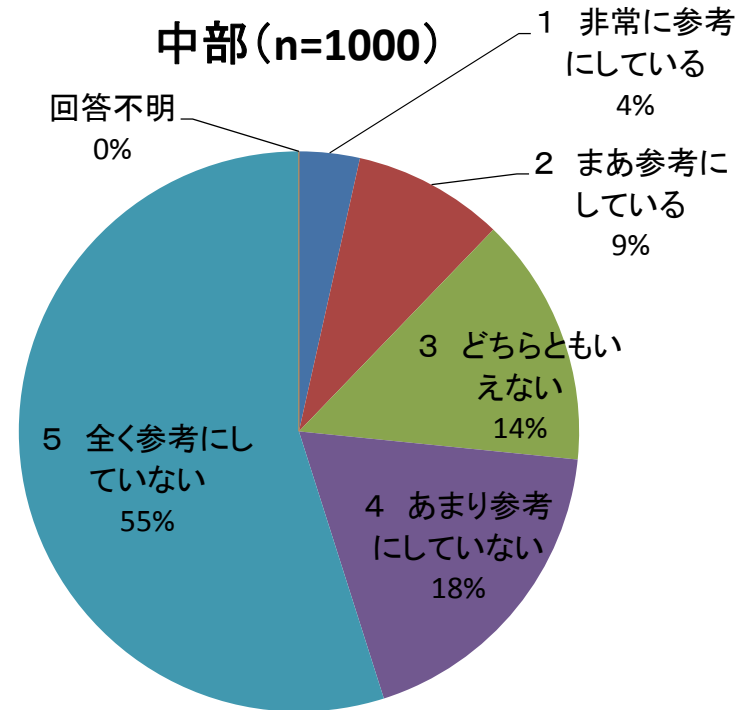
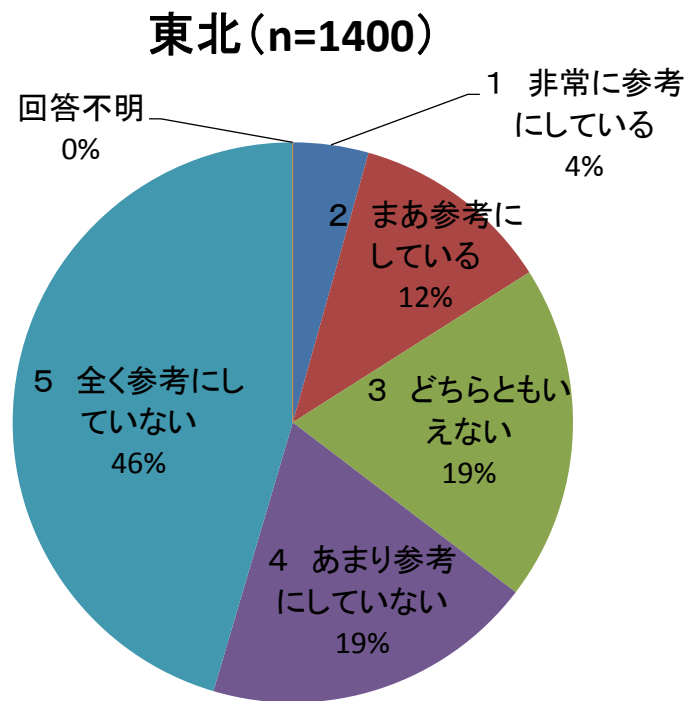


10. 節電を実施する理由(複数回答可)

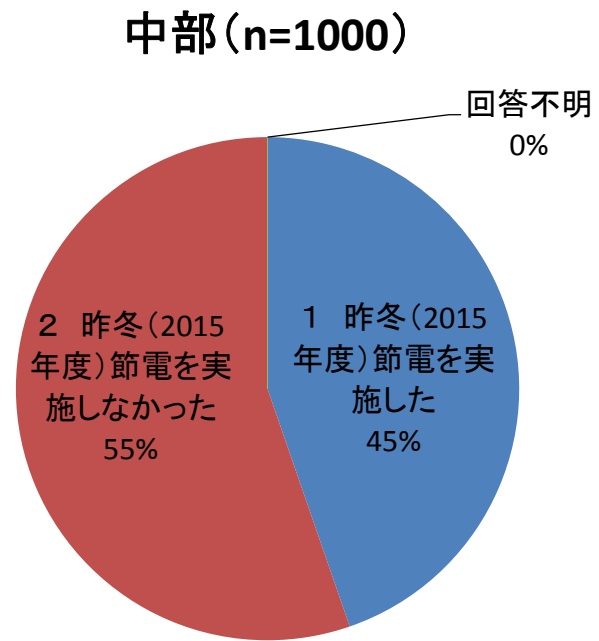
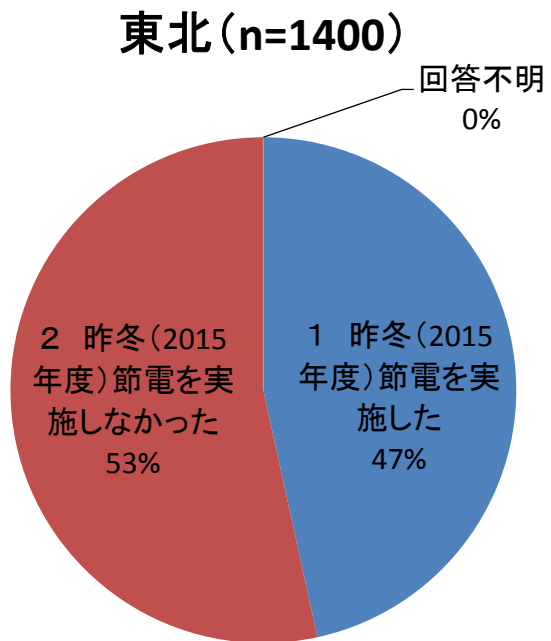
※7. で「節電を継続する」と回答した者のみ



11. でんき予報の活用

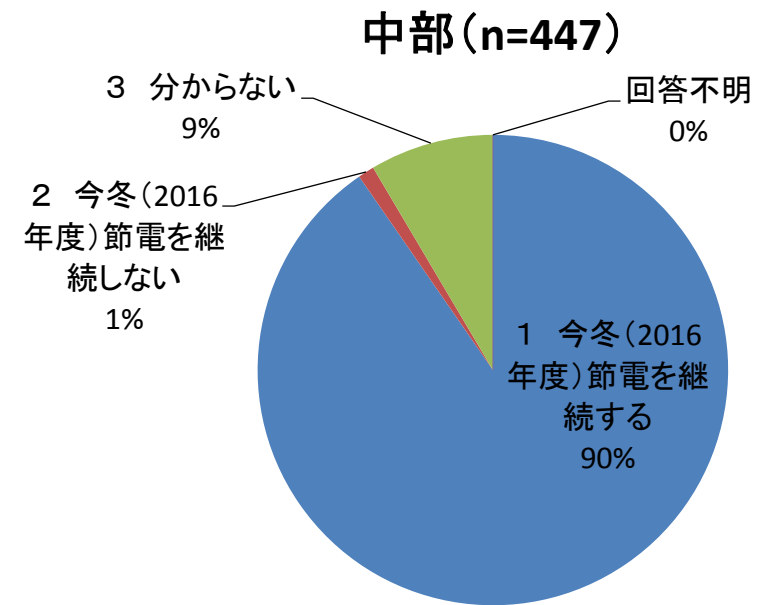
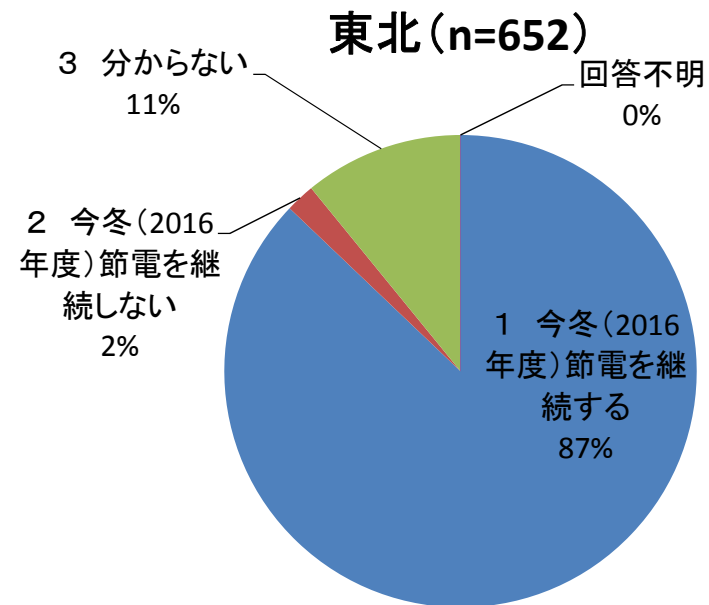


12. 2015年度冬季の節電の実施の有無



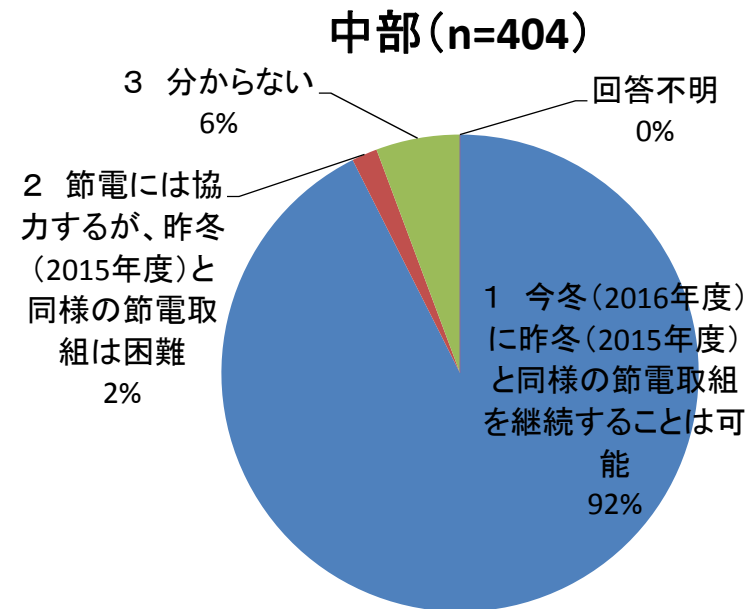
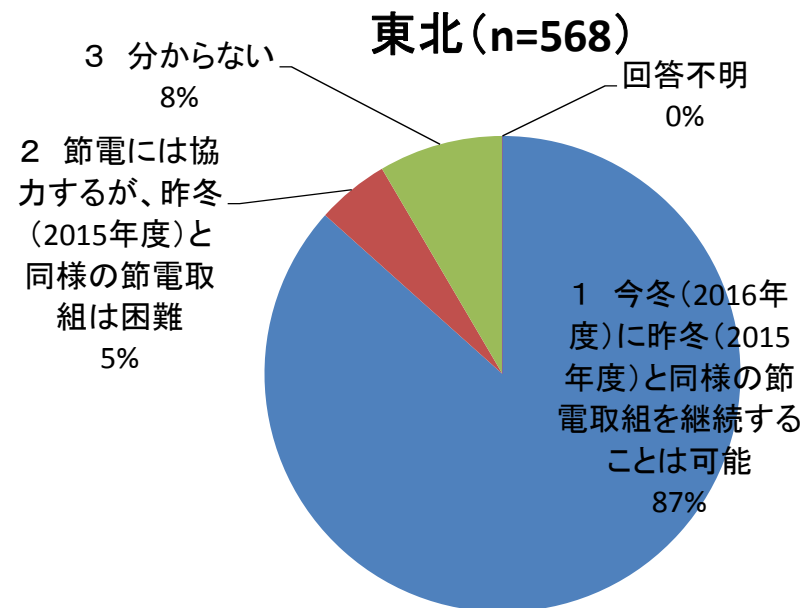
13. 2016年度冬季の節電の継続

※12. で「節電を実施した」と回答した者のみ



14. 2016年度冬季に節電を継続する場合における2015年度冬季と同様の節電取組可能性

※13. で「節電を継続する」と回答した者のみ



アンケート集計結果 (9社分)

- ・実施時期(8月上旬～9月中旬)
- ・実施規模(各社、大口300件以上、小口300件以上、家庭1,000件以上)

大口

(1)夏の節電にかかる質問

①今夏(2016年度)の節電の実施の有無有無

	回答数	1 今夏(2016年度)節電を実施した	2 今夏(2016年度)節電を実施しなかった	回答不明
北海道	343	299	44	0
東北	744	372	29	0
東京	913	481	31	0
中部	920	369	39	0
関西	910	466	36	0
北陸	838	301	35	0
中国	752	365	51	0
四国	716	275	25	0
九州	666	347	19	0
合計	3,950	3,275	309	0

②節電を実施した理由(複数回答可)(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 電力不安があり協力したいと考えたから	2 節電することが定着したから	3 市況悪化により生産を縮小しているから	4 停電を避けたから	5 コスト削減につながるから	6 その他	回答不明
北海道	299	94	208	4	40	241	7	2
東北	372	24	303	9	18	295	10	0
東京	481	18	251	9	6	407	153	0
中部	369	32	274	22	7	326	25	0
関西	466	56	350	13	24	368	12	2
北陸	301	29	205	18	4	243	8	0
中国	365	20	226	11	7	305	16	0
四国	275	27	183	13	10	238	3	0
九州	347	40	270	7	11	290	7	0
合計	3,275	340	2,270	106	127	2,713	241	4

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 とても影響があった	2 やや影響があった	3 あまり影響がなかった	4 全く影響がなかった	5 わからない	回答不明
北海道	299	82	102	76	15	22	2
東北	372	83	140	102	21	24	2
東京	481	210	112	93	43	16	7
中部	369	51	116	138	34	21	9
関西	466	159	170	102	13	19	3
北陸	301	34	109	112	20	24	2
中国	365	43	102	174	25	19	2
四国	275	56	96	95	8	20	0
九州	347	82	139	95	17	14	0
合計	3,275	800	1,086	987	196	179	27

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 節電目標や内容を社内に啓発	2 照明間引き	3 こまめな消灯	4 照明をLED等へ切り替え交換	5 空調温度を高め(28℃等)に設定	6 空調をガス方式等に変更	7 不在エリアの空調停止	8 待機電力を切る	9 製造機器稼働の節電工夫	10 操業日や操業時間帯のシフト	11 生産抑制	12 夏季休暇の拡大	13 自家発電稼働	14 生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)	15 生産拠点の移転・シフト(海外へ)	16 電力以外の燃料による製造機器導入	17 エレベータ間引き等の動力の調整	18 その他()	回答不明
北海道	299	126	181	243	174	123	3	92	20	62	10	3	2	19	0	0	1	20	14	3
東北	372	191	227	294	196	189	16	182	116	57	19	2	10	26	1	2	1	32	12	0
東京	481	330	223	290	341	366	4	191	96	113	56	16	23	29	4	3	3	29	39	2
中部	369	180	191	295	239	209	10	159	139	129	46	13	12	26	1	4	2	15	20	1
関西	466	238	274	396	294	276	23	238	119	93	64	17	18	38	3	4	6	31	46	0
北陸	301	118	140	224	147	137	5	156	58	60	36	5	17	12	1	0	2	19	15	1
中国	365	159	157	287	204	167	5	135	78	68	35	6	17	15	0	0	0	9	23	0
四国	275	118	124	223	140	145	2	125	50	53	17	7	10	15	0	1	5	8	9	0
九州	347	164	162	280	184	160	4	169	96	81	52	8	12	26	1	0	3	17	19	0
合計	3,275	1,624	1,679	2,532	1,919	1,772	72	1,447	772	716	335	77	121	206	11	14	23	180	197	7

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 自家発電の稼働によりコストが増加した	2 生産・販売量等に影響が生じた	3 顧客サービスが低下した	4 従業員からクレームが多くあった	5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった	6 その他()	回答不明
北海道	299	5	4	14	21	231	21	11
東北	372	5	7	20	44	292	19	6
東京	481	3	4	9	38	381	30	26
中部	369	3	7	6	31	319	10	12
関西	466	8	12	27	63	343	36	9
北陸	301	4	5	16	35	238	10	9
中国	365	3	5	10	38	291	12	14
四国	275	4	6	13	33	215	18	0
九州	347	5	6	15	41	274	27	0
合計	3,275	40	56	130	344	2,584	183	87

⑥来夏(2017年度)の節電継続(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 来夏(2017年度)節電を継続する	2 来夏(2017年度)節電を継続しない	3 分からない	回答不明
北海道	299	293	0	6	0
東北	372	344	1	26	1
東京	481	467	1	10	3
中部	369	355	1	8	5
関西	466	435	0	31	0
北陸	301	296	0	5	0
中国	365	358	0	6	1
四国	275	271	1	3	0
九州	347	344	0	3	0
合計	3,275	3,163	4	98	10

⑦来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能	2 節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難	3 分からない	回答不明
北海道	293	262	20	11	0
東北	344	319	6	17	2
東京	467	452	2	7	6
中部	355	313	15	23	4
関西	435	397	16	21	1
北陸	296	248	19	28	1
中国	358	329	13	15	1
四国	271	246	6	19	0
九州	344	312	14	18	0
合計	3,163	2,878	111	159	15

⑧無理がないと思われる節電目標（対2010年度（震災前）比）

	回答数	1 0%	2 5%未満	3 5%以上7%未満	4 7%以上10%未満	5 10%以上15%未満	6 15%以上20%未満	7 20%以上	回答不明
北海道	343	114	121	44	33	19	3	6	3
東北	401	18	279	58	16	13	7	5	5
東京	512	16	206	48	53	15	138	12	24
中部	408	156	190	29	12	7	8	6	0
関西	502	24	301	72	57	23	8	7	10
北陸	336	22	217	43	17	10	5	5	17
中国	416	20	312	39	16	7	1	1	20
四国	300	140	105	30	11	11	1	2	0
九州	366	16	244	57	28	14	3	4	0
合計	3,584	526	1,975	420	243	119	174	48	79

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 電力不安があり協力したいと考えたから	2 節電することが定着したから	3 市況悪化により生産を縮小しているから	4 停電を避けたから	5 コスト削減につながるから	6 その他	回答不明
北海道	293	92	201	7	40	241	8	0
東北	344	33	281	5	18	281	12	3
東京	467	20	366	10	6	415	152	3
中部	355	35	256	18	7	317	18	2
関西	435	57	311	16	24	379	8	0
北陸	296	29	209	9	7	248	4	1
中国	358	21	225	9	9	304	10	1
四国	271	24	180	8	11	243	2	0
九州	344	47	259	5	18	294	6	0
合計	3,163	358	2,288	87	140	2,722	220	10

(2)冬の節電に係る質問

①昨冬（2015年度）の節電の実施の有無

	回答数	1 昨冬(2015年度)節電を実施した	2 昨冬(2015年度)節電を実施しなかった	回答不明
北海道		288	55	0
東北		341	59	1
東京		458	53	1
中部		330	78	0
関西		412	90	0
北陸		262	60	14
中国		332	81	3
四国		261	39	0
九州		310	56	0
合計		2,994	571	19

②今冬（2016年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 今冬(2016年度)節電を継続する	2 今冬(2016年度)節電を継続しない	3 分からない	回答不明
北海道	288	276	1	11	0
東北	341	321	0	20	0
東京	458	452	2	3	1
中部	330	315	2	8	5
関西	412	392	0	20	0
北陸	262	256	1	5	0
中国	332	322	0	10	0
四国	261	251	0	10	0
九州	310	305	0	5	0
合計	2,994	2,890	6	92	6

③今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 今冬(2016年度)に昨冬(2015年度)と同様の節電取組を継続することは可能	2 節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は困難	3 分からない	回答不明
北海道	276	245	20	10	1
東北	321	303	5	12	1
東京	452	442	1	6	3
中部	315	284	10	18	3
関西	392	363	15	14	0
北陸	256	218	13	23	2
中国	322	302	8	11	1
四国	251	227	7	17	0
九州	305	288	7	10	0
合計	2,890	2,672	86	121	11

(3) その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

	回答数	1 生産・営業を抑制せざるを得ない	2 生産拠点・事業所の海外移転	3 他企業への生産・販売委託を増やす	4 取引先の生産抑制による受注の減少	5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少	6 特に影響はない見通し	7 その他（ ）	回答不明
北海道	343	121	8	8	35	9	132	66	12
東北	401	170	34	27	59	34	140	52	7
東京	512	211	12	24	48	19	185	60	45
中部	408	178	53	28	100	44	125	39	0
関西	502	222	53	32	82	24	142	84	11
北陸	336	118	25	22	48	18	120	35	24
中国	416	143	35	29	71	18	140	46	31
四国	300	133	16	12	37	8	106	54	0
九州	366	144	17	19	51	13	132	59	0
合計	3,584	1,440	253	201	531	187	1,222	495	130

小口

(1)夏の節電にかかる質問

①今夏(2016年度)の節電の実施の有無有無

	回答数	1 今夏(2016年度)節電を実施した	2 今夏(2016年度)節電を実施しなかった	回答不明
北海道	336	244	92	0
東北	348	301	47	0
東京	323	319	4	0
中部	300	256	44	0
関西	389	327	62	0
北陸	300	250	50	0
中国	420	355	64	1
四国	320	278	42	0
九州	360	311	49	0
合計	3,096	2641	454	1

②節電を実施した理由(複数回答可)(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 電力不安があり協力したいと考えたから	2 節電することが定着したから	3 市況悪化により生産を縮小しているから	4 停電を避けたから	5 コスト削減につながるから	6 その他	回答不明
北海道	244	27	144	5	13	196	7	1
東北	301	10	229	5	5	245	7	0
東京	319	12	194	0	1	295	55	9
中部	256	16	191	10	2	224	8	0
関西	327	31	215	3	6	268	6	0
北陸	250	25	163	8	7	197	6	1
中国	355	23	221	6	4	273	6	2
四国	278	26	180	6	11	233	4	0
九州	311	35	216	5	9	257	8	0
合計	2,641	205	1753	48	58	2188	107	13

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 とても影響があった	2 やや影響があった	3 あまり影響がなかった	4 全く影響がなかった	5 わからない	回答不明
北海道	244	41	82	63	13	43	2
東北	301	48	107	100	17	29	0
東京	319	130	75	60	20	22	12
中部	256	33	73	100	10	35	5
関西	327	82	110	88	7	40	0
北陸	250	26	75	99	14	34	2
中国	355	34	117	133	20	47	4
四国	278	33	99	90	10	46	0
九州	311	45	124	113	9	20	0
合計	2,641	472	862	846	120	316	25

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 節電目標や内容を社内に啓発	2 照明間引き	3 こまめな消灯	4 照明をLED等へ切り替え交換	5 空調温度を高め(28℃等)に設定	6 空調をガス方式等に変更	7 不在エリアの空調停止	8 待機電力を切る	9 製造機器稼働の節電工夫	10 作業日や作業時間帯のシフト	11 生産抑制	12 夏季休暇の拡大	13 自家発電稼働	14 生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)	15 生産拠点の移転・シフト(海外へ)	16 電力以外の燃料による製造機器導入	17 エレベータ間引き等の動力の調整	18 その他()	回答不明
北海道	244	66	115	214	81	63	1	62	5	20	4	0	4	1	0	0	0	5	8	1
東北	301	126	163	252	135	124	4	130	74	28	13	3	6	9	2	1	0	12	10	0
東京	319	210	136	238	216	193	0	89	60	14	4	0	4	25	0	0	0	10	40	9
中部	256	83	126	215	114	122	9	107	55	37	13	4	6	3	0	0	1	5	15	1
関西	327	142	168	256	170	156	2	162	51	30	9	5	4	6	3	0	4	4	28	0
北陸	250	86	102	197	110	102	4	104	37	25	11	3	5	4	0	3	1	4	13	3
中国	355	109	123	260	113	156	2	130	43	20	9	3	5	2	0	0	0	1	12	4
四国	278	107	124	228	96	149	2	114	31	20	8	4	8	2	0	0	0	7	13	0
九州	311	123	145	251	119	135	5	136	61	45	8	5	3	6	0	1	0	9	21	0
合計	2,641	1052	1202	2111	1154	1200	29	1034	417	239	79	27	45	58	5	5	6	57	160	18

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 自家発電の稼働によりコストが増加した	2 生産・販売量等に影響が生じた	3 顧客サービスが低下した	4 従業員からクレームが多くあった	5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった	6 その他()	回答不明
北海道	244	1	4	5	19	198	8	15
東北	301	2	2	7	24	251	15	5
東京	319	0	0	23	49	179	24	49
中部	256	1	4	9	22	207	12	12
関西	327	1	4	17	48	244	23	8
北陸	250	0	2	12	26	193	12	14
中国	355	0	2	18	25	295	12	13
四国	278	0	2	5	23	230	19	0
九州	311	4	6	12	39	242	24	0
合計	2,641	9	26	108	275	2039	149	116

⑥来夏(2017年度)の節電継続(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

	回答数	1 来夏(2017年度)節電を継続する	2 来夏(2017年度)節電を継続しない	3 分からない	回答不明
北海道	244	235	2	7	0
東北	301	284	0	17	0
東京	319	310	0	0	9
中部	256	246	0	8	2
関西	327	301	0	26	0
北陸	250	241	0	7	2
中国	355	345	0	8	2
四国	278	266	3	9	0
九州	311	306	0	5	0
合計	2,641	2534	5	87	15

⑦来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能	2 節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難	3 分からない	回答不明
北海道	235	211	6	17	1
東北	284	266	3	15	0
東京	310	305	0	5	0
中部	246	219	9	12	6
関西	301	278	7	15	1
北陸	241	221	4	15	1
中国	345	326	6	13	0
四国	266	241	7	18	0
九州	306	289	8	9	0
合計	2,534	2356	50	119	9

⑧無理がないと思われる節電目標（対2010年度（震災前）比）

	回答数	1 0%	2 5%未満	3 5%以上7%未満	4 7%以上10%未満	5 10%以上15%未満	6 15%以上20%未満	7 20%以上	回答不明
北海道	336	136	103	42	25	18	5	3	4
東北	348	14	226	53	26	13	4	0	12
東京	323	5	85	34	23	43	55	5	73
中部	300	110	121	32	16	12	3	6	0
関西	389	16	215	66	48	24	4	5	11
北陸	300	5	190	46	25	10	3	5	16
中国	420	14	267	60	30	13	5	3	28
四国	320	130	114	29	26	13	3	5	0
九州	360	12	230	61	33	14	3	7	0
合計	3,096	442	1551	423	252	160	85	39	144

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 電力不安があり協力したいと考えたから	2 節電することが定着したから	3 市況悪化により生産を縮小しているから	4 停電を避けたから	5 コスト削減につながるから	6 その他	回答不明
北海道	235	25	146	3	20	189	6	1
東北	284	16	217	5	5	229	4	0
東京	310	5	246	1	1	281	55	0
中部	246	15	185	10	6	221	7	1
関西	301	39	190	4	15	259	3	0
北陸	241	22	163	5	5	201	4	2
中国	345	30	217	4	5	289	1	1
四国	266	29	175	4	12	223	5	0
九州	306	42	206	4	13	263	9	0
合計	2,534	223	1745	40	82	2155	94	5

(2)冬の節電に係る質問

①昨冬（2015年度）の節電の実施の有無

	回答数	1 昨冬(2015年度)節電を実施した	2 昨冬(2015年度)節電を実施しなかった	回答不明
北海道		226	110	0
東北		277	68	3
東京		301	7	15
中部		239	61	0
関西		278	111	0
北陸		212	82	6
中国		343	76	1
四国		247	73	0
九州		291	69	0
合計		2414	657	25

②今冬（2016年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

	回答数	1 今冬(2016年度)節電を継続する	2 今冬(2016年度)節電を継続しない	3 分からない	回答不明
北海道	226	215	1	9	1
東北	277	260	1	15	1
東京	301	300	0	1	0
中部	239	225	4	9	1
関西	278	262	2	14	0
北陸	212	207	0	5	0
中国	343	333	3	6	1
四国	247	242	1	4	0
九州	291	284	0	7	0
合計	2,414	2328	12	70	4

③今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

	回答数	1 今冬(2016年度)に昨冬(2015年度)と同様の節電取組を継続することは可能	2 節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は困難	3 分からない	回答不明
北海道	215	198	2	15	0
東北	260	242	3	15	0
東京	300	292	0	8	0
中部	225	204	5	14	2
関西	262	241	7	14	0
北陸	207	190	2	15	0
中国	333	312	7	13	1
四国	242	221	6	15	0
九州	284	268	10	6	0
合計	2,328	2168	42	115	3

(3) その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

	回答数	1 生産・営業を抑制せざるを得ない	2 生産拠点・事業所の海外移転	3 他企業への生産・販売委託を増やす	4 取引先の生産抑制による受注の減少	5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少	6 特に影響はない見通し	7 その他（ ）	回答不明
北海道	336	98	1	4	24	1	168	28	26
東北	348	143	13	16	33	12	158	29	4
東京	323	64	2	0	9	5	178	51	35
中部	300	85	11	13	54	32	145	30	0
関西	389	123	12	19	33	16	176	55	9
北陸	300	79	5	10	33	11	148	36	23
中国	420	86	6	13	29	11	255	42	16
四国	320	82	5	8	35	5	158	46	0
九州	360	112	7	17	30	6	180	52	0
合計	3,096	872	62	100	280	99	1566	369	113

家庭

(1)夏の節電にかかる質問

①今夏（2016年度）の節電の実施の有無

	回答数	1 今夏 (2016年 度)節電 を実施し た	2 今夏 (2016年 度)節電 を実施し なかった	回答不明
北海道	1,000	406	594	0
東北	1,400	636	764	0
東京	1,879	1228	651	0
中部	1,000	493	507	0
関西	1,071	532	539	0
北陸	1,000	458	542	0
中国	1,030	519	511	0
四国	1,041	520	521	0
九州	1,000	472	528	0
合計	10,421	5,264	5,157	0

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

	回答数	1 政府・ 電力会社 の広報や 新聞・ ニュース を見て 「家庭の 協力が必要」 と思ったから	2 職場 や学校等 で「自宅 でも節電 を実施す るよう」 との呼び かけがあ ったから	3 計画 停電にな ると社会 的影響が 大きいか ら	4 環境 意識が高 まったか ら	5 節電 をすれば 電気代の 節約にな ると思っ たから	6 友人、 隣人など まわりの 人が節電 をしてい たから	7 節電 すること が習慣化 したから	8 その他	回答不明
北海道	406	83	30	27	86	263	9	195	5	0
東北	636	94	21	46	126	438	11	310	14	0
東京	1,228	223	63	153	311	971	32	441	21	0
中部	493	103	36	36	112	358	5	183	3	0
関西	532	105	17	47	102	368	11	233	10	0
北陸	458	57	26	15	82	345	5	181	3	0
中国	519	77	30	28	82	395	7	201	7	0
四国	520	72	42	23	83	380	9	175	5	0
九州	472	90	27	47	102	329	14	177	6	0
合計	5,264	904	292	422	1,086	3,847	103	2,096	74	0

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

	回答数	1 とても 影響があ った	2 やや 影響があ った	3 あまり 影響がな かった	4 全く影 響がな かった	5 わから ない	回答不明
北海道	406	68	160	124	16	38	0
東北	636	74	210	242	37	73	0
東京	1,228	78	391	597	72	90	0
中部	493	41	166	172	35	79	0
関西	532	28	180	260	35	29	0
北陸	458	38	137	186	38	59	0
中国	519	22	153	269	35	40	0
四国	520	34	187	227	33	39	0
九州	472	53	173	182	27	37	0
合計	5,264	436	1,757	2,259	328	484	0

④実施した節電内容（複数回答可）

	回答数	1 エアコンは室温28℃を心がける	2 「すだれ」や「よしず」など窓からの日差しを和らげる	3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う	4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する	5 照明をできるだけ減らす	6 照明をLED等へ切り替え交換	7 テレビ画面の輝度を下げる	8 テレビを必要とき以外は消す	9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する	10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き	11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存	12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る	13 長時間使わない機器はプラグを抜く	14 冷蔵庫の設定を強から中に変える	15 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす	16 冷蔵庫に食品をつめこまない	17 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る	18 洗濯機は容量の80％程度を目安にまとめて洗い	19 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる	20 その他（ ）	21 特にない	回答不明
北海道	406	50	50	82	27	239	176	90	257	146	90	147	91	201	110	141	127	76	92	32	9	17	0
東北	636	257	221	344	128	320	280	72	378	213	192	193	132	252	133	182	162	139	131	46	16	13	0
東京	1,228	741	339	762	449	636	391	131	713	399	199	400	239	548	297	370	343	268	247	151	29	15	0
中部	493	292	174	280	131	227	133	50	261	147	88	155	86	204	88	133	115	84	86	56	7	7	0
関西	532	332	205	318	172	240	191	53	294	159	67	153	83	205	129	140	153	118	94	49	12	9	0
北陸	458	245	121	253	121	221	117	45	264	133	94	122	96	168	80	115	104	82	91	61	15	2	0
中国	519	319	148	305	146	246	133	65	290	124	79	140	75	190	93	135	134	83	88	55	7	5	0
四国	520	296	186	304	164	245	139	49	253	129	96	116	73	218	76	136	92	80	87	41	10	7	0
九州	472	271	169	265	150	233	153	51	243	127	83	143	89	182	100	140	128	97	102	53	10	9	0
合計	5,264	2,803	1,613	2,913	1,488	2,607	1,713	606	2,953	1,577	988	1,569	964	2,168	1,106	1,492	1,358	1,027	1,018	544	115	84	0

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

	回答数	1 平日の早朝（出勤や登校前の7時頃）	2 平日の午前（9時～12時）	3 平日の午後（13時～16時）	4 平日の夕方～夜（17時～20時）	5 平日の夜中（21時以降）	6 あてはまるものはない	回答不明
北海道	1,000	61	130	267	420	237	249	0
東北	1,400	97	288	465	518	365	329	0
東京	1,879	319	411	676	610	558	434	0
中部	1,000	75	201	410	303	218	210	0
関西	1,071	126	211	410	389	233	238	0
北陸	1,000	93	174	341	367	220	195	0
中国	1,030	109	237	406	337	292	214	0
四国	1,041	102	181	338	412	287	181	0
九州	1,000	86	195	356	378	239	222	0
合計	10,421	1,068	2,028	3,669	3,734	2,649	2,272	0

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

	回答数	1 通常実施している節電より踏み込んで行った	2 通常実施している節電と同程度で行った	3 通常と同程度の節電はしていない	4 分からない	5 冷房機器を持っていない	回答不明
北海道	406	35	128	21	11	211	0
東北	636	88	367	60	37	84	0
東京	1,228	144	888	117	53	26	0
中部	493	82	308	46	27	30	0
関西	532	87	354	41	28	22	0
北陸	458	62	303	71	14	8	0
中国	519	76	366	43	21	13	0
四国	520	92	339	63	10	16	0
九州	472	85	296	47	23	21	0
合計	5,264	751	3,349	509	224	431	0

⑦来夏（2017年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

	回答数	1 来夏 (2017年 度)節電 を継続す る	2 来夏 (2017年 度)節電 は継続し ない	3 分か らない	回答不明
北海道	406	363	7	36	0
東北	636	570	13	53	0
東京	1,228	1170	5	53	0
中部	493	441	10	42	0
関西	532	483	9	40	0
北陸	458	415	7	36	0
中国	519	488	3	28	0
四国	520	484	3	33	0
九州	472	431	11	30	0
合計	5,264	4,845	68	351	0

⑧来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

	回答数	1 来夏 (2017年 度)も今 夏(2016 年度)と 同様の節 電取組を 継続する ことは可 能	2 節電 には協力 するが、 今夏 (2016年 度)と同 様の節電 取組は困 難	3 分か らない	回答不明
北海道	363	344	2	17	0
東北	570	509	23	38	0
東京	1,170	1102	16	52	0
中部	441	404	10	27	0
関西	483	448	8	27	0
北陸	415	387	10	18	0
中国	488	456	10	22	0
四国	484	445	7	32	0
九州	431	395	15	21	0
合計	4,845	4,490	101	254	0

⑨無理がないと思われる節電幅（対2010年度（震災前）比）

	回答数	1 0%	2 5%未 満	3 5%以 上7%未 満	4 7%以 上10% 未満	5 10% 以上1 5%未満	6 15% 以上2 0%未満	7 20% 以上	回答不明
北海道	1,000	57	359	270	193	81	13	27	0
東北	1,400	78	482	357	283	113	37	50	0
東京	1,879	79	502	530	461	211	49	47	0
中部	1,000	34	315	287	212	95	25	32	0
関西	1,071	45	346	328	219	87	15	31	0
北陸	1,000	64	394	271	168	66	14	23	0
中国	1,030	49	351	292	216	70	22	30	0
四国	1,041	89	323	301	187	93	19	29	0
九州	1,000	59	350	260	200	86	25	20	0
合計	10,421	554	3,422	2,896	2,139	902	219	289	0

⑩節電を継続する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

	回答数	1 政府・電力会社の広報や新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから	2 職場や学校等で「自宅でも節電するように」との呼びかけがあったから	3 計画停電になると社会的影響が大きいから	4 環境意識が高まったから	5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから	6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから	7 節電することが習慣化したから	8 その他	回答不明
北海道	363	58	21	39	108	239	8	181	7	0
東北	570	95	31	61	177	420	10	285	7	0
東京	1,170	163	58	136	312	914	29	435	18	0
中部	441	83	27	49	129	344	7	168	3	0
関西	483	101	16	62	129	355	12	214	6	0
北陸	415	51	27	29	101	313	3	168	3	0
中国	488	75	28	36	108	370	12	191	4	0
四国	484	79	46	36	103	361	15	163	8	0
九州	431	78	20	68	129	324	10	158	5	0
合計	4,845	783	274	516	1,296	3,640	106	1,963	61	0

⑪でんき予報の活用

	回答数	1 非常に参考になっている	2 まあ参考にしている	3 どちらともいえない	4 あまり参考になっていない	5 全く参考になっていない	回答不明
北海道	1,000	32	100	144	202	522	0
東北	1,400	61	163	271	269	636	0
東京	1,879	22	154	309	491	903	0
中部	1,000	35	87	144	185	549	0
関西	1,071	31	176	228	238	398	0
北陸	1,000	34	82	144	176	564	0
中国	1,030	24	95	197	265	449	0
四国	1,041	15	80	191	220	535	0
九州	1,000	26	102	156	175	541	0
合計	10,421	280	1,039	1,784	2,221	5,097	0

（2）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015年度）の節電の実施の有無

	回答数	1 昨冬（2015年度）節電を実施した	2 昨冬（2015年度）節電を実施しなかった	回答不明
北海道	1,000	451	549	0
東北	1,400	652	748	0
東京	1,879	1045	834	0
中部	1,000	447	553	0
関西	1,071	555	516	0
北陸	1,000	407	593	0
中国	1,030	490	540	0
四国	1,041	495	546	0
九州	1,000	497	503	0
合計	10,421	5,039	5,382	0

②今冬（2016年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

	回答数	1 今冬 (2016年 度)節電 を継続す る	2 今冬 (2016年 度)節電 を継続し ない	3 分から ない	回答不明
北海道	451	403	10	38	0
東北	652	568	13	71	0
東京	1,045	981	13	51	0
中部	447	404	5	38	0
関西	555	502	12	41	0
北陸	407	367	5	35	0
中国	490	461	7	22	0
四国	495	458	7	30	0
九州	497	448	7	42	0
合計	5,039	4,592	79	368	0

③今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

	回答数	1 今冬 (2016年 度)に昨 冬(2015	2 節電 には協力 するが、 昨冬	3 分から ない	回答不明
北海道	403	375	9	19	0
東北	568	492	28	48	0
東京	981	919	23	39	0
中部	404	374	7	23	0
関西	502	441	16	45	0
北陸	367	335	8	24	0
中国	461	432	4	25	0
四国	458	425	12	21	0
九州	448	409	9	30	0
合計	4,592	4,202	116	274	0

アンケート質問項目

(別紙) アンケート項目案

《大口・小口》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏(2016年度)の節電の実施の有無

- 1 今夏(2016年度)節電を実施した
- 2 今夏(2016年度)節電を実施しなかった

②節電を実施した理由(複数回答可)(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他()

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電の内容(複数回答可)(※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をLED等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め(28℃等)に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る
- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制
- 12 夏季休暇の拡大

- 1 3 自家発電稼働
- 1 4 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ）
- 1 5 生産拠点の移転・シフト（海外へ）
- 1 6 電力以外の燃料による製造機器導入
- 1 7 エレベータ間引き等の動力の調整
- 1 8 その他（ ）

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（ ）

⑥来夏（2017 年度）の節電継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

⑦来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑧無理がないと思われる節電目標（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 1 0 %未満
- 5 1 0 %以上 1 5 %未満
- 6 1 5 %以上 2 0 %未満
- 7 2 0 %以上

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

（３）その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他（ ）

《家庭》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き
- 11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る

- 1 3 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 1 4 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 1 5 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 1 6 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 1 7 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 1 8 洗濯機は容量の 8 0 %程度を目安にまとめ洗い
- 1 9 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 2 0 その他 ()
- 2 1 特にない

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の 7 時頃）
- 2 平日の午前（9 時～12 時）
- 3 平日の午後（13 時～16 時）
- 4 平日の夕方～夜（17 時～20 時）
- 5 平日の夜中（21 時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 10 %未満
- 5 10 %以上 15 %未満
- 6 15 %以上 20 %未満
- 7 20 %以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

2016年度夏季の節電に関するアンケートのお願い

東日本大震災以降、全国的な電力不足のため、大変なご迷惑とご負担をお掛けしていることにつきまして、深くお詫び申し上げます。

この度、2016年度夏季の需給対策に関する評価や今後の需給対策の検討にあたっての基礎資料とするため、2016年度夏季に企業の皆さまが取り組まれた節電の内容を調査させていただきたいと考えております。

内容につきましては、設問Q1～Q13については、資源エネルギー庁の要請に基づき全国的に実施するもので、設問Q14～Q16については弊社において実施するものになります。

引き続き、節電のお願いをさせて頂いている中であり、また、ご多忙のところ大変恐縮でございますが、2016年度夏季の検証をより充実したものとするため、なにとぞご協力賜われますようお願い申し上げます。（ご回答内容は秘密を厳守し、公表する場合は、結果のみといたします。）

恐れ入りますが、同封の返信用封筒をご使用のうえ、9月7日（水）までに、お近くの郵便ポストへ投函願います。

北海道電力株式会社

～ご回答にあたって～

1. 設問は主に選択式となっております。あてはまる番号に○印をつけてください。
2. お客様のご契約場所の節電についてご回答をお願いいたします。
3. ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）をご使用のうえ、平成28年9月7日（水）までにポストへ投函願います。
4. このアンケート調査に関するご不明点等については、下記担当までお問合せください。

■当アンケート調査に関する問合せ先

北海道電力株式会社 お客様本部 営業部 料金企画グループ 担当：三谷（ミタニ）

電話問合せ先：011-251-1111（代表） ※平日9時から17時までとなります。

Q 1～9は夏の節電についてお聞きします。

Q 1 : 今夏（2016 年度）において、節電を実施されましたか。

あてはまる番号に○印を付けてください。（○は1つのみ）

1. 今夏（2016 年度）節電を実施した
2. 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった ⇒ Q 8 へお進み下さい

Q 2 : (Q 1 [今夏の節電] で1.「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

節電の実施はどのような理由からですか。あてはまる番号全てに○印を付けてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 電力不安があり協力したいと考えたから | 5. 電気料金にかかるコストの削減につながるから |
| 2. 節電することが定着したから | 6. その他 |
| 3. 市況悪化により生産を縮小しているから | () |
| 4. 停電を避けたいから | |

Q 3 : (Q 1 [今夏の節電] で1.「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取り組みへの影響はありましたか。あてはまる番号に○印を付けてください。（○は1つのみ）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. とても影響があった | 4. 全く影響がなかった |
| 2. やや影響があった | 5. わからない |
| 3. あまり影響がなかった | |

Q 4 : (Q 1 [今夏の節電] で1.「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

実施した節電の内容について、あてはまる番号全てに○印を付けてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 節電目標や内容を社内に啓発 | 1 1. 生産抑制 |
| 2. 照明間引き | 1 2. 夏季休暇の拡大 |
| 3. こまめな消灯 | 1 3. 自家発電稼働 |
| 4. 照明をLED等へ切り替え交換 | 1 4. 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ） |
| 5. 空調温度を高め（28℃等）に設定 | 1 5. 生産拠点の移転・シフト（海外へ） |
| 6. 空調をガス方式等に変更 | 1 6. 電力以外の燃料による製造機器導入 |
| 7. 不在エリアの空調停止 | 1 7. エレベータ間引き等の動力の調整 |
| 8. 待機電力を切る | 1 8. その他 |
| 9. 製造機器稼働の節電工夫 | () |
| 1 0. 操業日や操業時間帯のシフト | |

Q 5 : (Q 1 [今夏の節電] で1.「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

節電による企業活動への影響についてお伺いします。

あてはまる番号全てに○印を付けてください。

1. 自家発電の稼働によりコストが増加した
2. 生産・販売量等に影響が生じた
3. 顧客サービスが低下した
4. 従業員からクレームが多くあった
5. 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
6. その他 ()

Q 6 : (Q 1 [今夏の節電] で 1. 「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

来夏 (2017 年度) において、節電を継続されますか。

あてはまる番号に○印を付けてください。(○は 1 つのみ)

1. 来夏 (2017 年度) 節電を継続する
2. 来夏 (2017 年度) 節電を継続しない⇒Q 8 へお進み下さい
3. 分からない ⇒Q 8 へお進み下さい

Q 7 : (Q 6 [来夏の節電継続] で 1. 「継続する」とご回答の方のみご回答下さい)

来夏 (2017 年度) も節電を行う場合に、今夏 (2016 年度) と同様に節電に

取り組むことは可能ですか。あてはまる番号に○印を付けてください。(○は 1 つのみ)

1. 来夏 (2017 年度) も今夏 (2016 年度) と同様の節電取組を継続することは可能
2. 節電には協力するが、今夏 (2016 年度) と同様の節電取組は困難
3. 分からない

Q 8 : (全員ご回答下さい)

無理がないと思われる節電目標 (対 2010 年度 (震災前) 比) はどの程度と考えますか。

あてはまる番号に○印を付けてください。(○は 1 つのみ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 0 % (数値目標を伴わない節電) | 5. 1 0 % 以上 1 5 % 未満 |
| 2. 5 % 未満 | 6. 1 5 % 以上 2 0 % 未満 |
| 3. 5 % 以上 7 % 未満 | 7. 2 0 % 以上 |
| 4. 7 % 以上 1 0 % 未満 | |

Q 9 : (Q 6 [来夏の節電継続] で 1. 「継続する」とご回答の方のみご回答下さい)

節電の継続はどのような理由からですか。あてはまる番号全てに○印を付けてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 電力不安があり協力したいと考えたから | 5. 電気料金にかかるコストの削減につながるから |
| 2. 節電することが定着したから | 6. その他 |
| 3. 市況悪化により生産を縮小しているから | () |
| 4. 停電を避けたいから | |

Q 1 0 ~ 1 3 は冬の節電についてお聞きします。

Q 1 0 : 昨冬 (2015 年度) において、節電を実施されましたか。

あてはまる番号に○印を付けてください。(○は 1 つのみ)

1. 昨冬 (2015 年度) 節電を実施した
2. 昨冬 (2015 年度) 節電を実施しなかった ⇒Q 1 3 へお進みください

Q 1 1 : (Q 1 0 [昨冬の節電] で 1. 「実施した」とご回答の方のみご回答下さい)

今冬 (2016 年度) において、節電を継続されますか。

あてはまる番号に○印を付けてください。(○は 1 つのみ)

1. 今冬 (2016 年度) 節電を継続する
2. 今冬 (2016 年度) 節電を継続しない⇒Q 1 3 へお進みください
3. 分からない ⇒Q 1 3 へお進みください

Q 1 2 : (Q 1 1 [今冬の節電継続] で1.「継続する」とご回答の方のみご回答下さい)

今冬 (2016 年度) も節電を行う場合に、昨冬 (2015 年度) と同様の節電取組は可能ですか。

あてはまる番号に○印を付けてください。(○は1つのみ)

1. 今冬 (2016 年度) に昨冬 (2015 年度) と同様の節電取組を継続することは可能
2. 節電には協力するが、昨冬 (2015 年度) と同様の節電取組は困難
3. 分からない

Q 1 3 : 全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響についてお伺いします。

あてはまる番号全てに○印を付けてください。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 生産・営業を抑制せざるを得ない | 5. 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少 |
| 2. 生産拠点・事業所の海外移転 | 6. 特に影響はない見通し |
| 3. 他企業への生産・販売委託を増やす | 7. その他 |
| 4. 取引先の生産抑制による受注の減少 | () |

最後にお客さまの電気需給契約のご契約内容についてお聞きします。

Q 1 4 : 現在の契約電力は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つのみ)

(契約電力は「電気ご使用量のお知らせ」などに記載されております)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 100kW未満 | 4. 500～1000kW未満 |
| 2. 100～250kW未満 | 5. 1000kW以上 |
| 3. 250～500kW未満 | |

Q 1 5 : お客さまの業種・業態は、次のどれにあてはまりますか。

一番近いものに○印を付けてください。(○は1つのみ)

1. 産業用の製造業 (食料品・化学・機械などの工場など)
2. 産業用の非製造業 (運輸通信・水道・廃棄物処理など)
3. オフィスビル (事務所棟 など)
4. 飲食・宿泊・遊技場 (レストラン・居酒屋・旅館・パチンコ など)
5. 商業施設 (百貨店・スーパー・量販店・衣料店・物産館 など)
6. 上記以外の業務用施設 (医療・福祉施設・学校・公共空間・マンションの共用部分 など)

Q 1 6 : 差し支えなければ、お客さまのお名前 (社名・施設名等) をお知らせください。

お忙しいところ長時間のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

(家庭用) アンケート項目**(1) 夏の節電にかかる質問**

①今夏（2016 年度）、節電を実施しましたか。

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②今夏、節電を実施した理由（複数回答可）（※（1）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 電力会社の広報や新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等にもなう電気料金価格の変化により、節電取り組みに影響がありましたか。（※（1）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※（1）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き

- 1 1 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 1 2 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 1 3 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 1 4 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 1 5 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 1 6 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 1 7 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 1 8 洗濯機は容量の 8 0 %程度を目安にまとめ洗い
- 1 9 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 2 0 その他 ()
- 2 1 特にない

⑤夏季において、特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の 7 時頃）
- 2 平日の午前（9 時～12 時）
- 3 平日の午後（13 時～16 時）
- 4 平日の夕方～夜（17 時～20 時）
- 5 平日の夜中（21 時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中において、エアコン等で節電を実施しましたか。（※（１）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017 年度）、節電を継続しますか。（※（１）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性はどうか。（※（１）⑦で「節電を継続する」と回答した方のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能

- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対 2010 年度〔震災前〕比）

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 10 %未満
- 5 10 %以上 15 %未満
- 6 15 %以上 20 %未満
- 7 20 %以上

⑩来夏、節電を実施する理由（複数回答可）（※（１）⑦で「節電を実施する」と回答した方のみ）

- 1 電力会社の広報や新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）、節電を実施しましたか。

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）、節電を継続しますか。（※（２）①で「節電を実施した」と回答した方のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組の可能性はどうか。（※（２）②で「節電を継続する」と回答した方のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

以上

節電アンケート

日頃よりお引き立て賜りまことにありがとうございます。
お客さまにおかれまして、節電のご実施状況や今後の取組ご意向等について、以下の質問にご回答賜りますようお願い申し上げます。

（１）夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をＬＥＤ等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め（28℃等）に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る

- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制
- 12 夏季休暇の拡大
- 13 自家発電稼働
- 14 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ）
- 15 生産拠点の移転・シフト（海外へ）
- 16 電力以外の燃料による製造機器導入
- 17 エレベータ間引き等の動力の調整
- 18 その他（ ）

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（ ）

⑥来夏（2017 年度）の節電継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

⑦来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑧無理がないと思われる節電目標（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上 7%未満
- 4 7%以上 10%未満
- 5 10%以上 15%未満
- 6 15%以上 20%未満
- 7 20%以上

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

（３）その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他（ ）

大変お忙しいところ、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

《家庭》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き
- 11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 13 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 14 冷蔵庫の設定を強から中に変える

- 15 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 16 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 17 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 18 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめ洗い
- 19 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 20 その他（ ）
- 21 特になし

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の7時頃）
- 2 平日の午前（9時～12時）
- 3 平日の午後（13時～16時）
- 4 平日の夕方～夜（17時～20時）
- 5 平日の夜中（21時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017年度）も今夏（2016年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対2010年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満

- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016年度）に昨冬（2015年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

節電に関するアンケート調査(ヒアリングシート) 2016年度夏季

東京電力 大口・小口

①-1 夏の節電について

NO	回答対象	形式	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6	選択肢7	選択肢8	選択肢9
1*	全員	単一回答	今夏(2016年度)の節電の実施の有無	今夏(2016年度)節電を実施した	今夏(2016年度)節電を実施しなかった							
2*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	複数回答	節電を実施した理由	電力不安があり協力したいと考えたから	節電することが定着したから	市況悪化により生産を縮小しているから	停電を避けたいから	電気料金にかかるコストの削減につながるから	その他()			
3*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	単一回答	値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響	とても影響があった	やや影響があった	あまり影響がなかった	全く影響がなかった	わからない				
4-1*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	複数回答	実施した節電の内容	節電目標や内容を社内に啓発	照明間引き	こまめな消灯	照明をLED等へ切り替え交換	空調温度を高め(28℃等)に設定	空調をガス方式等に変更	不在エリアの空調停止	待機電力を切る	製造機器稼働の節電工夫
5-1	NO4-1 選択した項目のみ	単一回答	実施した節電施策毎の負担感	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大
4-2*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	複数回答	実施した節電の内容	操業日や操業時間帯のシフト	生産抑制	夏季休暇の拡大	自家発電稼働	生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)	生産拠点の移転・シフト(海外へ)	電力以外の燃料による製造機器導入	エレベータ間引き等の動力の調整	その他()
5-2	NO4-2 選択した項目のみ	単一回答	実施した節電施策毎の負担感	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大	コスト小・従業員小 コスト小・従業員大 コスト大・従業員小 コスト大・従業員大
6-1	全員	単一回答	空調の設定温度(2010年度夏)	16℃以下 25℃	17℃ 26℃	18℃ 27℃	19℃ 28℃	20℃ 29℃	21℃ 30℃以上	22℃ わからない	23℃	24℃
6-2	全員	単一回答	空調の設定温度(2016年度夏)	16℃以下 25℃	17℃ 26℃	18℃ 27℃	19℃ 28℃	20℃ 29℃	21℃ 30℃以上	22℃ わからない	23℃	24℃
6-3	全員	単一回答	空調の設定温度(2017年度夏) ※今後のご意向	16℃以下 25℃	17℃ 26℃	18℃ 27℃	19℃ 28℃	20℃ 29℃	21℃ 30℃以上	22℃ わからない	23℃	24℃
7-1,2	全員	単一回答	照明の詳細 (今夏の間引き率と今後の継続意向)	今夏(2016年度)時点で、間引き率()割			→	来夏(2017年度)時点で、間引き率()割予定			※0割～10割まで (間引きしていない場合は0割)	
7-3,4	全員	単一回答	照明の詳細 (今夏のLED取替率・ストックベースと今後の継続意向)	今夏(2016年度)時点で、全体の()割をLEDへ取替済			→	来夏(2017年度)時点で、全体の()割をLEDへ取替予定			※0割～10割まで ※ストックベース	
8*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	複数回答	節電による企業活動への影響	自家発電の稼働によりコストが増加した	生産・販売量等に影響が生じた	顧客サービスが低下した	従業員からクレームが多くあった	特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった	その他()			
9*	NO1 「実施した」と回答した企業のみ	単一回答	来夏(2017年度)の節電継続	来夏(2017年度)節電を継続する	来夏(2017年度)節電を継続しない	分からない						
10*	NO9 「継続する」と回答した企業のみ	単一回答	来夏(2017年度)も節電を行う場合における、今夏(2016年度)と同様の節電取組可能性	来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能	節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難	分からない						
11	NO9 「継続する」と回答した企業かつ NO4-1.2 今夏(2016年度)実施した項目のみ	複数回答	来夏(2017年度)も継続する節電の内容	節電目標や内容を社内に啓発 操業日や操業時間帯のシフト	照明間引き 生産抑制	こまめな消灯 夏季休暇の拡大	照明をLED等へ切り替え交換 自家発電稼働	空調温度を高め(28℃等)に設定 生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)	空調をガス方式等に変更 生産拠点の移転・シフト(海外へ)	不在エリアの空調停止 電力以外の燃料による製造機器導入	待機電力を切る エレベータ間引き等の動力の調整	製造機器稼働の節電工夫 その他

→裏面に続きます

節電に関するアンケート調査(ヒアリングシート) 2016年度夏季

①-2 夏の節電について

NO	回答対象	形式	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6	選択肢7	選択肢8	選択肢9
12*	全員	単一回答	無理がないと思われる節電目標(対2010年度(震災前)比)	0%	5%未満	5%以上7%未満	7%以上10%未満	10%以上15%未満	15%以上20%未満	20%以上		
13*	NO9 「継続する」と回答した企業のみ	複数回答	節電を継続する理由	電力不安があり協力したいと考えたから	節電することが定着したから	市況悪化により生産を縮小しているから	停電を避けたいから	電気料金にかかるコストの削減につながるから	その他()			
14-1	製造業のみ	自由記入	主な生産品目				※お答えいただける範囲で記入					
14-2	製造業のみ	単一回答	生産水準の見通しについて 2016年4月～6月を100%とした場合	2016年7月～9月 ()%	2016年10月～12月 ()%	2017年1月～3月 ()%	2017年4月～6月 ()%	2017年7月～9月 ()%	※お答えいただける範囲で記入			
14-3	製造業のみ	自由記入	生産水準の見通しについて、具体的な事項(生産動向や移転計画など)について記入								※お答えいただける範囲で記入	
15-1	全員	単一回答	向こう3年間(現在～2019年度まで)の契約電力増減の見通しについて記入	()年()月 ()kW ↓ ()kW 増減理由() 移転先分類()	()年()月 ()kW ↓ ()kW 増減理由() 移転先分類()	()年()月 ()kW ↓ ()kW 増減理由() 移転先分類()	<増減理由を選択> ①設備新設 → ②設備撤去 → ③設備変更無し(デマンド見直し等) → ④自家発(撤去・容量減) ⑤自家発(新設・容量増) ⑥その他 <移転先分類(増減理由①の場合)> ①当社エリア内←当社エリア内 ②当社エリア内←当社エリア外 ③当社エリア内←海外 ④移転元不明 ⑤純増 <移転先分類(増減理由②の場合)> ①当社エリア内→当社エリア内 ②当社エリア内→当社エリア外 ③当社エリア内→海外 ④移転先不明 ⑤純減					※お答えいただける範囲で記入
15-2	全員	自由記入	契約電力増減の見通しについて、設備移転先(国・地域・工場名など)や自家発容量(kW・台数・燃料)など具体的な事項について記入								※お答えいただける範囲で記入	

② 冬の節電について

NO	回答対象	形式	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6	選択肢7	選択肢8	選択肢9
16*	全員	単一回答	昨冬(2015年度)の節電の実施の有無	昨冬(2015年度)節電を実施した	昨冬(2015年度)節電を実施しなかった							
17*	NO16 「実施した」と回答した企業のみ	単一回答	今冬(2016年度)の節電継続	今冬(2016年度)節電を継続する	今冬(2016年度)節電を継続しない	分からない						
18*	NO17 「継続する」と回答した企業のみ	単一回答	今冬(2016年度)節電を継続する場合における昨冬(2015年度)と同様の節電取組可能性	今冬(2016年度)に昨冬(2015年度)と同様の節電取組を継続することは可能	節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は困難	分からない						

③ その他

NO	回答対象	形式	設問	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	選択肢6	選択肢7	選択肢8	選択肢9
19*	全員	複数回答	全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響	生産・営業を抑制せざるを得ない	生産拠点・事業所の海外移転	他企業への生産・販売委託を増やす	取引先の生産抑制による受注の減少	取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少	特に影響はない見通し	その他()		
20	全員	単一回答	エネルギー管理方法	BEMS等、エネルギーのモニタリングデータに基づき、機器の最適運転制御を実施している	エネルギーのモニタリングのみ実施している(機器の運転制御はしていない)	デマンドコントローラーを導入し、電力デマンドの管理(または制御)を実施している	電気・ガス・油・水道の月ごとの請求書・使用量のお知らせにより確認している	特に何もしていない(普段、あまり意識していない)	分からない			

調査票のご確認にあたって
(各質問上の水色の箇所に、その質問に関する設定が表示されます)

●画面分割

→画面が分割される箇所に「ここで改ページ」という線が表示されます。

●セレクト条件(回答者指定機能)

設定の内容は、以下の4種類で表記されます。

表記例

- ・【Q1】で1-3と答えた方 →Q1で選択肢「1,2,3」のいずれかを選んだ回答者にのみ、「質問」が表示されます。
- ・Q1項目【1】で1と答えた方 →Q1の項目の1番目で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「質問」が表示されます。
- ・項目【1】:【Q1】で1と答えた方 →Q1で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「項目の1番目」が表示されます。
- ・1_FA:【Q1】で1と答えた方 →Q1で選択肢「1」を選んだ回答者にのみ、「自由解答欄の1番目」が表示されます。

●排他選択肢

→対象の選択肢と、他の選択肢が同時に選択された場合、回答者にエラーを表示します。

◆設定の記載が無い画面をごらんになる際は [こちら](#) をクリックしてください。



夏の節電についてのアンケート

本アンケートでは、電気使用量についてお聞きする質問がございます。

お手数ではございますが、**今年の7月～8月の「電気ご使用量のお知らせ」を
お手元にご用意いただきアンケートにお答え下さい。**

宜しくお願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力をお願いします。

・ ①必須入力(全項目)

Q1 昨夏(2015年度)および今夏(2016年度)の節電に対する意識について、下記より当てはまるものを1つお選び下さい。
(それぞれひとつだけ)

【必須入力】

1
節電を強く

2
節電を意識

3
あまり節電

4
節電を意識

		意識していた	していた	を意識していなかった	していなかった
1. 昨夏(2015年度)	→	☐	☐	☐	☐
2. 今夏(2016年度)	→	☐	☐	☐	☐



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で1,2と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ⑦_FA: 必須入力

Q2 今夏(2016年度)の節電に対する意識について、意識していた理由をお聞かせ下さい。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 今夏(2016年度)も電力不足だから
- ☐ 2. 電気料金が値上げされたから
- ☐ 3. 節電で電気料金が節約できるから
- ☐ 4. エネルギーをめぐる情勢が変化しており、省エネは重要だから
- ☐ 5. 節電しても不便でないから
- ☐ 6. マスメディアで報道されているから
- ☐ 7. その他



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で3,4と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ⑥_FA: 必須入力

Q3 今夏(2016年度)の節電に対する意識について、意識していなかった理由をお聞かせ下さい。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 今夏(2016年度)は電力に余裕があるから
- ☐ 2. 節電しても電気料金が目に見えるほど減らず、節約にならないから
- ☐ 3. 節電することで出費が増え、家計の負担が増えるから
- ☐ 4. 節電すると不便だから
- ☐ 5. マスメディアで報道されていないから
- ☐ 6. その他



ここで改ページ

- ・ ①必須入力

Q4 今夏(2016年度)の節電に対する意識は、昨夏(2015年度)の節電に対する意識と比べて変わりましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 強くなった | 少し強くなった | 変わらない | 少し弱くなった | 弱くなった |
| ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 : 【Q4】で1,2と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①7_FA: 必須入力

Q5

前問で「強くなった」「少し強くなった」とお答えの主な理由をお聞かせ下さい。(ひとつだけ)

【必須入力】

【強くなった理由】

- ☐ 1. 今夏(2016年度)も電力不足だから
- ☐ 2. 電気料金が値上げされたから
- ☐ 3. 節電で電気料金が節約できるから
- ☐ 4. エネルギーをめぐる情勢が変化しており、省エネは重要だから
- ☐ 5. 節電しても不便でないから
- ☐ 6. マスメディアで報道されているから
- ☐ 7. その他



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 : 【Q4】で4,5と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①6_FA: 必須入力

Q6

前問で「弱くなった」「少し弱くなった」とお答えの主な理由をお聞かせ下さい。(ひとつだけ)

【必須入力】

【弱くなった理由】

- ☐ 1. 今夏(2016年度)は電力に余裕があるから
- ☐ 2. 節電しても電気料金が目に見えるほど減らず、節約にならないから
- ☐ 3. 節電することで出費が増え、家計の負担が増えるから
- ☐ 4. 節電すると不便だから
- ☐ 5. マスメディアで報道されていないから
- ☐ 6. その他



ここで改ページ

- ・ ①必須入力

Q7

昨夏(2015年度)は節電を実施しましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 昨夏(2015年度)は節電を実施した
- ☐ 2. 昨夏(2015年度)は節電を実施しなかった



ここで改ページ

・ ①必須入力

Q8 今夏(2016年度)は節電を実施しましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 今夏(2016年度)は節電を実施した
☐ 2. 今夏(2016年度)は節電を実施しなかった



ここで改ページ

・ セレクト条件 : 【Q8】で1と答えた方
・ ①必須入力

Q9 前問で今夏(2016年度)に節電を実施したとお答えの方にお伺いします。
来夏(2017年度)は節電を継続しますか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 来夏(2017年度)、節電を継続する
☐ 2. 来夏(2017年度)、節電は継続しない
☐ 3. わからない



ここで改ページ

・ セレクト条件 : 【Q9】で1と答えた方
・ ①必須入力

Q10 前問で来夏(2017年度)も節電を継続するとお答えの方にお伺いします。
来夏(2017年度)も節電を行う場合、今夏(2016年度)と同様の節電を実施しますか。
最もあてはまるものをお選びください。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取り組みを継続することは可能
☐ 2. 節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取り組みは困難
☐ 3. わからない



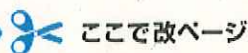
ここで改ページ

・ ①必須入力

Q11 あなたにとって、無理がないと思われる節電幅をお答えください(対2010年度(震災前)比)。
(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 0%
☐ 2. 5%未満
☐ 3. 5%以上7%未満
☐ 4. 7%以上10%未満
☐ 5. 10%以上15%未満
☐ 6. 15%以上20%未満
☐ 7. 20%以上



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q8】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ⑧_FA: 必須入力

Q12 今夏(2016年度)に節電を実施した方にお伺いします。
節電を実施した理由をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- ☐ 2. 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- ☐ 3. 計画停電になると社会的影響が大きいから
- ☐ 4. 環境意識が高まったから
- ☐ 5. 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- ☐ 6. 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- ☐ 7. 節電することが習慣化したから
- ☐ 8. その他



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q8】で1と答えた方
- ・ ①必須入力

Q13 今夏(2016年度)に節電を実施した方にお伺いします。
電力会社による電気料金の値上げや燃料費調整制度※等により、
電気料金価格が変化したことによる節電取り組みへの影響について、最もあてはまるものをお選び下さい。
※燃料費調整制度…火力発電の燃料(原油・LNG[液化天然ガス]・石炭)の価格変動を
電気料金に迅速に反映させるため、その変動に応じて、毎月自動的に電気料金を調整する制度。

【必須入力】

- | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| とても影響があった | やや影響があった | あまり影響がなかった | 全く影響がなかった | わからない |
| ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q9】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ⑧_FA: 必須入力

Q14 来夏(2017年度)に節電を実施する方にお伺いします。
節電を実施する理由をお答え下さい。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- ☐ 2. 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- ☐ 3. 計画停電になると社会的影響が大きいから
- ☐ 4. 環境意識が高まったから
- ☐ 5. 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- ☐ 6. 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- ☐ 7. 節電することが習慣化したから
- ☐ 8. その他



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q7】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①20_FA: 必須入力
- ・ 排他選択肢: 21. 特にない

Q15

昨夏(2015年度)に節電を実施した方にお伺いします。
実施した節電内容をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. エアコンは室温28℃を心がける
- ☐ 2. 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- ☐ 3. 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- ☐ 4. エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ☐ 5. 照明をできるだけ減らす
- ☐ 6. 照明をLED等へ切り替え交換
- ☐ 7. テレビ画面の輝度を下げる
- ☐ 8. テレビを必要とき以外は消す
- ☐ 9. 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- ☐ 10. 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き
- ☐ 11. 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- ☐ 12. 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- ☐ 13. 長時間使わない機器はプラグを抜く
- ☐ 14. 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- ☐ 15. 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- ☐ 16. 冷蔵庫に食品をつめこまない
- ☐ 17. お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- ☐ 18. 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめて洗い
- ☐ 19. 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- ☐ 20. その他
- ☐ 21. 特にない



ここで改ページ

- ・ セレクト条件：【Q8】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①20_FA: 必須入力
- ・ 排他選択肢: 21. 特にない

Q16

今夏(2016年度)に節電を実施した方にお伺いします。
実施した節電内容をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. エアコンは室温28℃を心がける
- ☐ 2. 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- ☐ 3. 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- ☐ 4. エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ☐ 5. 照明をできるだけ減らす
- ☐ 6. 照明をLED等へ切り替え交換
- ☐ 7. テレビ画面の輝度を下げる
- ☐ 8. テレビを必要とき以外は消す
- ☐ 9. 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する

- ☐ 10. 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き
- ☐ 11. 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- ☐ 12. 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- ☐ 13. 長時間使わない機器はプラグを抜く
- ☐ 14. 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- ☐ 15. 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- ☐ 16. 冷蔵庫に食品をつめこまない
- ☐ 17. お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- ☐ 18. 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめて洗い
- ☐ 19. 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- ☐ 20. その他
- ☐ 21. 特にない



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 : 【Q9】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①20_FA: 必須入力
- ・ 排他選択肢: 21. 特にない

Q17

来夏(2017年度)に節電を実施する方にお伺いします。
実施する節電内容をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. エアコンは室温28℃を心がける
- ☐ 2. 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- ☐ 3. 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- ☐ 4. エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- ☐ 5. 照明をできるだけ減らす
- ☐ 6. 照明をLED等へ切り替え交換
- ☐ 7. テレビ画面の輝度を下げる
- ☐ 8. テレビを必要なとき以外は消す
- ☐ 9. 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- ☐ 10. 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き
- ☐ 11. 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- ☐ 12. 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- ☐ 13. 長時間使わない機器はプラグを抜く
- ☐ 14. 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- ☐ 15. 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- ☐ 16. 冷蔵庫に食品をつめこまない
- ☐ 17. お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- ☐ 18. 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめて洗い
- ☐ 19. 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- ☐ 20. その他
- ☐ 21. 特にない



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 項目【1】: 【Q16】で1と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【2】: 【Q16】で2と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【3】: 【Q16】で3と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【4】: 【Q16】で4と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【5】: 【Q16】で5と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【6】: 【Q16】で6と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【7】: 【Q16】で7と答えた方

- ・ セレクト条件 項目【8】：【Q16】で8と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【9】：【Q16】で9と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【10】：【Q16】で10と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【11】：【Q16】で11と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【12】：【Q16】で12と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【13】：【Q16】で13と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【14】：【Q16】で14と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【15】：【Q16】で15と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【16】：【Q16】で16と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【17】：【Q16】で17と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【18】：【Q16】で18と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【19】：【Q16】で19と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【20】：【Q16】で20と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ 回答参照：【Q16_20FA】

Q18 あなたのご家庭内で今夏(2016年度)に実施した節電について、負担感があったかどうかお答え下さい。(それぞれひとつだけ)
【必須入力】

	1 強く感じた	2 少し感じた	3 あまり感じなかった	4 まったく感じなかった
1. エアコンは室温28℃を心がける	→ ○	○	○	○
2. 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる	→ ○	○	○	○
3. 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う	→ ○	○	○	○
4. エアコンのフィルターを定期的に掃除する	→ ○	○	○	○
5. 照明をできるだけ減らす	→ ○	○	○	○
6. 照明をLED等へ切り替え交換	→ ○	○	○	○
7. テレビ画面の輝度を下げる	→ ○	○	○	○
8. テレビを必要なとき以外は消す	→ ○	○	○	○
9. 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する	→ ○	○	○	○
10. 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き	→ ○	○	○	○
11. 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存	→ ○	○	○	○
12. 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る	→ ○	○	○	○
13. 長時間使わない機器はプラグを抜く	→ ○	○	○	○
14. 冷蔵庫の設定を強から中に変える	→ ○	○	○	○
15. 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす	→ ○	○	○	○
16. 冷蔵庫に食品をつめこまない	→ ○	○	○	○
17. お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る	→ ○	○	○	○
18. 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめて洗い	→ ○	○	○	○
19. 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる	→ ○	○	○	○
20. その他【【Q16_20FAの選択内容】】	→ ○	○	○	○



ここで改ページ

- ・ ①必須入力(全項目)

Q19 あなたのご家庭では、下記の電気製品・設備等をお持ちですか。
持っているものについては、その台数もお答え下さい。(それぞれひとつだけ)
【必須入力】

	1 無し	2 1台	3 2台	4 3台	5 4台	6 5台	7 6台以上
1. 冷蔵庫	→ ○	○	○	○	○	○	○
2. 炊飯器	→ ○	○	○	○	○	○	○
3. IHクッキングヒーター	→ ○	○	○	○	○	○	○
4. 電子レンジ・オーブン・トースター	→ ○	○	○	○	○	○	○
5. 食器洗い機・食器乾燥機・食器洗乾燥機	→ ○	○	○	○	○	○	○
6. 洗濯機・衣類乾燥機・洗濯乾燥機	→ ○	○	○	○	○	○	○
7. 電気エアコン	→ ○	○	○	○	○	○	○
8. 扇風機	→ ○	○	○	○	○	○	○
9. サーキュレーター	→ ○	○	○	○	○	○	○
10. 除湿機・空気清浄機	→ ○	○	○	○	○	○	○
11. 掃除機	→ ○	○	○	○	○	○	○
12. パソコン	→ ○	○	○	○	○	○	○
13. テレビ	→ ○	○	○	○	○	○	○
14. DVD・ブルーレイ・HDDレコーダー・ビデオ	→ ○	○	○	○	○	○	○
15. WiiU、PS4などの据置ゲーム機(携帯ゲームを除く)	→ ○	○	○	○	○	○	○
16. ドライヤー	→ ○	○	○	○	○	○	○
17. トイレ温水洗浄便座	→ ○	○	○	○	○	○	○
18. LED照明	→ ○	○	○	○	○	○	○
19. 電気自動車	→ ○	○	○	○	○	○	○
20. 家庭用蓄電池	→ ○	○	○	○	○	○	○
21. 太陽光発電	→ ○	○	○	○	○	○	○
22. エコキュート(電気給湯機)	→ ○	○	○	○	○	○	○
23. 電気温水器	→ ○	○	○	○	○	○	○
24. エネファーム(家庭用燃料電池)	→ ○	○	○	○	○	○	○
25. HEMS(家庭用エネルギー管理システム)	→ ○	○	○	○	○	○	○



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 項目【2】：Q19項目【7】で2-7と答えた方
- ・ ㊦必須入力(全項目)

Q20

あなたのご家庭における昨夏(2015年度)と今夏(2016年度)のエアコンの平均的な設定温度をお答え下さい。
(それぞれひとつだけ)

【必須入力】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	1 6 度 以下	1 7 度	1 8 度	1 9 度	2 0 度	2 1 度	2 2 度	2 3 度	2 4 度	2 5 度	2 6 度	2 7 度	2 8 度	2 9 度	3 0 度 以上	自動 運転	わか らない	エ ア コ ン は 使 用 し な い (し て い な い) / 持 っ て い な か っ た
1. 昨夏(2015年度)	→ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 今夏(2016年度)	→ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



ここで改ページ

- ・ セレクト条件 項目【1】-【2】: Q20項目【1】で1-17と答えた方
- ・ セレクト条件 項目【3】-【4】: Q20項目【2】で1-17と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ 排他選択肢:22. わからない
- ・ 排他選択肢:23. 平日/休日は使用していない(いなかった)

Q21

あなたのご家庭における以下の時期のエアコンの平均的な使用時間帯をお答え下さい。(それぞれいくつでも)

※前問までの回答内容により、項目が表示されないことがあります。

【必須入力】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時

平日/休日は使用していない(いなかった)

《昨夏(2015年度)の平均的な使用時間帯》

1. 平日 → ☐

2. 休日(土日祝日) → ☐

《今夏(2016年度)の平均的な使用時間帯》

3. 平日 → ☐

4. 休日(土日祝日) → ☐



ここで改ページ

- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ 排他選択肢:22. わからない
- ・ 排他選択肢:23. 誰も在宅していない

Q22

あなたの今夏(2016年度)の平均的な在宅時間をお答えください。

(ご家族のうち、どなたか一人でも在宅していらしたら、チェックしてください。)(それぞれいくつでも)

【必須入力】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時

誰も在宅していない

1. 平日 → ☐

2. 休日(土日祝日) → ☐



ここで改ページ

- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ 排他選択肢:22. わからない
- 排他選択肢:23. 節電を意識した時間帯はない

Q23

今夏(2016年度)あなたのご家庭で節電を意識した時間帯をお選び下さい。(それぞれいくつでも)

【必須入力】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時	22 時	23 時	1 時	2 時	3 時	4 時
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	1	2	3	4
時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時	時

節電を意識した時間帯はない
わからない

今夏(2016年度)、節電を意識した時間帯

1. 平日 → ☐
2. 休日(土日祝日) → ☐



ここで改ページ

- ・ ①必須入力
- ・ 排他選択肢:6. あてはまるものはない

Q24

以下の中から、あなたが特に家庭の節電が必要だと思う時間帯をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 平日の早朝(出勤や登校前の7時頃)
- ☐ 2. 平日の午前(9時～12時)
- ☐ 3. 平日の午後(13時～16時)
- ☐ 4. 平日の夕方～夜(17時～20時)
- ☐ 5. 平日の夜中(21時以降)
- ☐ 6. あてはまるものはない



ここで改ページ

- ・ セレクト条件:【Q8】で1と答えた方
- ・ ①必須入力

Q25

今夏(2016年度)に節電を実施した方にお伺いします。

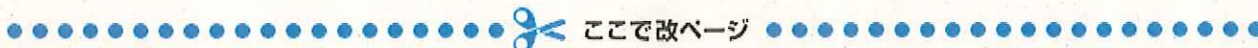
特に暑さが厳しい日の日中において、エアコン等の節電をどの程度実施しましたか。

最もあてはまるものをお選び下さい。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 通常実施している節電より踏み込んで行った
- ☐ 2. 通常実施している節電と同程度で行った
- ☐ 3. 通常と同程度の節電はしていない
- ☐ 4. わからない

○ 5. 冷房機器を持っていない



・ ① 必須入力

Q26 あなたは「でんき予報」を活用していますか。(ひとつだけ)
 【必須入力】

- | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 非常に参考にしている | まあ参考にしている | どちらともいえない | あまり参考にしていない | 全く参考にしていない |
| ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |



・ ① I2_FA: 必須入力

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

東京電力「電気ご使用量のお知らせ」見本

毎度ご利用いただきありがとうございます

電気ご使用量のお知らせ ○○ ○○ 様

ご使用場所 千代田区内幸町1丁目1-3

XX年X月分	ご使用期間 検針月日 XX月XX日 ~ XX月XX日 (XX日間)	① 契約種別 従量電灯B
② ご使用量	XXXXkWh	③ 契約 XXXA
請求予定金額 (うち消費税等相当額)	X,XXX円 XXX円	当月指示数 XXXX 前月指示数 XXXX 差 XXX
基本料金	XXXX円XX銭	計器乗率(倍) XXX
上電11段料金	X,XXX円XX銭	取替前計量値
力12段料金	X,XXX円XX銭	計器番号(下3桁)
量13段料金	X,XXX円XX銭	
燃料費調整	XX円XX銭	
再エネ発電賦課金等	XXX円	
口座振替割引	-XX円XX銭	

見本

お問い合わせは、下記の電話番号まで
 ~おかけ間違いにお気をつけください。~

お問い合せ先/カスタマーセンター
 XXXX-XXXX-XXXX
 その他の電気に関するご用件
 XXXX-XXXX-XXXX

東京電力株式会社
 ○○支社(XXX)

地区番号 〇〇 〇〇 〇〇
 お客様番号 XXXXX-XXXXX-X-XX
 検針日 ○○

今月分 振替予定日 XX月XX日
 次回検針予定日 XX月XX日

※ 昨月X月分はXX日間で XXXkWhです。
 今月分は1日あたりXXX%減少しています。

※ 電力料金のお知らせ (X月X日の分)

X月(当月)分	+XX円XX銭
X月(翌月)分	-XX円XX銭
翌月分は当月分に比べ	-XX円XX銭

Q27 あなたのご家庭の電気のご契約種別をお答え下さい。

「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)の【1】をご確認のうえ、ご回答下さい。(ひとつだけ)

- * 「電気ご使用量のお知らせ」がお手もとになく、おわかりにならない場合は、次ページへお進み下さい。
- * 複数契約ある場合には主たる電灯契約をご記入下さい。
- * 選択肢に契約種別が無い場合は、電力会社名も含めてその他選択肢へご回答下さい。

- 1. 従量電灯B
- 2. 従量電灯C
- 3. おトクなナイト8

- ☐ 4. おトクなナイト10
☐ 5. 電化上手
☐ 6. おまとめプラン(低圧高負荷契約)
☐ 7. ピークシフトプラン
☐ 8. 朝得プラン
☐ 9. 夜得プラン
☐ 10. 半日お得プラン
☐ 11. 土日お得プラン
☐ 12. その他

- ・ 1_N: 半角数字 / 最小0 / 整数
 ・ 2_N: 半角数字 / 最小0 / 整数

Q28

あなたのご家庭の電気のご契約容量をお教え下さい。

「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)の【2】をご確認のうえ、ご記入願います。

*「電気ご使用量のお知らせ」がお手もとになく、おわかりにならない場合は、次ページへお進み下さい。

*複数契約ある場合には主たる電灯契約をご記入下さい。

*どちらかひとつをご記入下さい。

A もしくは kVA (半角数字)

- ・ 1_N: 半角数字 / 最小0 / 整数
 ・ 2_N: 半角数字 / 最小0 / 整数
 ・ 3_N: 半角数字 / 最小0 / 整数
 ・ 4_N: 半角数字 / 最小0 / 整数

Q29

あなたの今年の7月～8月の電気使用量と前年同月の電気使用量をお答え下さい。

「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)の【3】【4】をご確認のうえ、ご記入願います。

*「電気ご使用量のお知らせ」がお手もとになく、おわかりにならない場合は、次ページへお進み下さい。

*複数契約ある場合には主たる電灯契約をご記入下さい。

【7月分】

今年(2016年) kWh (半角数字)

昨年(2015年) kWh (半角数字)

【8月分】

今年(2016年) kWh (半角数字)

昨年(2015年) kWh (半角数字)



ここで改ページ

- ・ ①必須入力
 ・ ④4_FA: 必須入力
 ・ 排他選択肢: 5. 確認していない

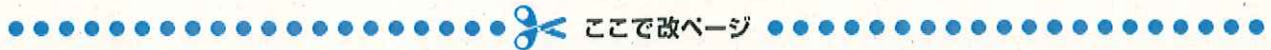
Q30

電気の使用状況を確認する場合、あなたはどの媒体で確認していますか。(いくつでも)

【必須入力】

- ☐ 1. 電気ご使用量のお知らせ(検針票)
☐ 2. 暮らしTEPCO(東京電力HP)
☐ 3. HEMS(家庭用エネルギー管理システム)
☐ 4. その他

☐ 5. 確認していない



・ ①必須入力

Q31 あなたは今夏(2016年度)、ご家庭の電気の契約容量の変更を検討しましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 検討し、契約容量を減らした
- ☐ 2. 検討し、契約容量を増やした
- ☐ 3. 検討したが、契約容量を変更しなかった
- ☐ 4. 検討していない



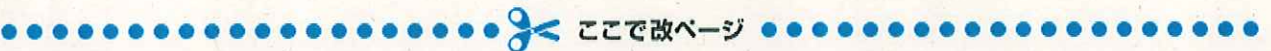
・ セレクト条件：【Q31】で1,2と答えた方
 ・ ①必須入力(全項目)

Q32 電気の契約容量を減らした方および増やした方にお伺いします。変更前と変更後の契約容量をお答え下さい。

* 覚えていない方もおおよその契約容量をお答え下さい。(それぞれひとつずつ)

【必須入力】

		1	2	3	4	5	6
		20A以下	30A	40A	50A	60A	それ以上
1. 変更前	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 変更後	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐



・ ①必須入力

ここからは、冬の節電についてお伺いします。

Q33 昨冬(2015年度)は節電を実施しましたか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 昨冬(2015年度)は節電を実施した
- ☐ 2. 昨冬(2015年度)は節電を実施しなかった



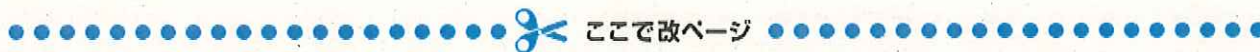
・ セレクト条件：【Q33】で1と答えた方
 ・ ①必須入力

Q34 前問で昨冬(2015年度)に節電を実施した方にお伺いします。

今冬(2016年度)は節電を継続しますか。(ひとつだけ)

【必須入力】

- ☐ 1. 今冬(2016年度)、節電を継続する
- ☐ 2. 今冬(2016年度)、節電を継続しない
- ☐ 3. わからない



- ・ セレクト条件 : 【Q34】で1と答えた方
- ・  必須入力

Q35

前問で今冬(2016年度)も節電を継続する方にお伺いします。

今冬(2016年度)も節電を継続する場合、昨冬(2015年度)と同様の節電を実施しますか。

最もあてはまるものをお選びください。(ひとつだけ)

【 必須入力 】

- ☐ 1. 今冬(2016年度)に昨冬(2015年度)と同様の節電取り組みを継続することは可能
- ☐ 2. 節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取り組みは困難
- ☐ 3. わからない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信

© MACROMILL, INC. All Rights Reserved.

今夏の節電に関するアンケートのお願い

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、今夏の需給対策に関する評価や今後の需給対策の検討にあたっての基礎資料とするため、今夏に企業の皆様が取り組まれている節電の内容を調査させていただきたいと考えております。

内容につきましては、資源エネルギー庁の要請に基づき全国的に実施するものです。

ご多忙のところ大変恐縮でございますが、今夏の検証をより充実したものとするため、なにとぞご協力賜りますようお願い申し上げます。（ご回答内容は秘密を厳守し、結果のみを公表いたします。）

なお、ご回答は８月２６日（金）午前中までにお寄せ下さい。

中部電力株式会社

○会社名（全角）

（記入例）中部電力株式会社

○お客さま番号（半角）※毎月の検針時にお届けしている「電気ご使用量のお知らせ」

記載の 13 桁の数字となります

（記入例）1234567891011

○お客さまの電気のご契約について該当するものを選択ください

- 1 特別高圧（主に契約電力 2,000kW 以上で標準電圧 20kV、30 k V、70kV、140kV のお客さま）
- 2 高圧（主に契約電力 500kW 以上、2,000kW 未満で標準電圧 6kV のお客さま）
- 3 高圧（主に契約電力 50kW 以上、500kW 未満で標準電圧 6kV のお客さま）

○お客さまの電気のご契約のご使用用途について該当するものを選択ください

- 1 産業用（例：工場等）
- 2 業務用（例：事務所、ビル等）

○御社の業種について該当するものを選択ください

- 1 製造業
- 2 非製造業

(1) 夏の節電にかかる質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無を選択ください

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由を選択ください（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響を選択ください（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 分からない

④実施した節電の内容を選択ください（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をLED等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め（28℃等）に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る
- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制

- 1 2 夏季休暇の拡大
- 1 3 自家発電稼働
- 1 4 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ）
- 1 5 生産拠点の移転・シフト（海外へ）
- 1 6 電力以外の燃料による製造機器導入
- 1 7 エレベータ間引き等の動力の調整
- 1 8 その他（ ）

⑤節電による企業活動への影響を選択ください（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（ ）

⑥来夏（2017 年度）の節電継続について選択ください
（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

⑦来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性について選択ください（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑧無理がないと思われる節電目標（対 2010 年度（震災前）比）を選択ください

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 1 0 %未満
- 5 1 0 %以上 1 5 %未満
- 6 1 5 %以上 2 0 %未満
- 7 2 0 %以上

⑨節電を継続する理由を選択ください（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから

- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコスト削減につながるから
- 6 その他 ()

(2) 冬の節電にかかる質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無を選択ください

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続について選択ください（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性について選択ください（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

(3) その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響について選択ください（複数回答可）

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他 ()

大変お忙しいところ、アンケートへのご協力まことにありがとうございました。

今夏のご家庭での節電に関するアンケートのお願い

お客さまへは、震災以降、長期にわたり、節電・省エネにご協力を賜わり、心よりお礼申し上げます。

この度、今夏の需給対策に関する評価や今後の需給対策の検討にあたっての基礎資料とするため、今夏、皆様のご家庭で取り組まれた節電の内容を調査させていただきたいと考えております。

内容につきましては、資源エネルギー庁の要請に基づき全国的に実施するものです。

ご多忙のところ大変恐縮でございますが、今冬の検証をより充実したものとするため、なにとぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

中部電力株式会社

《家庭》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 とても影響があった

- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊き
- 11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 13 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 14 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 15 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 16 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 17 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 18 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめて洗い
- 19 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 20 その他（ ）
- 21 特にない

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の7時頃）
- 2 平日の午前（9時～12時）
- 3 平日の午後（13時～16時）
- 4 平日の夕方～夜（17時～20時）
- 5 平日の夜中（21時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答

した者のみ)

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 1 0 %未満
- 5 1 0 %以上 1 5 %未満
- 6 1 5 %以上 2 0 %未満
- 7 2 0 %以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考になっている
- 2 まあ参考になっている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

(2) 冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

以 上

今夏の節電に関するアンケート調査

秘

【ご記入者】※本枠内の事項(貴社名・役職名・ご芳名・TEL)はご回答内容の確認にのみ利用させていただきます。

貴社名			
役職名 ご芳名		TEL	()

◇経済産業省（資源エネルギー庁）および各電力会社において電力需給に関する今夏の評価と今冬の対策検討のための基礎資料とするため、全国的に節電実態調査を実施することとなりました。

つきましては、企業各社様の節電のお取り組みに関するアンケートを実施させていただきたく存じますので、ご多忙中、誠に恐縮ですが、アンケートの回答に協力賜りますようお願い申し上げます。

◇大変お手数ではございますが、ご回答につきましては、**8月 日（ ）**までに弊社営業担当宛てにお願い申し上げます。

◇なお、公表は集計結果のみとし企業毎の内容は公表されません。

○貴社の業種をお答え(ご記入)下さい。(複数業種の場合は、主要業種1つお答え下さい)

[REDACTED]

以下の設問につきましては、**関西におけるご回答いただく拠点の、業種・用途等、契約種別、契約電力および取組み状況について、該当する番号1つをお答え下さい。**

【(対象となる拠点の)業種・用途等】 <業務用> ☐①卸売業 ☐②小売業 ☐③飲食業 ☐④宿泊業 ☐⑤その他(事務所ビル等) <産業用> ☐⑥製造業 ☐⑦その他非製造業(鉄道業、水道業含む)		【契約種別・契約電力】 (1) 契約種別 ☐①特別高圧電力 ☐②高圧電力 500kW 以上 ☐③高圧電力 500kW 未満 (2) 契約電力 kW ※請求書等をご確認の上、ご回答下さい
--	---	--

(1)夏の節電にかかる質問

【質問1】今夏(2016年度)の節電の実施の有無について、該当するもの1つをクリック下さい。

☐①今夏(2016年度)節電を実施した

☐②今夏(2016年度)節電を実施しなかった

【質問2】節電を実施した理由(複数回答可)について、該当するものを全てをクリック下さい。

(※【質問1】で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

☐①電力不安があり協力したいと考えたから ☐②節電することが定着したから ☐③市況悪化により生産を縮小しているから
☐④停電を避けたいから ☐⑤電気料金にかかるコストの削減につながるから ☐⑥その他 ()

【質問3】値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響について、該当するもの1つをクリック下さい。（※【質問1】で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

☐①とても影響があった ☐②やや影響があった ☐③あまり影響がなかった

☐④全く影響がなかった ☐⑤わからない

【質問4】実施した節電の内容(複数回答可)について、該当するものを全てをクリック下さい。

(※【質問1】で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

☐ ①節電目標や内容を社内に啓発	☐ ②照明間引き	☐ ③こまめな消灯
☐ ④照明をLED等へ切り替え交換	☐ ⑤空調温度を高め(28℃等)に設定	☐ ⑥空調をガス方式等に変更
☐ ⑦不在エリアの空調停止	☐ ⑧待機電力を切る	☐ ⑨製造機器稼働の節電工夫
☐ ⑩操業日や操業時間帯のシフト	☐ ⑪生産抑制	☐ ⑫夏季休暇の拡大
☐ ⑬自家発電稼働	☐ ⑭生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)	
☐ ⑮生産拠点の移転・シフト(海外へ)	☐ ⑯電力以外の燃料による製造機器導入	☐ ⑰エレベータ間引き等の動力の調整
☐ ⑱その他 ()		

【質問5】節電による企業活動への影響(複数回答可)について、該当するもの全てをクリック下さい。

(※【質問1】で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

☐①自家発電の稼働によりコストが増加した
 ☐②生産・販売量等に影響が生じた

☐③顧客サービスが低下した
 ☐④従業員からクレームが多くあった

☐⑤特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった

☐⑥その他 ()

【質問6】来夏(2017年度)の節電継続について、該当するもの1つをクリック下さい。

(※【質問1】で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

☐①来夏(2017年度)節電を継続する ☐②来夏(2017年度)節電を継続しない

☐③分からない

【質問7】来夏(2017年度)も節電を行う場合における、今夏(2016年度)と同様の節電取組可能性について、該当するものを1つをクリック下さい。(※【質問6】で「節電を継続する」と回答した企業のみ)

☐ ①来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能

☐ ②節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難

☐ ③分からない

【質問8】無理がないと思われる節電目標(対2010年度(震災前)比)について、該当するもの1つをクリック下さい。

☐①0%
 ☐②5%未満
 ☐③5%以上 7%未満
☐④7%以上 10%未満
 ☐⑤10%以上 15%未満
 ☐⑥15%以上 20%未満
☐⑦20%以上

【質問9】節電を継続する理由(複数回答可)について、該当するものを全てをクリック下さい。

(※【質問6】で「節電を継続する」と回答した企業のみ)

☐①電力不安があり協力したいと考えたから
 ☐②節電することが定着したから
☐③市況悪化により生産を縮小しているから
 ☐④停電を避けたいから
☐⑤電気料金にかかるコストの削減につながるから
 ☐⑥その他 ()

(2) 冬の節電にかかる質問

【質問10】昨冬（2015年度）の節電の実施の有無について、該当するもの1つをクリック下さい。

☐①昨冬(2015年度)節電を実施した ☐②昨冬(2015年度)節電を実施しなかった

【質問11】今冬(2016年度)の節電の継続について、該当するもの1つをクリック下さい。

(※【質問10】で「節電を実施した」と回答した企業のみ)

☐①今冬(2016年度)節電を継続する ☐②今冬(2016年度)節電を継続しない ☐③分からない

【質問12】今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性について、該当するもの1つをクリック下さい。（※【質問11】で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

☐ ①今冬(2016年度)に昨冬(2015年度)と同様の節電取組を継続することは可能
☐ ②節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は困難
☐ ③分からない

(3)その他

【質問13】全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響(複数回答可)について該当する番号全てをクリック下さい。

☐ ①生産・営業を抑制せざるを得ない
 ☐ ②生産拠点・事業所の海外移転
☐ ③他企業への生産・販売委託を増やす
 ☐ ④取引先の生産抑制による受注の減少
☐ ⑤取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
 ☐ ⑥特に影響はない見通し
☐ ⑦その他 ()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

《家庭》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き
- 11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る

- 1 3 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 1 4 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 1 5 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 1 6 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 1 7 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 1 8 洗濯機は容量の 8 0 %程度を目安にまとめ洗い
- 1 9 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 2 0 その他 ()
- 2 1 特にない

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の 7 時頃）
- 2 平日の午前（9 時～12 時）
- 3 平日の午後（13 時～16 時）
- 4 平日の夕方～夜（17 時～20 時）
- 5 平日の夜中（21 時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上 7%未満
- 4 7%以上 10%未満
- 5 10%以上 15%未満
- 6 15%以上 20%未満
- 7 20%以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

今夏の節電に関するアンケート

《大口、小口》

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響

（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をLED等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め（28℃等）に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る
- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制
- 12 夏季休暇の拡大
- 13 自家発電稼働
- 14 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ）

- 15 生産拠点の移転・シフト（海外へ）
- 16 電力以外の燃料による製造機器導入
- 17 エレベータ間引き等の動力の調整
- 18 その他（ ）

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）

（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（ ）

⑥来夏（2017 年度）の節電継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

⑦来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性

（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑧無理がないと思われる節電目標（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満
- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから

- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

（３）その他

①全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他（ ）

《家庭》

（１）夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから

- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響
(※①で「節電を実施した」と回答した者のみ)

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）(※①で「節電を実施した」と回答した者のみ)

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き
- 11 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 13 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 14 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 15 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 16 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 17 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 18 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめ洗い
- 19 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 20 その他（ ）
- 21 特にない

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の7時頃）
- 2 平日の午前（9時～12時）
- 3 平日の午後（13時～16時）
- 4 平日の夕方～夜（17時～20時）
- 5 平日の夜中（21時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017年度）も今夏（2016年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対2010年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満
- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから

- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

(2) 冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性
（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

節電に関するアンケート

お客さま名	ご契約番号

※各設問の該当する番号に○をお願いいたします。

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答したお客さまのみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（)

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答したお客さまのみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 分からない

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答したお客さまのみ）

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 節電目標や内容を社内に啓発 | 10 操業日や操業時間帯のシフト |
| 2 照明間引き | 11 生産抑制 |
| 3 こまめな消灯 | 12 夏季休暇の拡大 |
| 4 照明をLED等へ切り替え交換 | 13 自家発電稼働 |
| 5 空調温度を高め（28℃等）に設定 | 14 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ） |
| 6 空調をガス方式等に変更 | 15 生産拠点の移転・シフト（海外へ） |
| 7 不在エリアの空調停止 | 16 電力以外の燃料による製造機器導入 |
| 8 待機電力を切る | 17 エレベータ間引き等の動力の調整 |
| 9 製造機器稼働の節電工夫 | 18 その他（) |

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答したお客さまのみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（)

1 来夏（2017年度）節電を継続する
2 来夏（2017年度）節電を継続しない
3 分からない

1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
3 分からない

1 0 %
2 5 %未満
3 5 %以上 7 %未満
4 7 %以上 1 0 %未満
5 1 0 %以上 1 5 %未満
6 1 5 %以上 2 0 %未満
7 2 0 %以上

1 電力不安があり協力したいと考えたから 4 停電を避けたいから
2 節電することが定着したから 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
3 市況悪化により生産を縮小しているから 6 その他（ ）

1 昨冬（2015年度）節電を実施した
2 昨冬（2015年度）節電を実施しなかった

1 今冬（2016年度）節電を継続する
2 今冬（2016年度）節電を継続しない
3 分からない

1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
3 分からない

1 生産・営業を抑制せざるを得ない	5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
2 生産拠点・事業所の海外移転	6 特に影響はない見通し
3 他企業への生産・販売委託を増やす	7 その他（ ）
4 取引先の生産抑制による受注の減少	

設問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

節電に関するアンケート

中国電力株式会社 販売推進部門 法人契約第三グループ 行

返信先FAX番号：0120-151-730（フリーダイヤル）

※1枚目のみ、ご返信をお願いいたします。

貴社名

ご氏名

【ご回答欄】該当する番号のご記入をお願いいたします。

(1)	①		②		「6 その他」を選択した場合の具体的内容
	③		④		「18 その他」を選択した場合の具体的内容
	⑤	「6 その他」を選択した場合の具体的内容			
	⑥		⑦		⑧
	⑨	「6 その他」を選択した場合の具体的内容			
(2)	①		②		③
(3)	①	「7 その他」を選択した場合の具体的内容			

1001

(1) 夏の節電にかかる質問

①今夏（2016年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 分からない

④実施した節電の内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 節電目標や内容を社内に啓発 | 11 生産抑制 |
| 2 照明間引き | 12 夏季休暇の拡大 |
| 3 こまめな消灯 | 13 自家発電稼働 |
| 4 照明をLED等へ切り替え交換 | 14 生産拠点の移転・シフト
(国内の他電力管内へ) |
| 5 空調温度を高め(28℃等)に設定 | 15 生産拠点の移転・シフト(海外へ) |
| 6 空調をガス方式等に変更 | 16 電力以外の燃料による製造機器導入 |
| 7 不在エリアの空調停止 | 17 エレベータ間引き等の動力の調整 |
| 8 待機電力を切る | 18 その他（ ） |
| 9 製造機器稼働の節電工夫 | |
| 10 操業日や操業時間帯のシフト | |

⑤節電による企業活動への影響（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他（ ）

⑥来夏（2017年度）の節電継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017年度）節電を継続しない
- 3 分からない

⑦来夏（2017年度）も節電を行う場合における、今夏（2016年度）と同様の節電取組可能性（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 来夏（2017年度）も今夏（2016年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑧無理がないと思われる節電目標（対2010年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満
- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

⑨節電を継続する理由（複数回答可）（※⑥で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他（ ）

（２）冬の節電にかかる質問

①昨冬（2015年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016年度）節電を継続する場合における昨冬（2015年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した企業のみ）

- 1 今冬（2016年度）に昨冬（2015年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

（３）その他

④全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 生産・営業を抑制せざるを得ない | 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少 |
| 2 生産拠点・事業所の海外移転 | 6 特に影響はない見通し |
| 3 他企業への生産・販売委託を増やす | 7 その他（ ） |
| 4 取引先の生産抑制による受注の減少 | |

設問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

節電に関するアンケート

(1) 夏の節電に係る質問

①今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②節電を実施した理由（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④実施した節電内容（複数回答可）（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き

- 1 1 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 1 2 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 1 3 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 1 4 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 1 5 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 1 6 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 1 7 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 1 8 洗濯機は容量の 8 0 %程度を目安にまとめ洗い
- 1 9 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 2 0 その他 ()
- 2 1 特にない

⑤特に家庭の節電が必要と思う時間帯（複数回答可）

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の 7 時頃）
- 2 平日の午前（9 時～12 時）
- 3 平日の午後（13 時～16 時）
- 4 平日の夕方～夜（17 時～20 時）
- 5 平日の夜中（21 時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦来夏（2017 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難

3 分からない

⑨無理がないと思われる節電幅（対 2010 年度（震災前）比）

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上 7%未満
- 4 7%以上 10%未満
- 5 10%以上 15%未満
- 6 15%以上 20%未満
- 7 20%以上

⑩節電を実施する理由（複数回答可）（※⑦で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪でんき予報の活用

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

（２）冬の節電に係る質問

①昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②今冬（2016 年度）の節電の継続（※①で「節電を実施した」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性（※②で「節電を継続する」と回答した者のみ）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

2016年度 夏季の節電に関するアンケート

- ご回答は各質問にあてはまる番号に○をつけていただきますようお願いいたします。

貴社名	(製造業 ・ 非製造業)
ご役職 ご芳名	
T E L	— —

(1) 夏の節電についてお聞きします。

【質問1】 今夏(2016年度)は、節電を実施しましたか？

- 1 今夏(2016年度)節電を実施した
- 2 今夏(2016年度)節電を実施しなかった

【質問2】 (※ 【質問1】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

節電を実施した理由は？(複数回答可)

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他 ()

【質問3】 (※ 【質問1】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響は？

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

【質問4】 (※ 【質問1】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

実施した節電の内容は？(複数回答可)

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をLED等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め(28℃等)に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る
- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制
- 12 夏季休暇の拡大
- 13 自家発電稼働
- 14 生産拠点の移転・シフト(国内の他電力管内へ)
- 15 生産拠点の移転・シフト(海外へ)
- 16 電力以外の燃料による製造機器導入
- 17 エレベータ間引き等の動力の調整
- 18 その他 ()

【質問5】 (※ 【質問1】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

節電による企業活動への影響は？(複数回答可)

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他 ()

【質問6】(※ 【質問1】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

来夏(2017年度)は、節電を継続しますか？

- 1 来夏(2017年度)節電を継続する
- 2 来夏(2017年度)節電を継続しない
- 3 分からない

【質問7】(※ 【質問6】で「継続する」回答者さまへお聞きします。)

来夏(2017年度)も節電する場合、今夏(2016年度)と同様の節電取組は可能ですか？

- 1 来夏(2017年度)も、今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

【質問8】([震災発生前の2010年度]と比べて) 無理がないと思われる節電目標は？

- 1: 0%(数値目標を伴わない節電) 2: 5%未満 3: 5%以上7%未満
4: 7%以上10%未満 5: 10%以上15%未満 6: 15%以上20%未満
7: 20%以上

【質問9】(※ 【質問6】で「継続する」回答者さまへお聞きします。) 継続する理由は？(複数回答可)

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他 ()

(2) 冬の節電についてお聞きします。

【質問10】 昨冬(2015年度)は、節電を実施しましたか？

- 1 昨冬(2015年度)節電を実施した
- 2 昨冬(2015年度)節電を実施しなかった

【質問11】(※ 【質問10】で「実施した」回答者さまへお聞きします。)

今冬(2016年度)は、節電を継続しますか？

- 1 今冬(2016年度)節電を継続する
- 2 今冬(2016年度)節電を継続しない
- 3 分からない

【質問12】(※ 【質問11】で「継続する」回答者さまへお聞きします。)

今冬(2016年度)も節電される場合、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は可能ですか？

- 1 今冬(2016年度)に 昨冬(2015年度)と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬(2015年度)と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

(3) その他

【質問13】 全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響は？(複数回答可)

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他 ()

ご協力いただき誠にありがとうございました。

2016 年度夏季の節電に関するアンケート
下記アンケートにご協力お願いいたします。

(1) 夏の節電にかかる質問

①あなたは、今夏（2016 年度）に節電を実施しましたか。

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

②【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

今夏（2016 年度）に、節電をした理由を教えてください（複数回答可）。

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になったと思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

③【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

値上げや燃料費調整制度等により、電気料金の価格が変化したことによる節電への取り組みに影響はありましたか。ひとつお選びください。

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

④【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

あなたが実施した節電内容を教えてください（複数回答可）。

- 1 エアコンは室温 28℃を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明をLED等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で1日分をまとめ炊き

- 11 炊飯器の保温機能は使わず、冷ましてから冷蔵後に保存
- 12 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 13 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 14 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 15 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 16 冷蔵庫に食品を詰め込まない
- 17 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 18 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめ洗い
- 19 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 20 その他（ ）
- 21 特にない

⑤特に家庭での節電が必要だと思う時間帯はいつごろでしょうか（複数回答可）。

- 1 平日の早朝（出勤や登校前の7時頃）
- 2 平日の午前（9時～12時）
- 3 平日の午後（13時～16時）
- 4 平日の夕方～夜（17時～20時）
- 5 平日の夜中（21時以降）
- 6 あてはまるものはない

⑥【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電はされましたか。ひとつお選びください。

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

⑦【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

来夏（2017年度）も節電を継続しようとお考えですか。

- 1 来夏（2017年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017年度）節電は継続しない
- 3 分からない

⑧【⑦で「節電を継続する」と回答した方のみ】

来夏（2017年度）も節電を続ける場合に、今夏（2016年度）と同じ内容で節電に取り組むことは可能だと思いますか。ひとつお選びください。

- 1 来夏（2017年度）も今夏（2016年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

⑨東日本大震災前（2010 年度）と比較して、あなたのご家庭において無理がないと思われる節電幅はどれくらいだと思いますか。ひとつお選びください。

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満
- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

⑩【⑦で「節電を継続する」と回答した方のみ】

節電を継続しようとお考えになった理由を教えてください（複数回答可）。

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

⑪「でんき予報」は活用されていますか。

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

(2) 冬の節電に係る質問

①あなたは昨冬（2015 年度）に節電を実施しましたか。

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

②【①で「節電を実施した」と回答した方のみ】

今冬（2016 年度）も節電を継続しようとお考えですか。ひとつお選びください。

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

③【②で「節電を継続する」と回答した方のみ】

今冬（2016 年度）も節電を継続する場合に、昨冬（2015 年度）と同じ内容で節電に取り組むことは可能だと思いますか。ひとつお選びください。

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

お客さま名	
-------	--

(1) 夏の節電に係る質問 〔該当する番号を○で囲んでください〕

今夏（2016 年度）の節電の実施の有無

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

節電を実施した理由（複数回答可）

（ で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他

自由記入欄

料金値上げや燃料調整費制度等により、電気料金価格が変化したことによる
節電取組への影響（ で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 分からない

次頁に続く

実施した節電の内容（複数回答可）

（　で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 節電目標や内容を社内に啓発
- 2 照明間引き
- 3 こまめな消灯
- 4 照明をＬＥＤ等へ切り替え交換
- 5 空調温度を高め（28 等）に設定
- 6 空調をガス方式等に変更
- 7 不在エリアの空調停止
- 8 待機電力を切る
- 9 製造機器稼働の節電工夫
- 10 操業日や操業時間帯のシフト
- 11 生産抑制
- 12 夏季休暇の拡大
- 13 自家発電稼働
- 14 生産拠点の移転・シフト（国内の他電力管内へ）
- 15 生産拠点の移転・シフト（海外へ）
- 16 電力以外の燃料による製造機器導入
- 17 エレベータ間引き等の動力の調整
- 18 その他

自由記入欄

次頁に続く

節電による企業活動への影響（複数回答可）

（　で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 自家発電の稼働によりコストが増加した
- 2 生産・販売量等に影響が生じた
- 3 顧客サービスが低下した
- 4 従業員からクレームが多くあった
- 5 特に生産・販売量等に影響はなくマイナスの影響はなかった
- 6 その他

自由記入欄

来夏（2017 年度）の節電継続

（　で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 来夏（2017 年度）節電を継続する
- 2 来夏（2017 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

来夏（2017 年度）も節電を行う場合における、今夏（2016 年度）と同様の節電取組可能性

（　で「節電を継続する」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 来夏（2017 年度）も今夏（2016 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏（2016 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

次頁に続く

無理がないと思われる節電目標〔対 2010 年度（震災前）比〕

- 1 0 %
- 2 5 %未満
- 3 5 %以上 7 %未満
- 4 7 %以上 1 0 %未満
- 5 1 0 %以上 1 5 %未満
- 6 1 5 %以上 2 0 %未満
- 7 2 0 %以上

節電を継続する理由（複数回答可）

（ で「節電を継続する」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 電力不安があり協力したいと考えたから
- 2 節電することが定着したから
- 3 市況悪化により生産を縮小しているから
- 4 停電を避けたいから
- 5 電気料金にかかるコストの削減につながるから
- 6 その他

自由記入欄

（ 2 ）冬の節電に係る質問 〔該当する番号を○で囲んでください〕

昨冬（2015 年度）の節電の実施の有無

- 1 昨冬（2015 年度）節電を実施した
- 2 昨冬（2015 年度）節電を実施しなかった

次頁に続く

今冬（2016 年度）の節電の継続

（　で「節電を実施した」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 今冬（2016 年度）節電を継続する
- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

今冬（2016 年度）節電を継続する場合における昨冬（2015 年度）と同様の節電取組可能性

（　で「節電を継続する」と回答したお客さまのみご回答ください）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない

（３）その他　〔該当する番号を○で囲んでください〕

全国的な需給ひっ迫が将来的に継続した場合の影響（複数回答可）

- 1 生産・営業を抑制せざるを得ない
- 2 生産拠点・事業所の海外移転
- 3 他企業への生産・販売委託を増やす
- 4 取引先の生産抑制による受注の減少
- 5 取引先の海外移転に伴う受注・販売の減少
- 6 特に影響はない見通し
- 7 その他

自由記入欄

以上で終了です。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

〔九州電力記入欄〕 お客さまのご記入は不要です

（ 営業所 ）

会社名	さま	区 分	業務用 ・ 産業用
契約電力	500kW 未満 ・ 500kW 以上	業 種	製造業 ・ 非製造業
依頼方法	郵送・メール・FAX・訪問	回答方法	郵送・メール・FAX・訪問

《家庭》**（１）夏の節電に係る質問**

今夏（2016 年度）の節電の実施の有無をお知らせください。

- 1 今夏（2016 年度）節電を実施した
- 2 今夏（2016 年度）節電を実施しなかった

節電を実施した理由としてあてはまるものをお選びください。（複数回答可）

（ ）で「節電を実施した」と回答した方のみご回答ください）

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他（ ）

値上げや燃料費調整制度等により、電気料金価格が変化したことによる節電取組への影響はありましたか。あてはまるものをお選びください。

（ ）で「節電を実施した」と回答した方のみご回答ください）

- 1 とても影響があった
- 2 やや影響があった
- 3 あまり影響がなかった
- 4 全く影響がなかった
- 5 わからない

実施した節電内容をすべてお選びください。（複数回答可）

（ ）で「節電を実施した」と回答した方のみご回答ください）

- 1 エアコンは室温 28 を心がける
- 2 「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる
- 3 無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う
- 4 エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- 5 照明をできるだけ減らす
- 6 照明を LED 照明等へ切り替え交換
- 7 テレビ画面の輝度を下げる
- 8 テレビを必要なとき以外は消す
- 9 便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用する
- 10 炊飯器は早朝にタイマー機能で 1 日分をまとめ炊き

- 1 1 炊飯器の保温機能は使わず、さましてから冷蔵庫に保存
- 1 2 家電製品全般についてリモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る
- 1 3 長時間使わない機器はプラグを抜く
- 1 4 冷蔵庫の設定を強から中に変える
- 1 5 冷蔵庫の扉を開ける時間を減らす
- 1 6 冷蔵庫に食品をつめこまない
- 1 7 お湯はコンロで沸かし、電気ポットの電源は切る
- 1 8 洗濯機は容量の80%程度を目安にまとめ洗い
- 1 9 旅行や外出をすることで、家庭内の消費電力を下げる
- 2 0 その他()
- 2 1 特になし

特に家庭の節電が必要と思う時間帯をお選びください。(複数回答可)

- 1 平日の早朝(出勤や登校前の7時頃)
- 2 平日の午前(9時~12時)
- 3 平日の午後(13時~16時)
- 4 平日の夕方~夜(17時~20時)
- 5 平日の夜中(21時以降)
- 6 あてはまるものはない

特に暑さが厳しい日の日中におけるエアコン等の節電について、あなたの取組みにあてはまるものをお選びください。

(で「節電を実施した」と回答した方のみご回答ください)

- 1 通常実施している節電より踏み込んで行った
- 2 通常実施している節電と同程度で行った
- 3 通常と同程度の節電はしていない
- 4 分からない
- 5 冷房機器を持っていない

来夏(2017年度)も節電を継続する予定ですか。

(で「節電を実施した」と回答した者のみ)

- 1 来夏(2017年度)節電を継続する
- 2 来夏(2017年度)節電は継続しない
- 3 分からない

来夏(2017年度)も節電を行う場合における、今夏(2016年度)と同様の節電に取り組む可能性としてあてはまるものをお選びください。

(で「節電を継続する」と回答した方のみご回答ください)

- 1 来夏(2017年度)も今夏(2016年度)と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、今夏(2016年度)と同様の節電取組は困難

3 分からない

無理がないと思われる節電幅をお選びください。(対 2010 年度(震災前)比でお考えください)

- 1 0%
- 2 5%未満
- 3 5%以上7%未満
- 4 7%以上10%未満
- 5 10%以上15%未満
- 6 15%以上20%未満
- 7 20%以上

節電を実施する理由としてあてはまるものをお選びください。(複数回答可)

(で「節電を継続する」と回答した方のみご回答ください)

- 1 新聞・ニュースを見て「家庭の協力が必要」と思ったから
- 2 職場や学校等で「自宅でも節電を実施するように」との呼びかけがあったから
- 3 計画停電になると社会的影響が大きいから
- 4 環境意識が高まったから
- 5 節電をすれば電気代の節約になると思ったから
- 6 友人、隣人などまわりの人が節電をしていたから
- 7 節電することが習慣化したから
- 8 その他()

でんき予報を活用していますか。

- 1 非常に参考にしている
- 2 まあ参考にしている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり参考にしていない
- 5 全く参考にしていない

(2) 冬の節電に係る質問

昨冬(2015 年度)の節電の実施の有無をお知らせください。

- 1 昨冬(2015 年度)節電を実施した
- 2 昨冬(2015 年度)節電を実施しなかった

今冬(2016 年度)も節電を継続する予定ですか。

(で「節電を実施した」と回答した方のみご回答ください)

- 1 今冬(2016 年度)節電を継続する

- 2 今冬（2016 年度）節電を継続しない
- 3 分からない

今冬（2016 年度）節電を継続する場合における、昨冬（2015 年度）と同様の節電に取り組む可能性としてあてはまるものをお選びください。

（ で「節電を継続する」と回答した方のみご回答ください）

- 1 今冬（2016 年度）に昨冬（2015 年度）と同様の節電取組を継続することは可能
- 2 節電には協力するが、昨冬（2015 年度）と同様の節電取組は困難
- 3 分からない